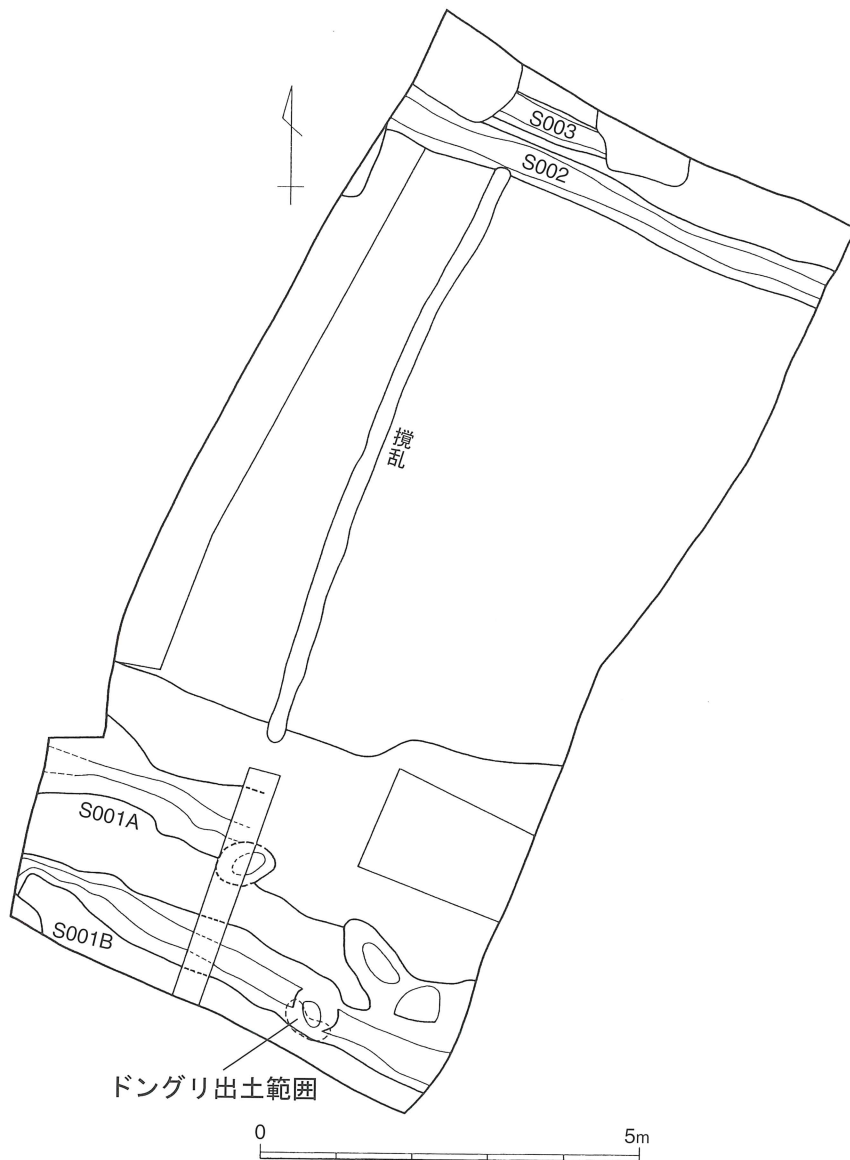


第8章 宮ノ前 d 地区

第1節 遺跡の概要

宮ノ前 d 地区は南北に延びる市道の東側に平行し、更にその東側に宮ノ前 b 地区が隣接する。調査区も南北に長く、ほぼ南北13m・東西6mで78m²の調査面積である。宮ノ前 b 地区が東側に近接し、南側の里道を挟んで宮ノ前 a 地区が位置する関係にある。

調査は宮ノ前 b 地区の調査で地表下50cmまで攪乱されていることが判っていたので、この深さまで重機で掘削した。その後遺構の検出作業をおこなったところ、遺構は調査区の北部と南部に限定され、その間は水田耕作による削平面であることがわかった。南部の遺構うち、南壁から西壁沿いに3.7mと南壁から東沿いに5.1mの部分斜行するように延びるラインは、位置から考えて宮ノ前 b 地区の流路2の北壁に連続するものであるが、宮ノ前 d 地区の調査では流路を確認することはできなかった。



第71図 遺構配置図 (200分の1)

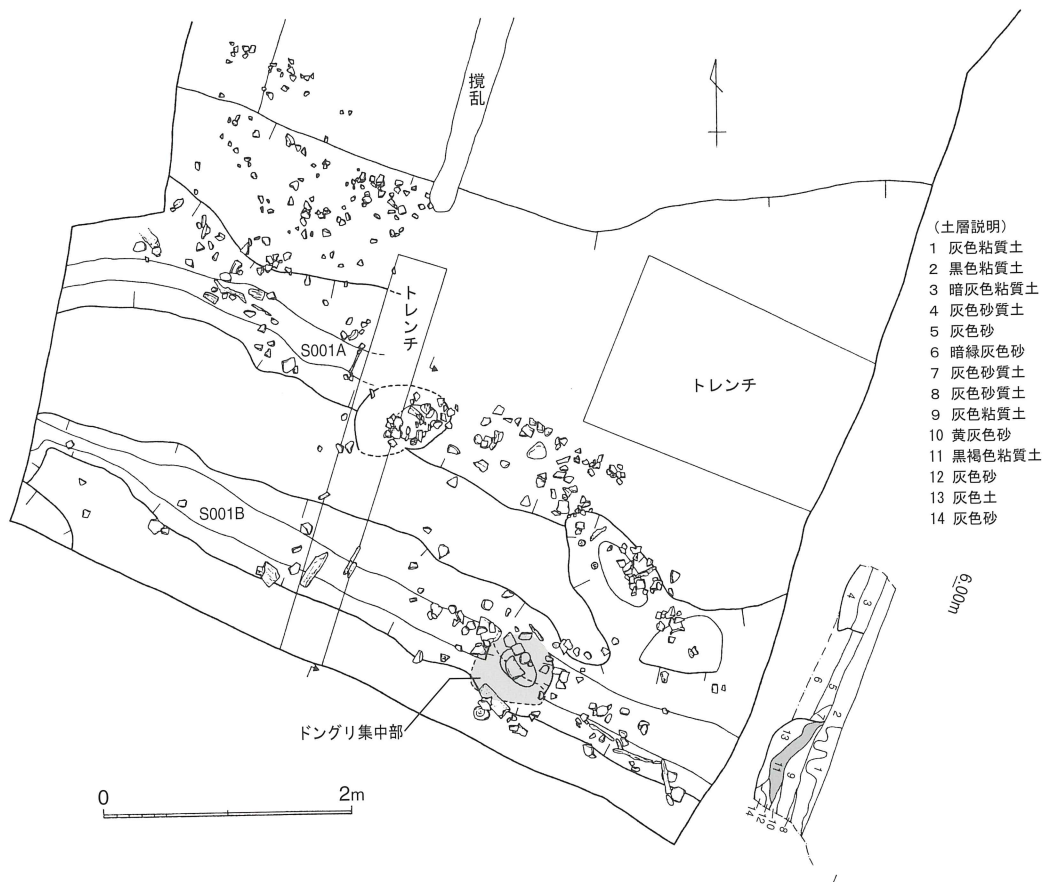
第2節 遺構と遺物

S-001A 遺構は流路で、東西両壁に延びる。平面形はほぼ直線的であり、幅は概ね0.3m~0.8m、深さ0.29mである。本流路内には夥しい土器・流木片が含まれていた。長軸0.7m、短軸0.5mの小土坑が2基あり、ドンダリの水さらし場と推定する。

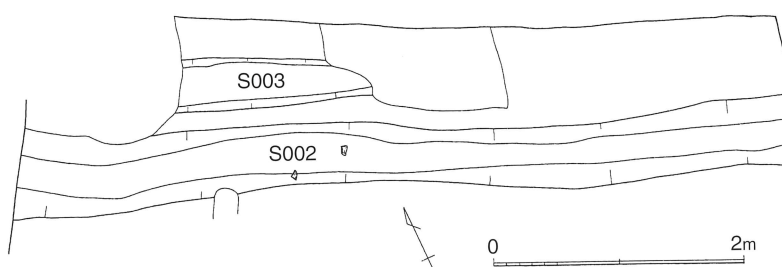
S-001B 遺構は流路で、東半部が不明瞭である。掘り込み層が砂質であり、そのため壁が崩壊しやすく平面形が蛇行している。幅は概ね1.0m~0.6m、深さ0.16mである。本流路内にも夥しい土器・流木片が含まれていた。流路内には径が概ね0.7m~0.8mの規模の小土坑があり、クヌギのドンダリが多量に出土しており、ドンダリの水さらし場に関連する遺構と推定する。

第74図1から第75図23がS-001出土遺物である。1から7は甕で、1~3は口縁端部を外側に小さくつまみ出す。これらの甕は、概ね弥生時代後期前半代のものである。

8から11は複合口縁壺で、9は内傾する鋤先状口縁で、外面に連続山形文を施す。8と11は口縁端部を上下方向にやや幅広く拡張し、11は連続「ハ」字状文を施す。10はさらに口縁部が拡張し、波状文を施す。9は後期初



第72図 S-1 (60分の1)



第73図 S-2 (60分の1)

頭、8と11は後期前葉、10は後期後葉である。

12から14は甕底部で、13と14はやや上げ底状を呈する。12が弥生時代後期初頭で、13と14は中葉か。

15は丹塗りの脚台、16と17は脚、18は屈曲部に刻みを有する高坏、19はガラス小玉である。20は角閃石安山岩製の敲石、21は緑色片岩の砥石、22は安山岩製の石錘である。23は板状の材で、方形ないし長方形と思われるほぞ穴がある。

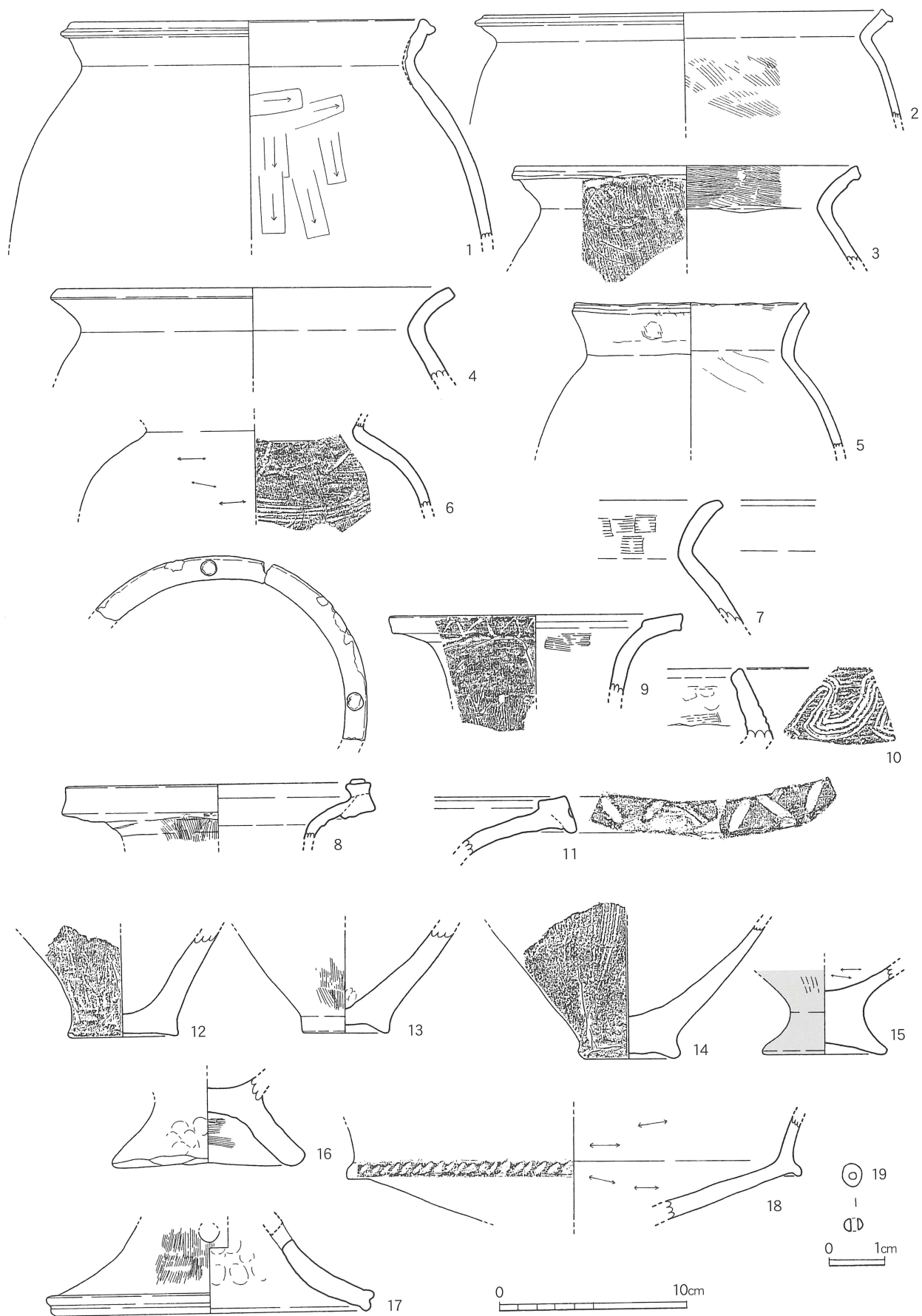
いずれも周辺からの流れ込みであるが、以上の遺物から S-001は弥生時代後期初頭から後葉にかけて機能したことが考えられる。

S-002・S-003 北側の遺構面は宮ノ前 b 地区の北側で確認された遺構面に繋がることが判明した。内部の土は灰褐色をした脆い土壌で、耕作土と推定される。この耕作面を除去した下底部は茶褐色に変質しており、水田の下部であろう。また内部は S-002と S-003の溝からなるが、水田の暗渠である。内部からの陶磁器片と土のしまりから考えて近・現代の水田遺構とみられる。

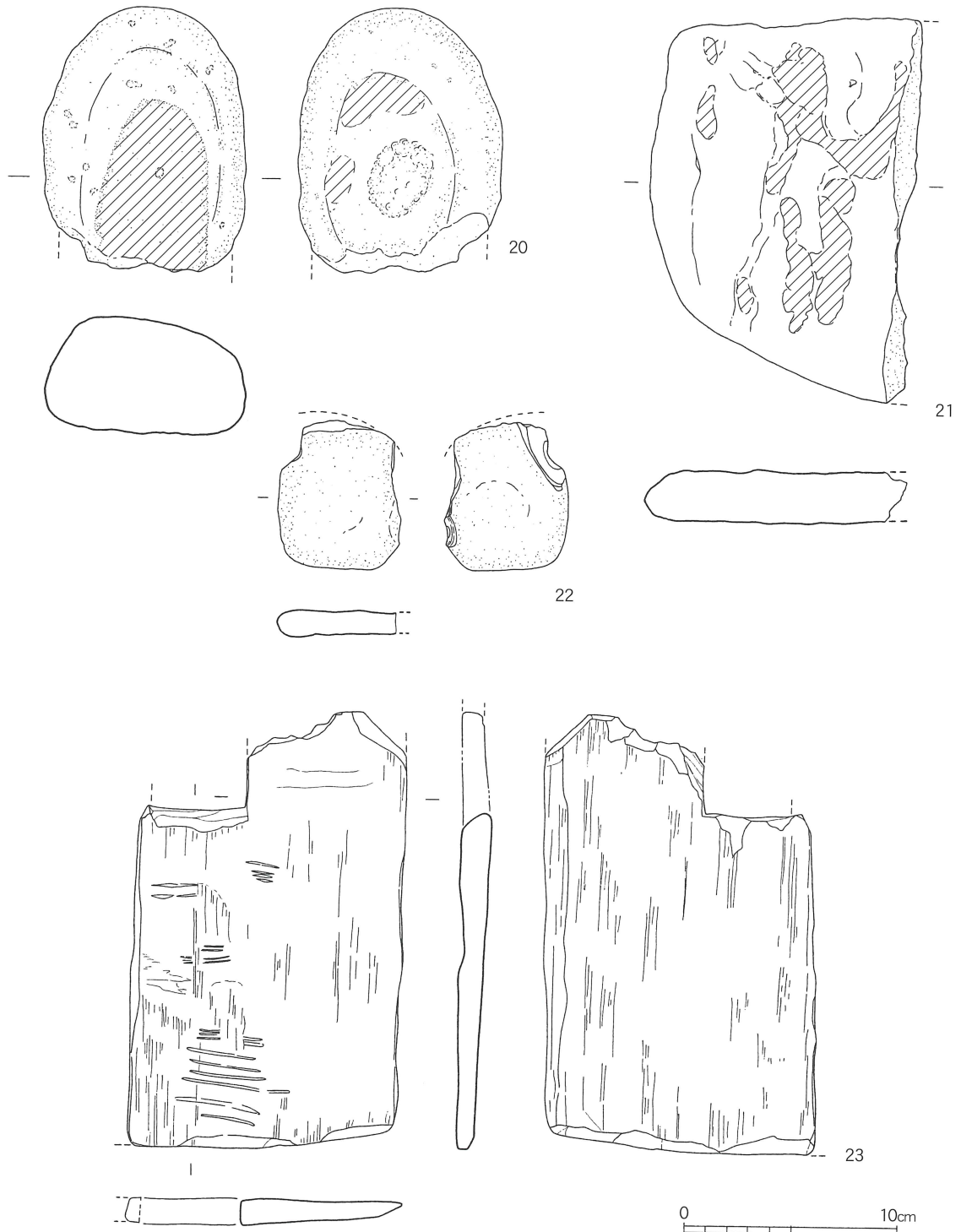
S-002出土遺物は第76図24と25である。いずれもいわゆる京都系土師器で、口縁端部をヨコナデし、体部から底部にかけては指頭圧痕が残る。時期は16世紀後葉である。

第3節 小結

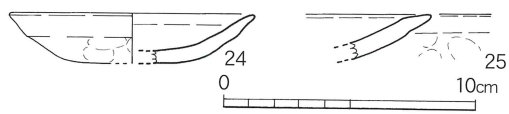
この地区は、宮ノ前 b 地区同様に旧河道部分にあたる。遺構は旧河道の流路とそこに穿たれたドンダリの水さらしのための小土坑である。時期は、出土遺物から弥生時代後期初頭から後葉にかけてと思われ、小土坑出土のドンダリの一つを放射性炭素年代測定（AMS法）したところ（第9章参照）、暦年校正年代で60BC - 20AD（63.9%）という年代が得られたことから、これが後期初頭の年代の一点を示すものと理解できる。



第74図 3次 S-001出土遺物 (3分の1、19のみ1分の1)



第75図 3次 S-001出土遺物 (3分の1)



第76図 3次 S-002出土遺物 (3分の1)

第9章 自然科学的調査の結果

第1節 放射性炭素年代測定 (AMS 測定)

(株) 加速器分析研究所

(1) 遺跡の位置

若宮八幡宮遺跡は、大分県大分市上野町、六坊南町（北緯33° 13′ 35″、東経131° 36′ 54″）に所在する。

(2) 測定の意義

弥生時代中期～後期の実年代および遺跡が形成された年代を明らかにしたい。

(3) 測定対象試料

測定対象試料は、宮ノ前 c 地区の 3 区Ⅳ層出土の土器外面付着炭化物 (No.1: IAAA-72206)、1～3 区Ⅳ～Ⅵ層出土の土器外面付着炭化物 (No.2: IAAA-72207)、2・4 区溝3出土の土器外面付着炭化物 (No.3: IAAA-72208)、北東壁出土の土器付着炭化物 (No.4: IAAA-72209)、集中区 2 出土の土器外面付着炭化物 (No.5: IAAA-72210)、8 トレンチⅣ層出土の土器付着炭化物 (No.6: IAAA-72211)、北東壁出土の土器外面付着炭化物 (No.7: IAAA-72212)、1区Ⅵ層・3 区Ⅳ層出土の土器付着炭化物 (No.8: IAAA-72213)、宮ノ前 d 地区 s-001 出土のどんぐり (No.9: IAAA-72214)、宮ノ前 d 地区の第 2 黒色土出土の土器内面付着炭化物 (No.10: IAAA-72215)、宮ノ前 c 地区の土器内面底部付着物 (No.11: IAAA-72216)、溝 1 出土の土器外面付着炭化物 (No.12: IAAA-72217)、朱塗り木製品の割れ口から採取された木片 (No.13: IAAA-72218)、東横前 b 地区の黒色粘土層出土の土器外面付着炭化物 (No.14: IAAA-72219)、宮ノ前 d 地区の SK7 出土の土器内面底部付着物 (No.15: IAAA-72220)、宮ノ前 c 地区の集中 3 中央ベルトⅥ層出土の土器外面付着炭化物 (No.16: IAAA-72221)、土器外面付着炭化物 (No.17: IAAA-72222)、黒色土層Ⅵ層出土の土器外面付着炭化物 (No.18: IAAA-72223)、SD-1Ⅳ層出土の土器外面付着炭化物 (No.19: IAAA-72224)、土器外面付着炭化物 (No.20: IAAA-72225)、合計20点である。

(4) 化学処理工程

- 1) メス・ピンセットを使い、根・土等の表面的な不純物を取り除く。
- 2) AAA (Acid Alkali Acid) 処理。酸処理、アルカリ処理、酸処理により内面的な不純物を取り除く。最初の酸処理では1Nの塩酸(80℃)を用いて数時間処理する。その後、超純水で中性になるまで希釈する。アルカリ処理では0.001Nの水酸化ナトリウム水溶液(80℃)を用いて数時間処理する。その後、超純水で中性になるまで希釈する。最後の酸処理では1Nの塩酸(80℃)を用いて数時間処理した後、超純水で中性になるまで希釈し、90℃で乾燥する。希釈の際には、遠心分離機を使用する。
- 3) 試料を酸化銅 1 g と共に石英管に詰め、真空下で封じ切り、500℃で30分、850℃で2時間加熱する。
- 4) 液体窒素とエタノール・ドライアイスの温度差を利用し、真空ラインで二酸化炭素(CO₂)を精製する。
- 5) 精製した二酸化炭素から鉄を触媒として炭素のみを抽出(水素で還元)し、グラファイトを作製する。
- 6) グラファイトを内径 1 mm のカソードにハンドプレス機で詰め、それをホイールにはめ込み、加速器に装着し測定する。

(5) 測定方法

測定機器は、3MV タンデム加速器をベースとした¹⁴C-AMS 専用装置 (NEC Pelletron 9SDH-2) を使用する。134個の試料が装填できる。測定では、米国国立標準局 (NIST) から提供されたシュウ酸 (HOx II) を標準試料とする。この標準試料とバックグラウンド試料の測定も同時に実施する。また、加速器により¹³C/¹²Cの測定も

同時に行う。

(6) 算出方法

- 1) 年代値の算出には、Libby の半減期5568年を使用した。
- 2) BP 年代値は、過去において大気中の¹⁴C 濃度が一定であったと仮定して測定された、1950年を基準年として遡る¹⁴C 年代である。
- 3) 付記した誤差は、次のように算出した。
複数回の測定値について、 χ^2 検定を行い測定値が1つの母集団とみなせる場合には測定値の統計誤差から求めた値を用い、みなせない場合には標準誤差を用いる。
- 4) $\delta^{13}\text{C}$ の値は、通常は質量分析計を用いて測定するが、AMS 測定の場合に同時に測定される $\delta^{13}\text{C}$ の値を用いることもある。
 $\delta^{13}\text{C}$ 補正をしない場合の同位体比および年代値も参考に掲載する。

同位体比は、いずれも基準値からのずれを千分偏差 (‰; パーミル) で表した。

$$\delta^{14}\text{C} = [({}^{14}\text{A}_S - {}^{14}\text{A}_R) / {}^{14}\text{A}_R] \times 1000 \quad (1)$$

$$\delta^{13}\text{C} = [({}^{13}\text{A}_S - {}^{13}\text{A}_{\text{PDB}}) / {}^{13}\text{A}_{\text{PDB}}] \times 1000 \quad (2)$$

ここで、 ${}^{14}\text{A}_S$: 試料炭素の¹⁴C濃度 : (¹⁴C/¹²C)_S または (¹⁴C/¹³C)_S

${}^{14}\text{A}_R$: 標準現代炭素の¹⁴C濃度 : (¹⁴C/¹²C)_R または (¹⁴C/¹³C)_R

$\delta^{13}\text{C}$ は、質量分析計を用いて試料炭素の¹³C 濃度 (${}^{13}\text{A}_S = {}^{13}\text{C}/{}^{12}\text{C}$) を測定し、PDB (白亜紀のペレムナイト (矢石) 類の化石) の値を基準として、それからのずれを計算した。但し、加速器により測定中に同時に¹³C/¹²C を測定し、標準試料の測定値との比較から算出した $\delta^{13}\text{C}$ を用いることもある。この場合には表中に [加速器] と注記する。

また、 $\Delta^{14}\text{C}$ は、試料炭素が $\delta^{13}\text{C} = -25.0$ (‰) であるとしたときの¹⁴C濃度 (${}^{14}\text{A}_N$) に換算した上で計算した値である。(1) 式の¹⁴C濃度を、 $\delta^{13}\text{C}$ の測定値をもとに次式のように換算する。

$${}^{14}\text{A}_N = {}^{14}\text{A}_S \times (0.975 / (1 + \delta^{13}\text{C} / 1000))^2 \quad ({}^{14}\text{A}_S \text{ として } {}^{14}\text{C}/{}^{12}\text{C} \text{ を使用するとき})$$

または

$$= {}^{14}\text{A}_S \times (0.975 / (1 + \delta^{13}\text{C} / 1000)) \quad ({}^{14}\text{A}_S \text{ として } {}^{14}\text{C}/{}^{13}\text{C} \text{ を使用するとき})$$

$$\Delta^{14}\text{C} = [({}^{14}\text{A}_N - {}^{14}\text{A}_R) / {}^{14}\text{A}_R] \times 1000 \quad (\text{‰})$$

貝殻などの海洋が炭素起源となっている試料については、海洋中の放射性炭素濃度が大気中の炭酸ガス中の濃度と異なるため、同位体補正のみを行った年代値は実際の年代との差が大きくなる。多くの場合、同位体補正をしない $\delta^{14}\text{C}$ に相当する BP 年代値が比較的よくその貝と同一時代のものと考えられる木片や木炭などの年代値と一致する。

¹⁴C 濃度の現代炭素に対する割合のもう一つの表記として、pMC (percent Modern Carbon) がよく使われており、 $\Delta^{14}\text{C}$ との関係は次のようになる。

$$\Delta^{14}\text{C} = (\text{pMC} / 100 - 1) \times 1000 \quad (\text{‰})$$

$$\text{pMC} = \Delta^{14}\text{C} / 10 + 100 \quad (\text{‰})$$

国際的な取り決めにより、この $\Delta^{14}\text{C}$ あるいは pMC により、放射性炭素年代 (Conventional Radiocarbon Age ; yrBP) が次のように計算される。

$$T = -8033 \times \ln [(\Delta^{14}\text{C} / 1000) + 1]$$

$$= -8033 \times \ln (\text{pMC} / 100)$$

5) ^{14}C 年代値と誤差は、1桁目を四捨五入して10年単位で表示される。

6) 較正暦年代の計算では、IntCal04データベース (Reimer et al 2004) を用い、OxCalv3.10較正プログラム (Bronk Ransey1995 Bronk Ransey 2001 Bronk Ramsey, van der Plicht and Weninger2001) を使用した。

(7) 測定結果

^{14}C 年代は、宮ノ前c地区の3区IV層出土の土器外面付着炭化物 (No.1) が $2030 \pm 30\text{yrBP}$ 、1～3区IV～VI層出土の土器外面付着炭化物 (No.2) が $2030 \pm 30\text{yrBP}$ 、2・4区溝3出土の土器外面付着炭化物 (No.3) が $2090 \pm 30\text{yrBP}$ 、北東壁出土の土器付着炭化物 (No.4) が $1930 \pm 30\text{yrBP}$ 、集中区2出土の土器外面付着炭化物 (No.5) が $2180 \pm 30\text{yrBP}$ 、8トレンチIV層出土の土器付着炭化物 (No.6) が $2110 \pm 30\text{yrBP}$ 、北東壁出土の土器外面付着炭化物 (No.7) が $2000 \pm 30\text{yrBP}$ 、1区VI層・3区IV層出土の土器付着炭化物 (No.8) が $2030 \pm 30\text{yrBP}$ 、宮ノ前d地区s-001出土のどんぐり (No.9) が $2030 \pm 30\text{yrBP}$ 、宮ノ前b地区の第2黒色土出土の土器内面付着炭化物 (No.10) が $2010 \pm 30\text{yrBP}$ 、宮ノ前c地区の土器内面底部付着物 (No.11) が $1170 \pm 30\text{yrBP}$ 、溝1出土の土器外面付着炭化物 (No.12) が $2160 \pm 30\text{yrBP}$ 、朱塗り木製品の割れ口から採取された木片 (No.13) が $2110 \pm 30\text{yrBP}$ 、東横前b地区の黒色粘土層出土の土器外面付着炭化物 (No.14) が $2110 \pm 30\text{yrBP}$ 、宮ノ前b地区のSK7出土の土器内面底部付着物 (No.15) が $1970 \pm 30\text{yrBP}$ 、宮ノ前c地区の集中3中央ベルトVI層出土の土器外面付着炭化物 (No.16) が $1990 \pm 30\text{yrBP}$ 、土器外面付着炭化物 (No.17) が $1970 \pm 30\text{yrBP}$ 、黒色土層VI層出土の土器外面付着炭化物 (No.18) が $1120 \pm 30\text{yrBP}$ 、SD-1IV層出土の土器外面付着炭化物 (No.19) が $2010 \pm 30\text{yrBP}$ 、土器外面付着炭化物 (No.20) が $2040 \pm 30\text{yrBP}$ である。

暦年較正年代 ($1\sigma = 68.2\%$) に基づけば、多くが弥生時代中期から後期前半に相当する。古い方から並べると、No.5が $360 \sim 280\text{BC}$ (45.7%)・ $240 \sim 190\text{BC}$ (22.5%)、No.12が $350 \sim 300\text{BC}$ (32.3%)・ $230 \sim 220\text{BC}$ (1.0%)・ $210 \sim 160\text{BC}$ (34.9%)、No.6・14が $180 \sim 90\text{BC}$ 、No.13が $180 \sim 90\text{BC}$ (64.2%)・ $70 \sim 60\text{BC}$ (4.0%)、No.3が $170 \sim 50\text{BC}$ 、No.20が $100\text{BC} \sim 20\text{AD}$ 、No.8が $90 \sim 70\text{BC}$ (8.8%)・ $60\text{BC} \sim 20\text{AD}$ (59.4%)、No.9が $90 \sim 70\text{BC}$ (4.3%)・ $60\text{BC} \sim 20\text{AD}$ (63.9%)、No.1が $90 \sim 80\text{BC}$ (0.8%)・ $60\text{BC} \sim 20\text{AD}$ (67.4%)、No.2が $55\text{BC} \sim 20\text{AD}$ 、No.7が $45\text{BC} \sim 25\text{AD}$ 、No.10・19が $45\text{BC} \sim 20\text{AD}$ 、No.16が $40 \sim 25\text{BC}$ (6.6%)・ $20 \sim 10\text{BC}$ (9.2%)・ $5\text{BC} \sim 55\text{AD}$ (52.4%)、No.15・17が $0 \sim 65\text{AD}$ 、No.4が $25 \sim 40\text{AD}$ (7.7%)・ $50 \sim 90\text{AD}$ (46.2%)・ $100 \sim 125\text{AD}$ (14.3%)である。

そのほかに、No.11が $780 \sim 790\text{AD}$ (5.6%)・ $800 \sim 900\text{AD}$ (62.6%)、No.18が $890 \sim 905\text{AD}$ (11.2%)・ $910 \sim 975\text{AD}$ (57.0%)であり、時期差はあるが共に平安時代前期を中心とした年代である。

化学処理および測定内容に問題はなく、炭素含有率も十分であることから、妥当な年代と考えられる。

参考文献

- Stuiver M. and Polash H.A. 1977 Discussion: Reporting of ^{14}C data, Radiocarbon 19, 355-363
- Bronk Ramsey C. 1995 Radiocarbon calibration and analysis of stratigraphy: the OxCal Program, Radiocarbon 37(2), 425-430
- Bronk Ramsey C. 2001 Development of the Radiocarbon Program OxCal, Radiocarbon 43(2A), 355-363
- Bronk Ramsey C., van der Plicht J. and Weninger B. 2001 'Wiggle Matching' radiocarbon dates, Radiocarbon 43(2A), 381-389
- Reimer, P.J. et al. 2004 IntCal04 terrestrial radiocarbon age calibration, 0-26cal kyr BP, Radiocarbon 46, 1029-1058

第2表 結果一覧表(1)

IAA Code No.	試料	BP年代および炭素の同位体比
IAAA-72206 #2044-1	試料採取場所： 大分市六坊南町 若宮八幡宮遺跡 宮ノ前c地区 試料形態： 炭化物 試料名(番号)： 1 (第50図57-2)	Libby Age (yrBP) : 2,030 ± 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = -27.60 ± 0.54 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -223.0 ± 2.9 pMC (%) = 77.70 ± 0.29
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -227.2 ± 2.8 pMC (%) = 77.28 ± 0.28 Age (yrBP) : 2,070 ± 30
IAAA-72207 #2044-2	試料採取場所： 大分市六坊南町 若宮八幡宮遺跡 宮ノ前c地区 試料形態： 炭化物 試料名(番号)： 2 (第48図35)	Libby Age (yrBP) : 2,030 ± 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = -25.36 ± 0.82 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -222.9 ± 2.8 pMC (%) = 77.71 ± 0.28
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -223.5 ± 2.5 pMC (%) = 77.65 ± 0.25 Age (yrBP) : 2,030 ± 30
IAAA-72208 #2044-3	試料採取場所： 大分市六坊南町 若宮八幡宮遺跡 宮ノ前c地区 試料形態： 炭化物 試料名(番号)： 3 (第49図42)	Libby Age (yrBP) : 2,090 ± 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = -28.29 ± 0.58 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -229.0 ± 2.9 pMC (%) = 77.10 ± 0.29
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -234.2 ± 2.7 pMC (%) = 76.58 ± 0.27 Age (yrBP) : 2,140 ± 30
IAAA-72209 #2044-4	試料採取場所： 大分市六坊南町 若宮八幡宮遺跡 宮ノ前c地区 試料形態： 炭化物 試料名(番号)： 4 (第44図3)	Libby Age (yrBP) : 1,930 ± 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = -27.10 ± 0.87 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -213.7 ± 2.7 pMC (%) = 78.63 ± 0.27
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -217.1 ± 2.3 pMC (%) = 78.29 ± 0.23 Age (yrBP) : 1,970 ± 20
IAAA-72210 #2044-5	試料採取場所： 大分市六坊南町 若宮八幡宮遺跡 宮ノ前c地区 試料形態： 炭化物 試料名(番号)： 5 (第64図192)	Libby Age (yrBP) : 2,180 ± 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = -27.75 ± 0.89 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -238.0 ± 2.8 pMC (%) = 76.20 ± 0.28
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -242.3 ± 2.5 pMC (%) = 75.77 ± 0.25 Age (yrBP) : 2,230 ± 30

第3表 結果一覧表(2)

IAA Code No.	試料	BP年代および炭素の同位体比
IAAA-72211 #2044-6	試料採取場所： 大分市六坊南町 若宮八幡宮遺跡 宮ノ前c地区 試料形態： 炭化物 試料名(番号)： 6 (第61図177)	Libby Age (yrBP) : 2,110 ± 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = -26.16 ± 0.68 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -231.2 ± 2.7 pMC (%) = 76.88 ± 0.27
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -233.0 ± 2.5 pMC (%) = 76.70 ± 0.25 Age (yrBP) : 2,130 ± 30
IAAA-72212 #2044-7	試料採取場所： 大分市六坊南町 若宮八幡宮遺跡 宮ノ前c地区 試料形態： 炭化物 試料名(番号)： 7 (第60図161)	Libby Age (yrBP) : 2,000 ± 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = -26.14 ± 0.60 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -220.7 ± 2.7 pMC (%) = 77.93 ± 0.27
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -222.6 ± 2.5 pMC (%) = 77.74 ± 0.25 Age (yrBP) : 2,020 ± 30
IAAA-72213 #2044-8	試料採取場所： 大分市六坊南町 若宮八幡宮遺跡 宮ノ前c地区 試料形態： 炭化物 試料名(番号)： 8 (第48図39)	Libby Age (yrBP) : 2,030 ± 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = -10.04 ± 0.72 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -223.6 ± 3.0 pMC (%) = 77.64 ± 0.30
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -199.6 ± 2.9 pMC (%) = 80.04 ± 0.29 Age (yrBP) : 1,790 ± 30
IAAA-72214 #2044-9代替	試料採取場所： 大分市六坊南町 若宮八幡宮遺跡 宮ノ前d地区 試料形態： どんぐり 試料名(番号)： 9	Libby Age (yrBP) : 2,030 ± 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = -27.65 ± 0.77 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -223.4 ± 2.8 pMC (%) = 77.66 ± 0.28
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -227.6 ± 2.5 pMC (%) = 77.24 ± 0.25 Age (yrBP) : 2,070 ± 30
IAAA-72215 #2044-10	試料採取場所： 大分市六坊南町 若宮八幡宮遺跡 宮ノ前b地区 試料形態： 炭化物 試料名(番号)： 10 (第34図146)	Libby Age (yrBP) : 2,010 ± 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = -24.89 ± 0.64 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -221.6 ± 2.7 pMC (%) = 77.84 ± 0.27
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -221.4 ± 2.5 pMC (%) = 77.86 ± 0.25 Age (yrBP) : 2,010 ± 30

第4表 結果一覧表(3)

IAA Code No.	試料	BP年代および炭素の同位体比
IAAA-72216 #2044-11	試料採取場所： 大分市六坊南町 若宮八幡宮遺跡 宮ノ前c地区 試料形態： 炭化物 試料名(番号)： 11 (第65図216)	Libby Age (yrBP) : 1,170 ± 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = -24.12 ± 0.41 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -135.9 ± 2.7 pMC (%) = 86.41 ± 0.27
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -134.3 ± 2.6 pMC (%) = 86.57 ± 0.26 Age (yrBP) : 1,160 ± 20
IAAA-72217 #2044-12	試料採取場所： 大分市六坊南町 若宮八幡宮遺跡 宮ノ前c地区 試料形態： 炭化物 試料名(番号)： 12 (第58図131)	Libby Age (yrBP) : 2,160 ± 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = -24.30 ± 0.98 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -235.5 ± 2.9 pMC (%) = 76.45 ± 0.29
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -234.4 ± 2.5 pMC (%) = 76.56 ± 0.25 Age (yrBP) : 2,150 ± 30
IAAA-72218 #2044-13	試料採取場所： 大分市六坊南町 若宮八幡宮遺跡 宮ノ前c地区 試料形態： 木片 試料名(番号)： 13 (第66図221)	Libby Age (yrBP) : 2,110 ± 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = -21.77 ± 0.67 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -230.9 ± 2.7 pMC (%) = 76.91 ± 0.27
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -225.8 ± 2.5 pMC (%) = 77.42 ± 0.25 Age (yrBP) : 2,060 ± 30
IAAA-72219 #2044-14	試料採取場所： 大分市上野町 若宮八幡宮遺跡 東横前b地区 試料形態： 炭化物 試料名(番号)： 14 (第15図10)	Libby Age (yrBP) : 2,110 ± 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = -25.01 ± 0.83 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -231.1 ± 2.8 pMC (%) = 76.89 ± 0.28
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -231.1 ± 2.5 pMC (%) = 76.89 ± 0.25 Age (yrBP) : 2,110 ± 30
IAAA-72220 #2044-15	試料採取場所： 大分市六坊南町 若宮八幡宮遺跡 宮ノ前b地区 試料形態： 炭化物 試料名(番号)： 15 (第38図199)	Libby Age (yrBP) : 1,970 ± 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = -24.11 ± 0.94 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -217.8 ± 2.8 pMC (%) = 78.22 ± 0.28
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -216.3 ± 2.4 pMC (%) = 78.37 ± 0.24 Age (yrBP) : 1,960 ± 20

第5表 結果一覧表(4)

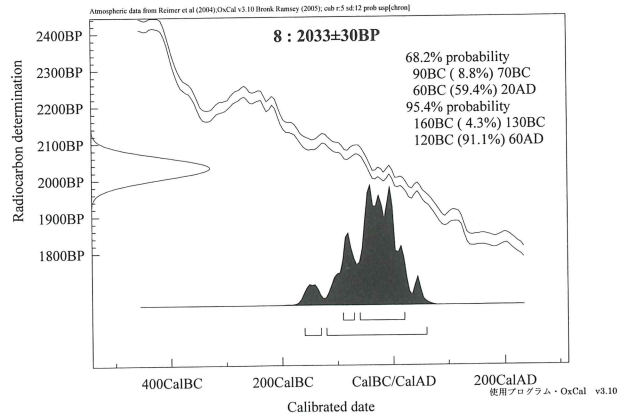
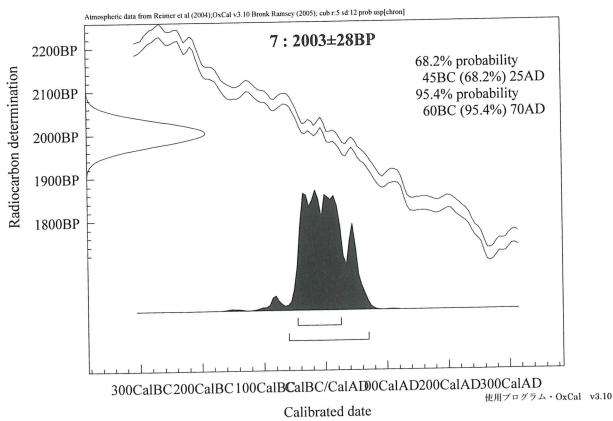
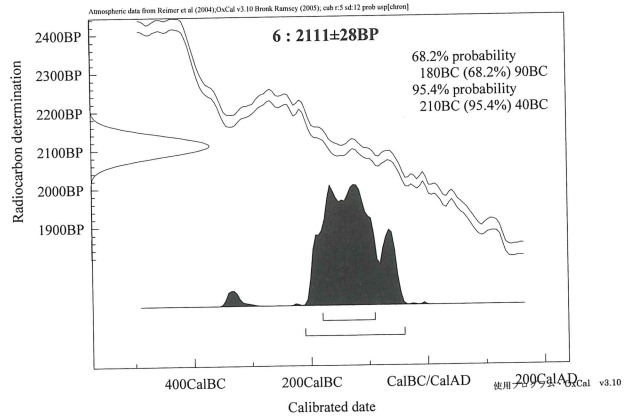
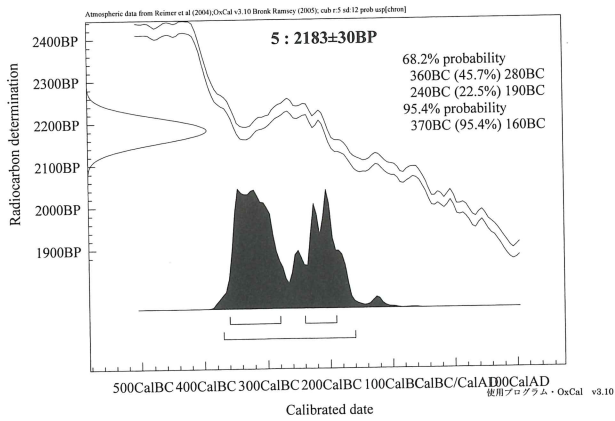
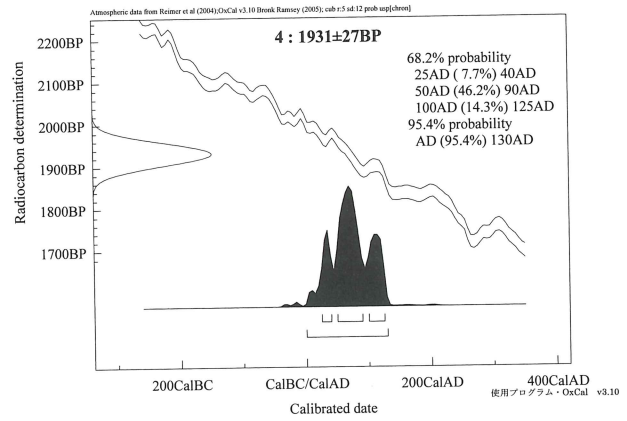
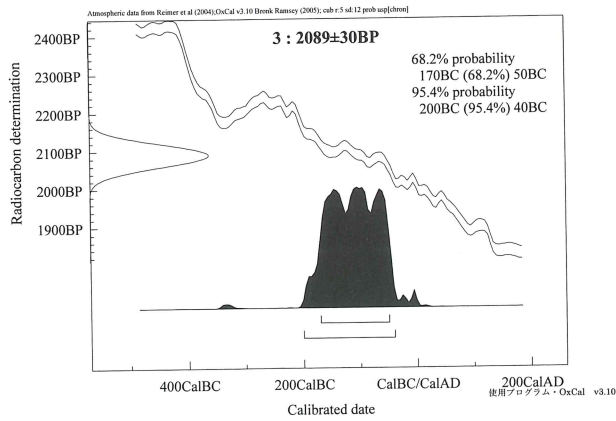
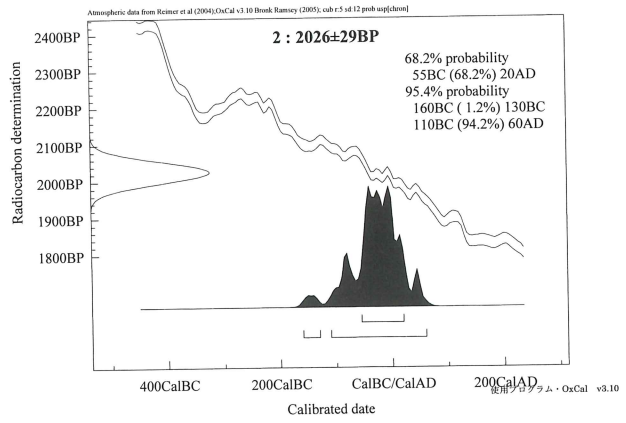
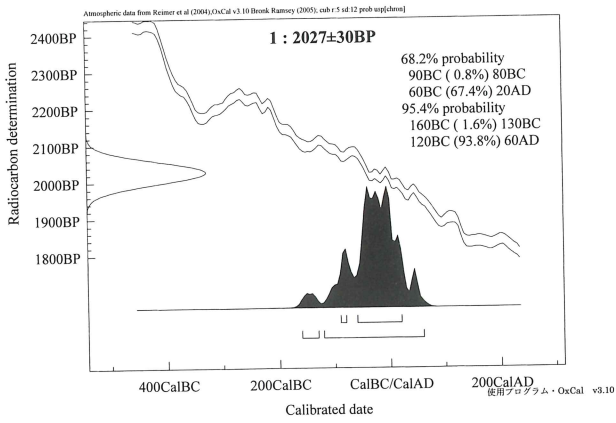
IAA Code No.	試料	BP年代および炭素の同位体比
IAAA-72221 #2044-16	試料採取場所： 大分市六坊南町 若宮八幡宮遺跡 宮ノ前c地区 試料形態： 炭化物 試料名(番号)： 16 (第61図165)	Libby Age (yrBP) : 1,990 ± 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = -22.60 ± 0.74 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -219.3 ± 2.8 pMC (%) = 78.07 ± 0.28
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -215.5 ± 2.6 pMC (%) = 78.45 ± 0.26 Age (yrBP) : 1,950 ± 30
IAAA-72222 #2044-17	試料採取場所： 大分市六坊南町 若宮八幡宮遺跡 宮ノ前c地区 試料形態： 炭化物 試料名(番号)： 17 (第55図106)	Libby Age (yrBP) : 1,970 ± 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = -29.26 ± 0.53 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -217.7 ± 2.7 pMC (%) = 78.23 ± 0.27
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -224.6 ± 2.6 pMC (%) = 77.54 ± 0.26 Age (yrBP) : 2,040 ± 30
IAAA-72223 #2044-18	試料採取場所： 大分市六坊南町 若宮八幡宮遺跡 宮ノ前c地区 試料形態： 炭化物 試料名(番号)： 18 (第56図112)	Libby Age (yrBP) : 1,120 ± 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = -24.69 ± 0.52 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -129.8 ± 3.1 pMC (%) = 87.02 ± 0.31
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -129.2 ± 3.0 pMC (%) = 87.08 ± 0.30 Age (yrBP) : 1,110 ± 30
IAAA-72224 #2044-19	試料採取場所： 大分市六坊南町 若宮八幡宮遺跡 宮ノ前c地区 試料形態： 炭化物 試料名(番号)： 19 (第48図34)	Libby Age (yrBP) : 2,010 ± 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = -27.40 ± 0.55 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -221.7 ± 2.7 pMC (%) = 77.83 ± 0.27
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -225.5 ± 2.5 pMC (%) = 77.45 ± 0.25 Age (yrBP) : 2,050 ± 30
IAAA-72225 #2044-20	試料採取場所： 大分市六坊南町 若宮八幡宮遺跡 宮ノ前c地区 試料形態： 炭化物 試料名(番号)： 20 (第44図4)	Libby Age (yrBP) : 2,040 ± 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = -26.16 ± 0.60 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -224.0 ± 2.9 pMC (%) = 77.60 ± 0.29
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -225.8 ± 2.7 pMC (%) = 77.42 ± 0.27 Age (yrBP) : 2,060 ± 30

第6表 参考資料：暦年較正用年代

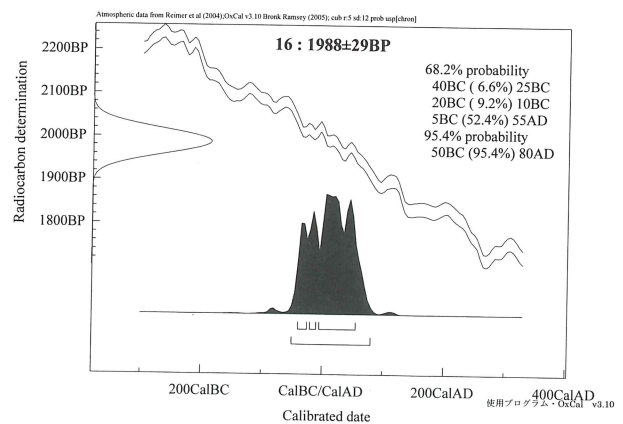
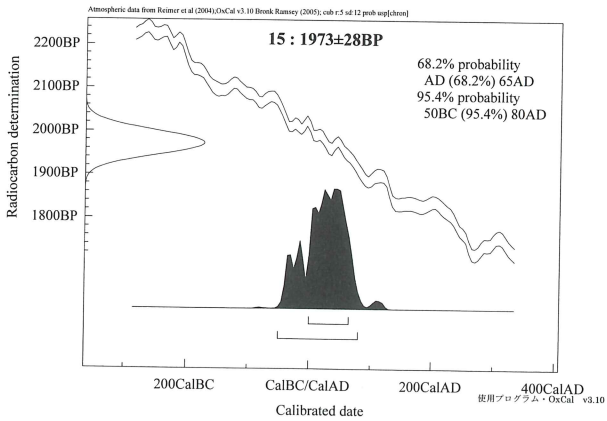
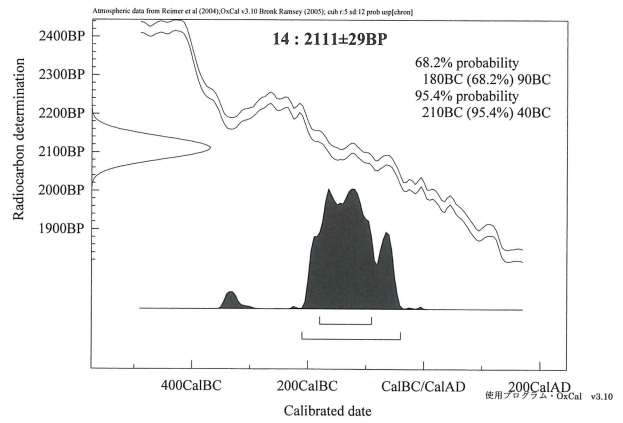
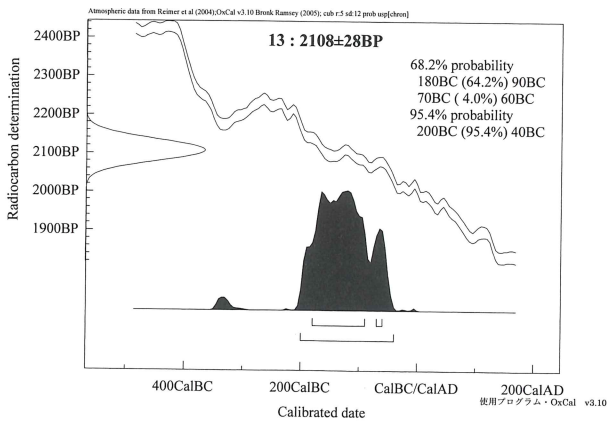
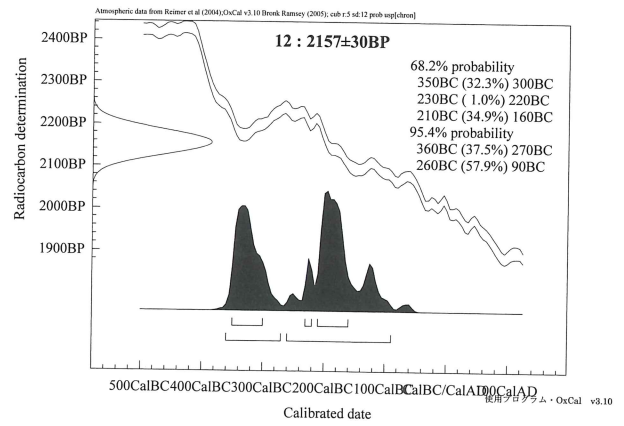
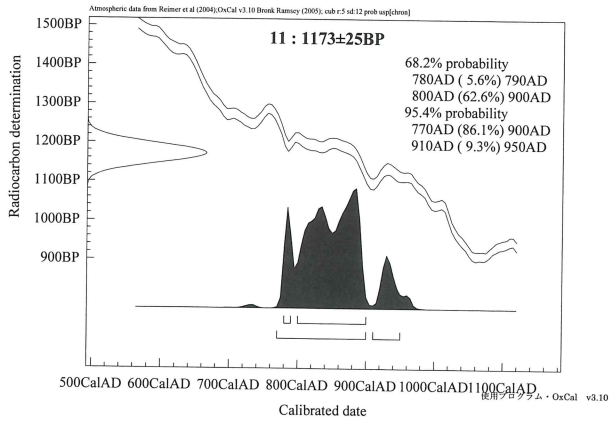
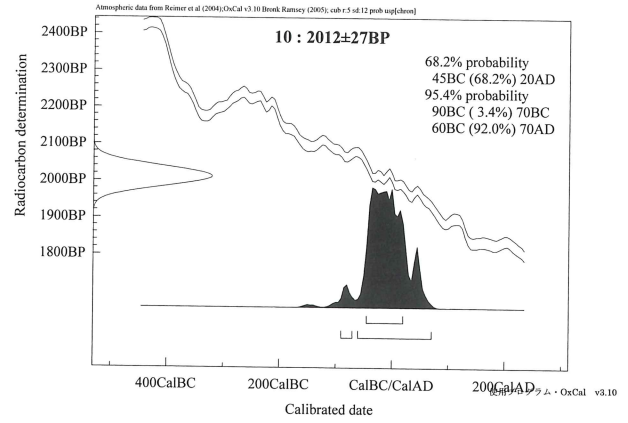
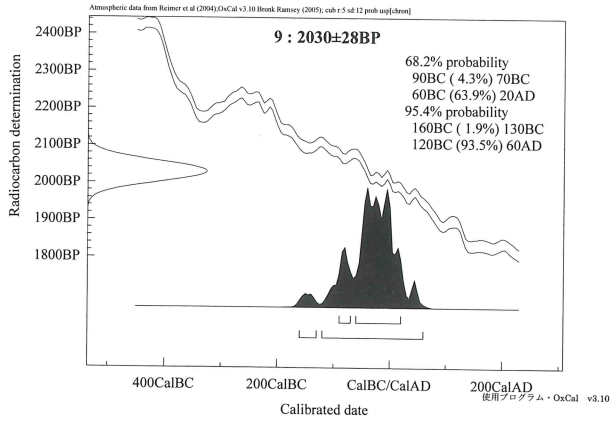
IAA Code No.	試料番号	Libby Age (yrBP)
IAAA-72206	1	2027 ± 30
IAAA-72207	2	2026 ± 29
IAAA-72208	3	2089 ± 30
IAAA-72209	4	1931 ± 27
IAAA-72210	5	2183 ± 30
IAAA-72211	6	2111 ± 28
IAAA-72212	7	2003 ± 28
IAAA-72213	8	2033 ± 30
IAAA-72214	9	2030 ± 28
IAAA-72215	10	2012 ± 27
IAAA-72216	11	1173 ± 25
IAAA-72217	12	2157 ± 30
IAAA-72218	13	2108 ± 28
IAAA-72219	14	2111 ± 29
IAAA-72220	15	1973 ± 28
IAAA-72221	16	1988 ± 29
IAAA-72222	17	1972 ± 28
IAAA-72223	18	1116 ± 28
IAAA-72224	19	2013 ± 27
IAAA-72225	20	2036 ± 30

ここに記載する Libby Age (年代値) と誤差は下1桁を丸めない値である。

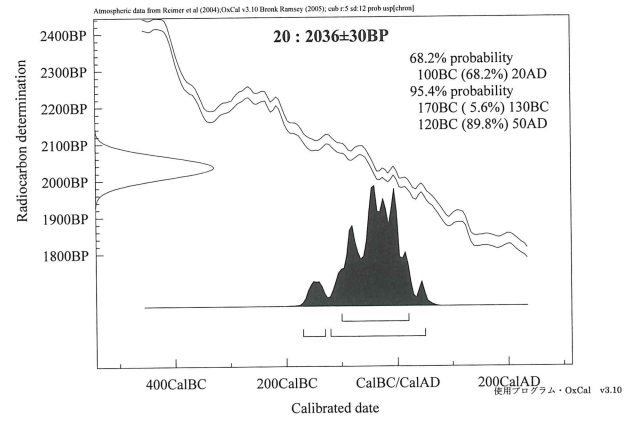
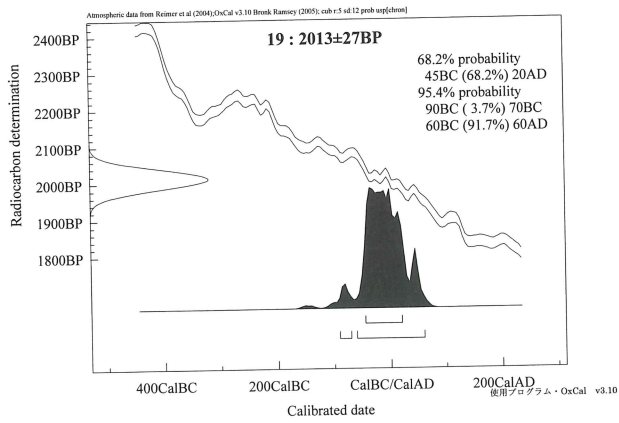
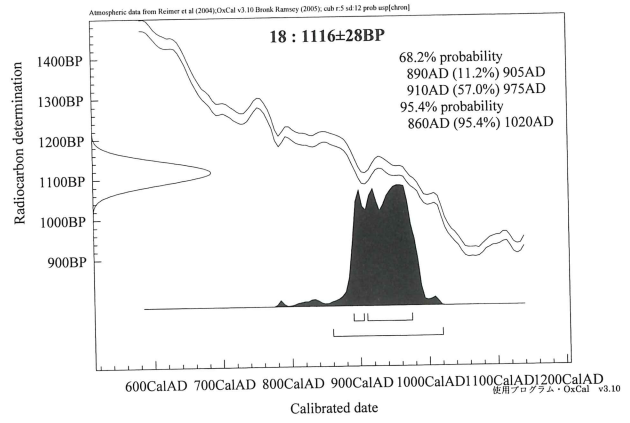
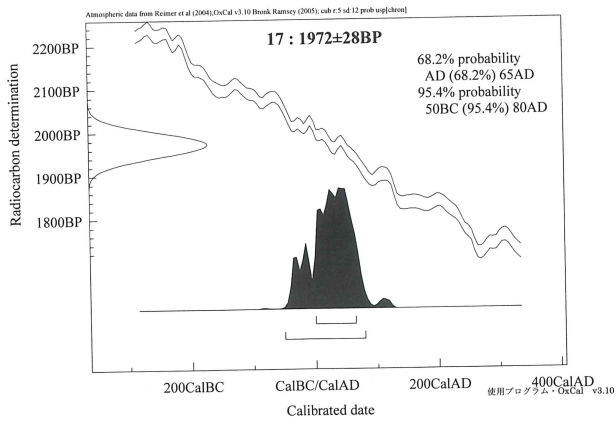
【参考値：暦年補正 Radiocarbon determination】



【参考値：暦年補正 Radiocarbon determination】



【参考値：暦年補正 Radiocarbon determination】



第10章 総括

当該調査は新規の道路建設事業に伴う緊急発掘調査であり、調査対象区は広義の若宮八幡宮遺跡の一部、それも周辺部に位置づけられるものとする。東横前 a、b 地区や宮ノ前 a～d 地区とも自然流路と考えられる溝状遺構と、若干のピット以外には明瞭な遺構は検出されず、流路や厚く堆積した土層から出土する土器や木器、木材等は遺構に伴う一次資料ではなく、流れ込みや二次的な遺物である。

本報告の対象となった若宮八幡宮遺跡出土土器からみた遺跡の変遷は、宮ノ前 c 地区出土資料から以下のように整理される（第77図）。

I 段階（縄文時代後期）：少量の縄文後期三万田式や、鐘ヶ崎式の深鉢が出土している。本遺跡における最古段階の遺物である。数点と量は少ない。

II 段階（弥生時代早～中期）

II-1 段階（弥生早期）：一条刻目突帯文土器と黒色精製浅鉢、壺形土器からなる。壺43は本様式を構成する通常の夜臼系無文壺ではなく、東日本晩期の系譜を引く壺形土器である。大分市植田市（わさだいち）遺跡から出土した大洞 C2後半段階の東日本系土器との関連は興味深い。I 段階に比べるとやや増えてはいるが、本段階の土器資料も 10 数点と量的にはわずかである。近隣に極小規模な生活遺構が存在していたのであろう。

II-2 段階（弥生前期）：前期前半～末に比定される壺や甕形土器は増加しており、近隣において、引き続き小規模な弥生人の生活が維持されていたことを窺わせる。

II-3 段階（弥生中期前半）：直線的に外反する下城タイプの甕形土器や「逆 L」字状や肥厚口縁を持つ壺形土器に代表される中期前半の土器が存在する。前段階と比べて土器の破片は大きく、かつその量もかなり増えており、この段階で、遺跡すなわち人間活動の拡大的画期があったことを示唆しているように思われる。土器付着の C 1 4 測定による暦年較正年代ではおよそ BC 4 世紀中頃～BC 3 世紀前半となる (131)。

II-4 段階（弥生中期後半）：鋤先口縁を有す壺形土器や高坏と、摘み上げ端部を持つ外傾口縁部の甕形土器で代表される。付着炭素測定では、BC 2 世紀前葉～BC 1 世紀前葉の年代がでている (10)。

III 段階（弥生時代中期末～後期）

III-1 段階（中期末・後期前葉）：肥厚した口縁上面に円形浮文を巡らせたり、外面に連続八字状ヘラ描文を施した壺形土器や、いったん締まった胴部上半部から、「く」の字状の口縁部に続く甕形土器等を標識とする。当期に属する土器の、C 1 4 測定による暦年較正年代はおよそ AD 1 世紀前後であるが、この時期の較正年代は古く傾向が指摘されており、^{※註}AD 1 世紀前半を採用する (161)。

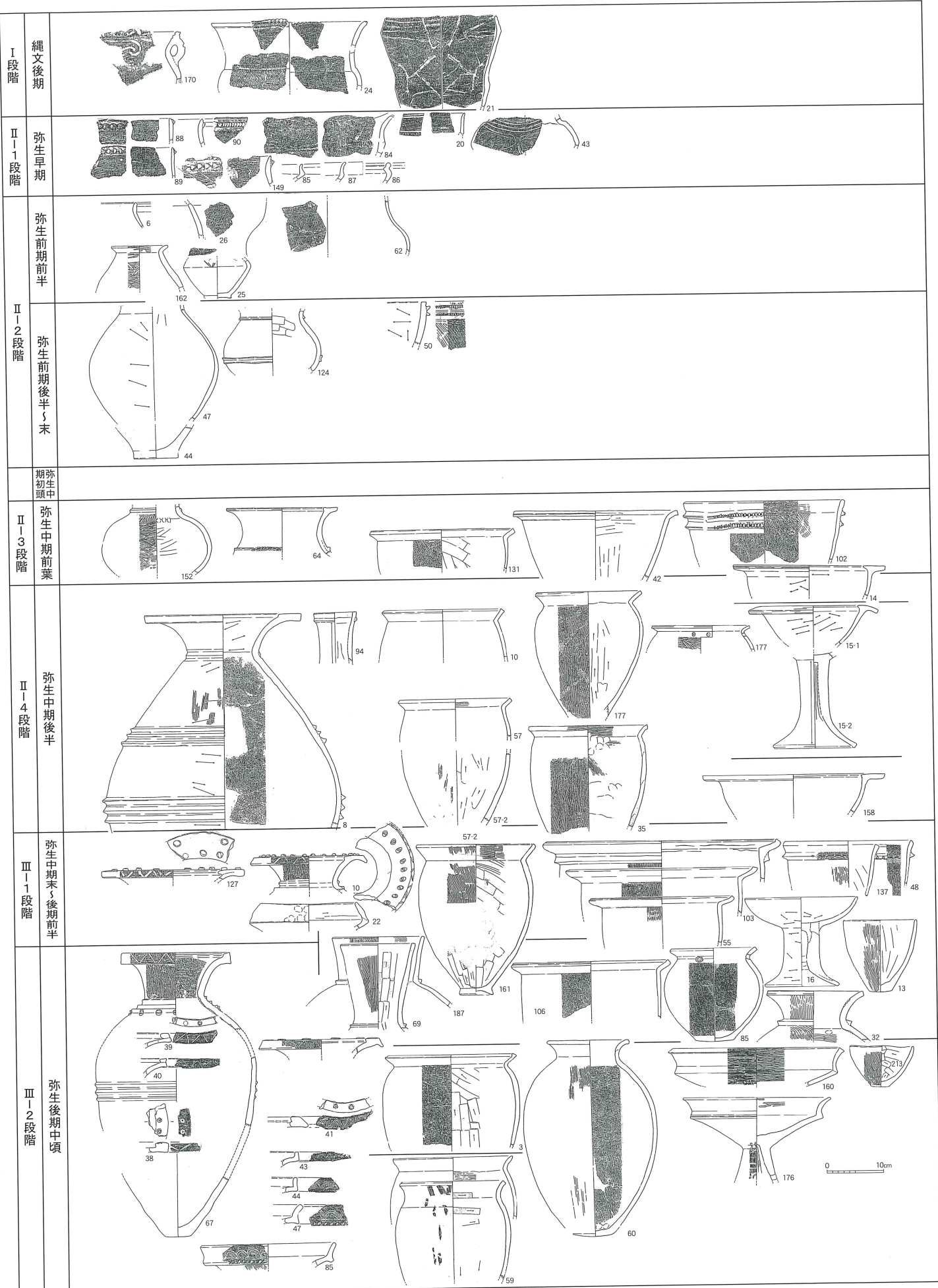
III-2 段階（後期中頃）：肥厚口縁外面に連続鋸歯文や数条の櫛描波状文も施す壺形土器や「く」の字状口縁甕形土器の段階。AD 2 世紀前半の暦年較正年代を示す資料がある (3)。

以上 I～III 段階と、ほぼ途切れることなく土器の出土が確認されるが、III-2 段階の後期中頃を最後に、遺物の出土は無く、近隣に長期に亘って存在したであろう居住地が消失したことを窺わせる。

調査区域から出土するその後の遺物としては、平安時代前期や、14 世紀、16 世紀の土師器、近世のキセル等数点にすぎず、二次的な流れ込みの資料である。

自然流路はその最古段階は I もしくは II-1 段階まで遡る可能性があり、その後 II-3、III 段階の弥生中期～後期中頃の期間存続し、周辺に存在していたであろう居住地から投棄されたり流されたりした遺物（土器や木材、木製品等）を堆積していたのであろう。数は少ないが石包丁や祭祀用の木器の存在から、居住地の住民が稲作農耕を営んでいたことは間違いないが、流路に設けた数個のドングリピットは、なお、縄文時代以来の自然の堅果食料に依存する生業を推測させる。

※註 国立歴史民俗博物館藤尾慎一郎氏の御教示による。



第77図 若宮八幡宮遺跡出土土器編年図

第7表 遺物観察表(1) 東横前 a 地区

土器・陶磁器

遺物 番号	図版 番号	出土地点	器種	法量		器形、成形など	調整、文様など	焼成	胎土	色調	備考
				口径	器高						
001	8	S-1	縄文土器	底径9.6		積み上げ	内外面剥落のため不明	良好	砂粒少ない	灰色～白灰黄色	
002	8	S-1	弥生土器	底径6.0		積み上げ	内面・底部ナデ、外面ヨコナデ、ハケ目	良好	角四石少ない、長石・金雲母わずか	淡黄褐色	
003	8	S-1	弥生土器	26.7			ヨコナデ、内面キザミ目突帯、外面タテ方向ハケ目	良好	角四石、石英少ない	淡黄褐色～灰褐色	下城式 外面黒斑あり
004	8	S-1	弥生土器				内面ナデ、外面他方向ハケ目、口縁部ヨコナデ	良好	角四石わずか、砂粒少ない	淡黄褐色～黒褐色	外面スス付着
011	8	S-2	弥生土器				内面ナデ、ハケ目、外面ヨコナデ	良好	角四石わずか	淡黄色～黒褐色	外面黒斑あり
012	10	S-4	弥生土器	底径3.2		平底の底部	ナデ	良好	角四石少ない、長石わずか	淡暗褐色～黒褐色	
013	11	水田層	弥生土器	底径4.85		やや上げ底状を呈す	内面剥落のため不明、外面・底部ヨコナデ	良好	角四石少ない、石英わずか	白灰色～明赤褐色	
014	11	水田層	弥生土器	底径6.35		平底の底部	内面ナデ、外面から底部ヨコナデ	良好	角四石多い、石英少ない	灰白色～黄褐色	
015	11	水田層	土師器	底径9.05		ロクロ調整、高台が附く。	内面ナデ、外面ヨコナデ	良好	角四石・石英少ない、長石わずか	淡黄褐色	
016	12	中央	弥生土器	底径7.0		上げ底の底部	内外面剥落のため不明	良好	角四石、砂粒少ない	淡明褐色～橙褐色	
017	12	東側壁	弥生土器	底径6.9		高台状の上げ底	ナデ	良好	角四石、石英少ない	灰暗色～橙褐色	
018	12	北側	弥生土器	底径5.9		高台状の上げ底	ヨコナデ	良好	角四石少ない、長石わずか	淡黄褐色～明褐色	
019	12	南側	弥生土器	底径4.1		平底の底部	内面ナデ、外面ヨコナデ	良好	角四石多い、長石わずか	淡灰黄色～淡黄褐色	
020	12	南側	弥生土器	底径5.0		やや上げ底状を呈す	ナデ	良好	角四石少ない	暗灰黄色～灰黄色	
021	12	中央	弥生土器	底径3.45		やや上げ底状を呈す	内面ナデ、外面ヨコナデ	良好	角四石少ない、石英わずか	灰白色～淡明黄褐色	
022	12	北側	弥生土器			突帯下に勾玉状浮文あり	ナデ、外面ヨコナデ後タテ方向ハケ目、突帯、浮文貼付	良好	角四石少ない	明褐色	
023	12	中央	弥生土器			二重口縁の上部	ナデ、外面ヨコナデ、浮文貼付	良好	角四石、石英わずか	橙褐色	
024	12	南側	弥生土器			ロクロ調整	ナデ、内面ハケ状痕、口縁部ヨコナデ	良好	砂粒少ない、石英わずか	灰黄色	
025	12	中央	瓦質土器			直立気味に立ち上がる	内面ナデ、外面ヨコナデ	良好	砂粒少ない	灰白色～淡褐色	中世
026	12	南側	須恵器			ロクロ調整、タタキ成形	内面当て具、外面タタキ痕残る	良好	角四石、砂粒少ない	灰色	同心円当て具、平行タタキ板使用
027	12	南側	須恵器			ロクロ調整、タタキ成形	内面当て具、外面タタキ痕残る	良好	砂粒少ない	灰色	同心円当て具、平行タタキ板使用
028	12	中央	備前焼磁器			ロクロ調整	ヨコナデ、内面スリ目	良好	砂粒少ない	暗褐色～褐灰色	

石製品

遺物 番号	図版 番号	出土地点	種別	材質	法量		備考
					長さ	幅	
006	8	S-1	礫石?		12.3	11.1	
007	8	S-1	礫石?		6.4	8.4	
008	8	S-1	石皿?		7.2	8.0	
009	8	S-1	礫石?		9.1	7.7	
010	8	S-1	石斧?		残存長13.1	8.5	
011	8	黒色粘質土	石斧		7.2	2.4	

第8表 遺物観察表(2) 東横前b地区

土器・陶磁器

遺物 番号	図版 番号	出土地点	器種	法量		器形、成形など	調整、文様など	焼成	胎土	色調	備考
				口径	器高						
001	15	黒色粘質土	弥生土器表			刻目突帯貼付	内面工具痕、ナデ、外面ヨコナデ、ナデ 刻目貼付突帯	良好	角四石含む	灰白色	
002	15		弥生土器表			刻目突帯貼付	内面ナデ、外面・口縁部ヨコナデ、突帯あり	良好	角四石、石英含む	灰褐色～橙灰褐色	下城式
003	15		弥生土器表			2条の刻目突帯貼付	内面・口縁部ヨコナデ、外面タテハケ、工具によるヨコナデ、刻目貼付突帯2条	良好	角四石、砂粒多い	橙灰褐色～黒褐色	下城式、内外面黒斑あり
004	15	黒色粘質土	弥生土器表				内面平滑なナデ、外面ナデ後ハケ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石やや多い		
005	15	黒色粘質土	弥生土器				ナデ、外面は摩耗して不明	良好	角四石、長石多い	黄灰褐色～灰褐色	
006	15	黒色粘土層	弥生土器				内面ナデ、外面タテハケ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石含む	黄灰色～橙色	
007	15	黒色粘質土	弥生土器表	28.0		口縁端部跳ね上げ	内面ナデ、外面粗いナデ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石含む	茶褐色～黒黄褐色	
008	15	黒色粘質土	弥生土器表			口縁端部跳ね上げ	内面平滑なナデ、外面粗いナデ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石含む	黄灰白色～白灰褐色	
009	15	黒色粘質土	弥生土器表			口縁端部跳ね上げ	ナデ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石含む	橙灰色～黄灰褐色	外面スス付着
010	15	黒色粘土層	弥生土器表				内面平滑なナデ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石含む	暗褐色～黒褐色	外面全体スス付着
011	15	黒色粘土層	弥生土器表				内面平滑なナデ、外面・口縁部ヨコナデ	良好	角四石含む	黄灰褐色～黒褐色	外面スス付着
012	15		弥生土器表			外面に接合痕残る	内面工具痕、ナデ、外面工具によるタテ方向ナデ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石含む	灰褐色～黒灰褐色	
013	15		弥生土器表			外面に接合痕残る、口縁端部跳ね上げ	ナデ、外面ハケ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石含む	黄灰色～暗灰褐色	
014	15		弥生土器表			外面に接合痕残る、口縁端部跳ね上げ	ヨコナデ、外面ナデ	良好	角四石含む	灰褐色～黒灰褐色	
015	15	黒色粘質土	弥生土器表				ヨコナデ	良好	角四石含む	暗黄灰褐色～灰褐色	外面スス付着
016	15	黒色粘土層	弥生土器表			口縁端部跳ね上げ	ヨコナデ、外面ナデ	良好	角四石、砂粒含む	暗灰褐色	
017	15	黒色粘質土	弥生土器表			口縁端部跳ね上げ	ヨコナデ、外面ナデ	良好	角四石、砂粒含む	黄灰色	外面スス付着
018	15	黒色粘質土	弥生土器表			口縁端部跳ね上げ	ヨコナデ、外面ナデ	良好	角四石含む	白黄灰褐色	
019	15		弥生土器表				ヨコナデ	良好	角四石含む	橙褐色～黒灰褐色	外面スス付着
020	15	黒色粘質土	弥生土器表	23.0			ヘラケズリ後ヘラミガキ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石含む	黄灰褐色～黒灰褐色	
021	15		弥生土器表			内面に接合痕残る	ヨコナデ、ナデ、内面工具痕、外面タテハケ	良好	角四石、砂粒含む	白灰褐色～橙灰褐色	小野富28と同一個体?
022	15		弥生土器表			内面に指圧痕残る	ヨコナデ、内面工具痕、ナデ、外面タテハケ	良好	角四石やや多く、石英多い	黄灰褐色～橙灰褐色	外面スス付着
023	15	黒色粘土層	弥生土器表			肩部に斜め押圧文あり	内面ケズリ後ナデ、外面ナデ、ハケによる施文	良好	角四石含む	黄灰褐色～黄灰白色	外面スス付着
024	15	黒色粘質土	弥生土器表				内面工具によるナデ、外面ナデ、ヨコナデ	良好	角四石、長石、石英やや多い	黒灰褐色～橙灰褐色	外面丹塗り
025	15	黒色粘土層	弥生土器壺			突帯貼付	内面ナデ、外面タテハケ、ヨコナデ、突帯あり	良好	角四石、長石やや多い	暗灰褐色～白橙灰色	
026	15		弥生土器壺			突帯貼付	ナデ、外面ヨコナデ、タテハケ、突帯あり	良好	角四石、石英含む	黄灰色～橙灰色	小野富27と同一個体?
027	15	黒色粘質土	弥生土器壺			3条の突帯貼付	内面平滑なナデ、外面ヨコナデ、突帯あり	良好	角四石、長石、石英やや少ない	黒灰褐色～白灰褐色	外面丹塗り
028	15	黒色粘質土	弥生土器壺			2条の突帯貼付	内面ナデ、外面ナデ、ヨコナデ、突帯あり	良好	角四石、長石、石英多い	黄灰褐色	
029	16	黒色粘土層	弥生土器壺	底径(5.9)		底部内外面指圧痕残る平底	内面ナデ、外面・底部工具によるナデ、ヨコナデ	良好	砂粒やや少ない	黄灰白色～黒褐色	内外面黒褐色の付着物あり
030	16		弥生土器壺	底径7.3		外方向に踏ん張る平底	内面ナデ、外面タテハケ、外面・底部ヨコナデ	良好	角四石、長石、金雲母多い	黄灰褐色～黒灰褐色	内面スス、外面コゲ付着
031	16	黒色粘質土	弥生土器壺	底径(6.0)		やや上げ底状の底部	内面ナデ、外面タテハケ、外面・底部ヨコナデ	良好	角四石、長石多い	橙灰褐色～橙灰色	
032	16		弥生土器壺	底径(5.5)		内面に指圧痕残る	内面・底部ナデ、外面タテハケ、ヨコナデ	良好	角四石、金雲母含む	橙灰褐色～白橙灰色	
033	16	黒色粘質土	弥生土器壺	底径(5.5)		やや上げ底状の底部	ナデ、外面ヨコナデ	良好	角四石、長石多い	暗灰褐色～橙褐色	外面スス付着
034	16	黒色粘質土	弥生土器壺	底径(6.0)		平底	内面ナデ、外面タテハケ、工具痕、工具でナデ、底部工具痕でナデ後磨きナデ	良好	角四石、長石多い	黒灰色～白灰黄色	外面黒斑あり
035	16	黒色粘質土	弥生土器壺	底径4.5		底部内面指圧痕残る	ナデ、外面タテハケ	良好	角四石、長石、石英多い	白灰褐色～暗灰褐色	

石製品

遺物 番号	図版 番号	出土地点	種別	材質	法量		備考
					長さ	幅	
036	16	黒色粘土層 下層	磨製石斧	蛇紋岩	8.6	5.3	
037	16	黒色粘土層 下層	磨石	砂岩	5.2	5.2	

第9表 遺物観察表(3) 宮ノ前a地区

土器・陶磁器

遺物 番号	図版 番号	出土地点	器種	法量		器形・成形など	調整・文様など	焼成	胎土	色調	備考
				口径	器高						
001	20	南Ⅱa層	壺			積み上げ	内面ナデ、外面ヨコナデ	良好	角閃石、長石多い	茶褐色	
002	20	南Ⅱa層	甕	(9.6)		積み上げ	内面工具状のナデ・ヨコナデ、外面ナデ、ヨコナデ	良好	角閃石少ない、長石多い	暗褐色	外面黒斑あり
003	20	南Ⅱa層	壺	(38.2)		積み上げ	内面ヨコナデ、外面ナデ、ヨコナデ後ヘラミガキ	良好	角閃石、長石多い	茶褐色	
004	20	南Ⅱa層	甕			積み上げ	内面ケズリ後ナデヨコハケ、外面タテハケ、ヨコナデ	良好	角閃石多い、長石少ない	暗褐色	
005	20	南Ⅱa層	甕			積み上げ	ヨコナデ	良好	角閃石、長石少ない	暗橙褐色	下城式
006	20	南Ⅱa層	甕	(15.6)		積み上げ	内面ナデ、ヨコナデ、外面タテハケ、ヨコナデ	良好	角閃石、長石少ない	暗灰黄褐色	外面スス附着
008	20	南Ⅱb層	白磁碗			玉縁口縁 ロク口調整	施釉、ヨコナデ	良好	灰色	灰色	12世紀 中国産
009	20	南Ⅱb層				積み上げ	内面ナデ、ヨコナデ、外面ナデ	良好	角閃石、長石多い、石英わずか	暗褐色	内外面黒斑あり
010	20	南Ⅱb層	土師高台付杯	底径(9.0)		ロク口調整	底部外面ヨコナデ	良好	角閃石少ない、長石多い	淡褐色～淡赤色	
011	20	南Ⅱcd層	壺			積み上げ	内面ヨコナデ、外面ヨコナデ、波状文	良好	角閃石、長石多い	淡褐色	
012	20	南Ⅱcd層	甕			積み上げ	内面荒いヨコハケ後ヨコナデ、外面ナデ、ヨコナデ後文様	良好	角閃石、長石多い	淡黄灰褐色	
013	20	南Ⅱcd層	壺			積み上げ	ヨコナデ	良好	角閃石、長石、石英多い	淡褐色～灰褐色	
014	20	南Ⅱcd層	壺	(13.8)		積み上げ	内面ケズリ後ナデ、ヨコナデ、外面タテハケ、ヨコナデ、ヨコハケ後ヨコナデ	良好	角閃石少ない、長石多い	暗褐色	
015	20	南Ⅱcd層	壺	(19.6)		積み上げ	内面ケズリ後ナデ、ヨコハケ後ヨコナデ、外面タテハケ後ヨコナデ	良好	角閃石、長石多い	灰色～黒灰	
016	20	南Ⅱcd層	下城甕			積み上げ	内面指圧痕ナデ、ヨコナデ、外面タテハケ、ヨコナデ刻み目	良好	角閃石、長石少ない	淡橙黄色	下城式、内面黒斑あり
017	20	南Ⅱcd層	甕			積み上げ	ヨコナデ	良好	角閃石、長石少ない	暗褐色～橙褐色	
018	20	南Ⅱcd層	甕	底径(6.3)		積み上げ	底部外面指圧痕ナデ	良好	角閃石多量、長石多い	暗褐色	
019	20	南Ⅱcd層	甕	底径(6.2)		積み上げ	底部外面ヨコナデ	良好	角閃石、長石少ない、石英わずか	淡灰褐色	
020	21	南Ⅱcd層	鉢			積み上げ	ヨコ方向ナデ	良好	角閃石少ない、長石多い	灰褐色	
021	21	南Ⅱcd層	鉢	(19.6)		積み上げ	ヨコ方向ナデ	良好	角閃石多量、長石多い	灰褐色	
022	21	南Ⅱcd層	深鉢	(36.2)		積み上げ	内面ナデ、外面ナデ後ヘラミガキ	良好	角閃石、長石、石英少ない	灰褐色	
023	21	南Ⅱd層	甕	底径(6.4)		積み上げ	胴部外面タテハケ、ヨコナデ。内面はコケ附着で不明	良好	角閃石少ない、長石多い	褐色～淡褐色	内面全体コケ附着
024	21	南Ⅲa層	深鉢	(27.0)		積み上げ	内外面ナデ後ミガキ、口縁部・胴部外面に縄文	良好	長石多い	灰褐色	
025	21	南Ⅲb層	小壺	底径(4.6)		積み上げ	胴部内面ケズリ後ナデ、外面ナデ後ミガキ、底部外面ナデ	良好	長石多い	黒褐色	外面スス附着
026	21	南Ⅲc層	壺			積み上げ	内面ヨコナデ、外面ナデ後木の葉文	良好	角閃石少ない、長石多い	暗茶褐色	
027	21	SK-2	甕	底径(4.8)		積み上げ	底部外面ナデ	良好	角閃石、長石、石英少ない	淡灰褐色	外面黒斑あり
028	21	南第1黒土層	甕	(9.6)		積み上げ	内面ケズリ後ナデ、工具状ナデ、外面ケズリ後ナデ、工具状ヨコナデ	良好	角閃石多い、長石多量	暗褐色	外面黒斑あり
029	21	南第1黒土層	甕	(14.2)		積み上げ	内面ケズリ後ナデ・ヨコナデ、外面荒いナデ	良好	角閃石、長石多い、石英わずか	暗褐色	外面スス附着
030	21	南第1黒土層	高坏	(29.0)		積み上げ	坏部内外面ナデ、ヨコナデ	良好	角閃石少ない、長石多い	淡褐色～淡橙色	内外面スス附着

石製品

遺物 番号	図版 番号	出土地点	種別	材質	法量		備考
					長さ	幅	
031	22	南	剥片	黒曜石	7.4	4.4	姫烏産
007	20	南Ⅱa層	打欠石錘	角閃石安山岩	残存長6.6	7.0	

第10表 遺物観察表(4) 宮ノ前b地区

土器・陶磁器

遺物番号	国原番号	出土地点	器種	法量		器形・成形など	調整、文様など	焼成	胎土	色調	備考
				口径	器高						
001	27	北中央土層11層	裝飾器台			積み上げ	ヨコナデ	良好	角四石多い、長石少ない	淡褐色	丹塗り
003	27	北-21	緑釉陶器	高径7.9		ロクロ調整、底部回転系切り	回転ナデ、緑釉、見込内面指ナデ	良好	灰色		高台成形
004	27	北-SD1-SD2 砂質土層	土師器	底径6.4		ロクロ調整 底部回転ヘラ切り	調整停減して不明	良好	角四石少ない、長石多い	黄褐色	
007	27	北第1黒土層	土師器	(13.4)		手づくね	ヨコナデ、外面削部未調整	良好	角四石、長石少ない	白黄灰色	
008	27	北第1黒土層	土師皿	(10.8)	2.9	ロクロ調整、底部ヘラ切り	回転ヨコナデ	良好	角四石、長石やや多い	黄褐色～灰褐色	
009	27	北第1黒土層	土師皿	(11.0)	2.2	ロクロ調整、底部ヘラ切り	回転ヨコナデ	良好	角四石、長石やや多い	白橙～白黄灰色	
010	27	北第1黒土層	土師質皿	(10.6)	2.6	ロクロ調整、底部ヘラ切り	回転ヨコナデ、底部内面ナデ	良好	角四石多い、長石少ない	浅黄褐色	胴部内外面スス付着
011	27	北第1黒土層	土師質環	(12.6)	3.6	ロクロ調整、底部回転系切り	回転ヨコナデ、底部内面ヨコナデ	良好	角四石、長石わずか	にぶい橙色	
012	27	北第1黒土層	土師質環	(14.5)	4.6	高台貼付	口縁・胴部内外面ヨコナデ、底部内外面ナデ	良好	角四石、長石多い	淡黄色～灰黄色	
016	27	北第1黒土層	台付杯	底径(6.6)		ロクロ調整	内面ナデ、外面ヨコナデ、ナデ	良好	角四石多い、長石少ない	灰白色	
017	27	北第1黒土層	台付杯	底径(8.0)		底部系切り?	内面ナデ、外面ヨコナデ	良好	角四石少ない、長石わずか	にぶい黄褐色	
018	27	北第1黒土層	土師質杯	底径(6.8)		ロクロ調整	内面ナデ、外面ヨコナデ、ナデ	良好	角四石少ない、長石わずか	灰白色～黒色	
019	27	北第1黒土層	台付杯	底径(5.4)		ロクロ調整	内外面ナデ、外面ヨコナデ	良好	角四石少ない、長石わずか	灰褐色	
020	28	北黒色粘土層-17	土師器杯	9.4	1.9	ロクロ調整、底部ヘラ切り	ヨコナデ、底部に板状圧痕あり	良好	角四石多い、石英わずか	淡黄褐色～褐灰色	
021	28	北黒色粘土層	土師質皿	10.8	2.1-2.2	ロクロ調整、底部回転ヘラ切り	回転ヨコナデ、内面ヨコナデ、ナデ	良好	角四石、長石少ない	浅黄褐色	内面スス付着。灯明皿か
022	28	北黒色粘土層	土師器杯	11.8	3.2	ロクロ調整、底部ヘラ切り	内面から外面上半にかけてヨコナデ、胴部外面下半部回転ヘラズリ	良好	長石少ない	灰白色～褐灰色	底部黒斑あり
023	28	北黒色粘土層	土師質環	(11.9)	4.55	ロクロ調整、底部回転ヘラ切り	回転ヨコナデ、内面ヨコナデ、ナデ	良好	角四石、長石少ない、金雲母わずか	にぶい黄褐色	
024	28	北黒色粘土層	土師質環	(15.7)	5.8	ロクロ調整、底部回転ヘラ切り	回転ヨコナデ、底部内面ヨコナデ	良好	角四石多い	黒色	内黒? 黒色? 土器
025	28	北黒色粘土層	内黒土器碗			ロクロ調整	胴部ヨコナデ、底部外面ナデ	良好	角四石わずか	灰白色・黒色	
026	28	北黒色粘土層-19	土師器碗	底径6.9		ロクロ調整、底部ヘラ切り	内外面ヨコナデ	良好	角四石少ない、金雲母わずか	浅黄褐色～黒褐色	内外面黒斑あり
027	28	北第1黒土層	黒色土器碗	底径(7.0)		ロクロ調整	回転ヨコナデ、底部ナデ	良好	長石少ない、金雲母多い	黒色	
028	28	北黒色粘土層-13	土師器杯	底径(8.4)		ロクロ調整、底部ヘラ切り	内外面ヨコナデ	良好	角四石少ない、長石多い	褐灰色～黄褐色	内面全面に黒斑あり
029	28	北黒色粘土層-12	土師器杯	底径9.0		ロクロ調整、底部ヘラ切り	内外面ヨコナデ	良好	角四石多い、長石少ない	暗黄褐色～暗黄褐色	
030	28	北第1黒土層	碗	底径(12.8)		ロクロ調整	内面ナデ、外面回転ヨコナデ	良好	角四石、長石多い	にぶい褐色	
036	28	北第1黒土層	須恵器杯			ロクロ調整	回転ヨコナデ、外面回転ヘラズリ	良好	砂粒少ない	灰色	
037	29	北第1黒土層	壺				内面ヨコナデ、浮文、外面輪描波状文、ナデ、ヨコナデ	良好	角四石多い、長石少ない	灰白色	外面丹塗り
038	29	北第1黒土層	壺				内面ヨコナデ、竹筥文、外面山形文、ナデ	良好	角四石多い、長石少ない	灰黄褐色	
039	29	北黒色粘土層 西-3	弥生土器壺			積み上げ	内外面ヨコナデ、ナデ。円形浮文、山形連続刻目目文	良好	角四石、長石やや多い	黄褐色～黒灰褐色	
040	29	北第1黒土層	弥生土器壺			積み上げ、内面接合痕あり	内外面ヨコナデ、外面ナデ、連続山形ヘラ切り文	良好	角四石、長石、石英多い	黄灰褐色～灰褐色	
041	29	北第1黒土層	弥生土器壺			積み上げ	内外面ヨコナデ、指圧後ヨコナデ、浮文、輪描波状文	良好	角四石、長石やや多い、石英含む	白灰褐色～黄褐色	
042	29	北黒色粘土層	弥生土器壺				ヨコナデ、内面浮文あり、外面山形文、ナデ	良好	角四石わずか	褐色	
043	29	北第1黒土層	弥生土器壺			積み上げ	ヨコナデ、内面ヨコハケ、外面輪描波状文、タテハケ	良好	角四石、長石やや多い、金雲母含む	黄灰色	
044	29	北第1黒土層	弥生土器壺			積み上げ	内外面ヨコナデ、ナデ、外面輪描波状文	良好	角四石、長石やや多い	黄灰色～灰褐色	
045	29	北第1黒土層	弥生土器壺			突帯貼付	ナデ、外面ヨコナデ、貼付突帯・刻目突帯あり	良好	角四石、長石多い	灰色	
046	29	北黒色粘土層	壺				内面丁寧ナデ、外面輪描波状文、ヨコナデ、口唇部ナデ	良好	角四石、長石少ない	褐灰色	
047	29	北第1黒土層	弥生土器壺			積み上げ	ヨコナデ、内面ナデ、外面輪描波状文、刻目	良好	角四石、長石多い	灰褐色～暗灰褐色	
048	29	北第1黒土層	弥生土器壺	(23.8)			内面ヨコナデ、外面ヨコナデ後ナメハケ目、輪描波状文	良好	角四石多い	灰黄褐色	
049	29	北第1黒土層	弥生土器壺	(19.2)			ヨコナデ	良好	角四石わずか、長石少ない	にぶい黄褐色	外面スス付着
050	29	北黒色粘土層西側	弥生土器壺	(21.4)		積み上げ	内外面ヨコナデ、ナデ、外面工具によるヨコナデ後ナデ	良好	角四石、長石多い	黄灰色～灰褐色	外面スス付着
051	29	北黒色粘土層	土師質壺	(23.4)		積み上げ	内面ヨコナデ、ナデ後ナメハケ目、外面ナデ、ヨコナデ後ナメハケ目、ナデ後ナメハケ目	良好	角四石多い、長石少ない	にぶい黄褐色	
052	29	北黒色粘土層西側	壺	(17.2)		積み上げ	口縁部ヨコナデ、胴部内面ナデ、外面ヨコハケ、ヨコハケ後ナデ	良好	角四石、長石多い、石英含む	橙褐色～白橙褐色	
053	29	北第1黒土層	土師	(23.6)			ヨコナデ後指圧痕・ナデ	良好	角四石多い、長石少ない	灰黄色	
054	29	北第1黒土層	土師 壺	(20.1)		積み上げ、割れ目近くに窪み跡あり	ヨコナデ後指圧痕ナデ	良好	角四石多い、長石少ない	にぶい黄褐色～灰白色	
055	30	北黒色粘土層西側	弥生土器壺	(18.6)		積み上げ	内面ヨコナデ、ナデ、外面ヘラミガキ	良好	角四石、長石やや多い	黄灰褐色	口縁部内面から胴部外面丹塗り
056	30	北第1黒土層	壺				内面ナデ、ヨコハケ、外面ナメハケ、ヨコナデ、タテハケ、浮文あり	良好	角四石、長石多い	黄灰色～黄灰褐色	
057	30	北第1黒土層	壺			積み上げ	口縁部ヨコナデ、内面ナデ、ナデによるナデ、外面ヨコナデ、ヨコハケあり	良好	角四石、長石やや少ない	暗黄褐色～黒灰褐色	
058	30	北第1黒土層	小壺				胴部ナデ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石少ない、長石わずか	にぶい黄褐色	
059	30	北第1黒土層	壺			積み上げ	ヨコナデ	良好	角四石多い、長石わずか	灰黄色	
060	30	北第1黒土層	壺				ヨコナデ、外面凹線文	良好	角四石少ない、長石わずか	黄褐色	
061	30	北第1黒土層	壺				ヨコナデ、外面凹線文	良好	角四石多い、長石少ない	にぶい黄褐色	
062	30	北第1黒土層	壺				ヨコナデ	良好	角四石少ない、長石わずか	灰黄色	
063	30	北黒色粘土層西側	弥生土器壺			積み上げ	ヨコナデ、外面凹線文	良好	角四石、長石やや多い		瀬戸内系
064	30	北第1黒土層	丹塗土器壺				ナデ、穿孔1つあり、口唇部ヨコナデ	良好	角四石多い	灰黄色	外面口唇部近く丹塗り
065	30	北第1黒土層	黒色土器碗				胴部内外面ヘラミガキ、底部ナデ、口縁部内面沈線あり	良好	角四石、長石少ない	黒灰色	
066	30	北黒色粘土層	壺			突帯貼付	内面ナデ後指圧痕、外面ヨコナデ、突帯あり	良好	角四石少ない、長石わずか	にぶい黄褐色～灰色	
067	30	北第1黒土層	高坏				口縁部ヨコナデ、胴部ナデ	良好	角四石多い、長石わずか	灰黄色	
068	30	北黒色粘土層西側	高坏			積み上げ、突帯貼付	ナデ、ヨコナデ、外面刺突文、突帯あり	良好	角四石、長石多い、石英含む	橙褐色～灰褐色	
069	30	北第1黒土層	高坏				坏部内面ナデ、胴部内面ナデ、ナデアケ、外面ヨコナデ	良好	角四石、長石少ない	にぶい黄褐色	
070	30	北黒色粘土層西側	鉢	(14.5)			口縁部ヨコナデ、胴部内面ヘラミガキ、外面ナデ	良好	角四石、長石やや多い、石英含む	白橙灰色	
071	30	北黒色粘土層西側	弥生土器壺	底径(5.7)		積み上げ	内面・底部ナデ、外面タテハケ、ヨコナデ	良好	角四石、長石やや多い	黄灰褐色～灰褐色	
072	30	北黒色粘土層-16	弥生土器壺	底径5.8		積み上げ	内外面ヨコナデ、外面タテハケ、底部ナデ	良好	角四石、長石わずか	暗黄褐色～暗褐色	
073	30	北黒色粘土層	壺	底径(4.6)			胴部内面ナデ、外面ヨコナデ、底部ナデ	良好	角四石多い、長石少ない	灰白色～黒色	
074	30	北黒色粘土層-18	弥生土器壺	底径5.25		積み上げ	ヨコナデ	良好	角四石多い、長石少ない	灰黄褐色	
075	30	北第1黒土層	土師質鉢	底径(3.8)		手づくね	ナデ、内面ヨコナデ、外面指圧痕	良好	角四石、長石やや少ない	暗灰黄色	
076	30	北第1黒土層	土師質鉢	底径(3.8)		手づくね	内面・底部ナデ、外面指圧痕、ナデ	良好	角四石、長石やや多い	灰褐色	内面コゲ、外面スス付着
083	31	北第1黒土層	縄文土器鉢				内面ヨコ方向ナデ、外面指圧痕	良好	角四石、長石多い	橙灰白色	
084	31	北第1黒土層	縄文土器鉢				ヨコナデ、外面には文様?	良好	角四石、長石多い	にぶい黄褐色～灰白色	
085	31	北第1黒土層	高坏				ヨコナデ、ナデ	良好	角四石、長石多い	灰色	
086	31	北第1黒土層	壺			積み上げ	ナデ、ヨコナデ	良好	角四石多い、長石少ない	灰白色	外面スス付着
087	31	北第1黒土層	高坏				ヨコナデ、ナデ	良好	角四石多い	灰白色	
088	31	北第1黒土層	鉢			突帯貼付	内外面ヨコ方向ナデ、刻目突帯あり	良好	角四石、長石多い	暗灰褐色～黄灰褐色	
089	31	北第1黒土層	鉢			突帯貼付	内外面ヨコ方向ナデ、刻目突帯あり	良好	角四石、長石多い	灰黄色～暗灰褐色	
090	31	北第1黒土層	弥生土器鉢			積み上げ	内面ナデ、外面ヨコナデ、刻目突帯あり、口唇部ヨコナデ	良好	角四石多い	灰色	
092	31	北SD1-4	土師質皿	(16.2)	(3.7)	ロクロ調整 底部ヘラ切り	回転ヨコナデ、底部ヨコナデ	良好	角四石、石英少ない	にぶい黄褐色	
093	31	北SD1	土師環	12.5	4.0-4.8	底部回転ヘラ切り	回転ヨコナデ、内面ナデ	良好	角四石多い、石英わずか	赤褐色	内面スス付着
094	31	北SD1-29	土師質環	(11.7)	3.8	ロクロ調整 底部ヘラ切り	回転ヨコナデ、内面ヨコナデ	良好	角四石多い、長石わずか	淡黄色～灰白色	
095	31	北SD1-1-27	土師器鉢	底径6.2		ロクロ調整 底部回転系切り	回転ヨコナデ、内面一部ナデ	良好	角四石わずか、長石少ない	浅黄色	
096	31	北SD1	弥生土器壺	(10.6)			口縁部・胴部内面ヨコナデ、胴部外面ナデ後ハケ	良好	角四石少ない、石英わずか	にぶい褐色	

遺物 番号	国 番号	出土地点	器種	法址		器形・成形など	調整、文様など	焼成	胎土	色調	備考
				口径	器高						
098	31	北SD1-24	甕				内面ナデ、外面ナデ後タキ目痕	良好	角四石、長石、石英多い	にぶい黄褐色	
099	31	北SD1	弥生土器壺			積み上げ	外面ナデ後ナメハケ	良好	角四石少ない、長石わずか	にぶい褐色	
100	31	北SD1	弥生土器壺			積み上げ	内面ヨコナデ、ナデ後指痕、外面ナデ、飾線波状文	良好	角四石、長石少ない	淡黄色	
101	31	北SD1	弥生土器壺			積み上げ	内面ヨコナデ、外面ヨコナデ後ナメハケ目	良好	角四石、長石少ない	にぶい褐色	
102	31	北SD1	弥生土器壺			積み上げ	内面ナデ、外面ナデ後タテハケ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石多い	灰白色-橙色	
103	31	北SD1	須恵器壺			口縁調整	回転ヨコナデ	良好	長石ごくわずか	灰色	古墳時代
104	32	北SD1第1里土層	土師器環	11.3	3.4	口縁調整 底部ヘラ切り	ヨコナデ	良好	角四石少ない	褐色-淡黄褐色	
105	32	北SD1第1里土層	土師器環	12.6	3.45	口縁調整 底部ヘラ切り	ヨコナデ、底部に板状指痕あり	良好	角四石わずか	褐色-明赤褐色	
106	32	北SD1第1里土層	土師器蓋	(18.4)		口縁調整	ヨコナデ、ヘラ切り	良好	角四石わずか	淡黄褐色	
107	32	北SD1第1里土層	瓦器質鉢			口縁調整	内面ヨコナデ、外面格子目タタキ	良好	砂粒少ない	灰色-暗灰色	
108	32	北SD1第1里土層	弥生土器壺			口縁調整	内面ハケ目、外面ヨコナデ、口縁部に浮文貼付痕跡あり	良好	角四石多い	明黄褐色	
109	32	北SD1第1里土層	壺			積み上げ、突帯貼付	内面ヨコナデ、外面刻み目突帯あり、ヨコナデ後竹管文	良好	角四石少ない	淡黄褐色	安国寺式
110	32	北SD1第1里土層	弥生土器壺			口縁調整	ヨコナデ、ハケ目後ヨコナデ	良好	角四石少ない	淡黄褐色	
111	32	北SD1第1里土層	弥生土器鉢			積み上げ	ナデ	良好	角四石わずか	淡黄-黄褐色	
112	32	北SD1第1里土層	弥生土器壺			口縁調整	内面ナデ、右ナメ方向のハケ目、外面ヨコナデ、タテ方向のハケ目	良好	角四石少ない	淡黄褐色	
113	32	北SD1第1里土層	高坏			積み上げ、内面しぼり痕あり	坏部内面-脚部外面ナデ	良好	角四石少ない	淡黄褐色	
114	32	北SD1第1里土層	手づね製品			手づね		良好	角四石わずか	白灰色-淡黄褐色	
116	32	北SD1第1里土層	弥生土器壺	底径6.2		積み上げ	内外面ナデ、底面ヨコナデ	良好	長石少ない、石英わずか	淡黄褐色-黒褐色	
117	32	北SD1第1里土層	弥生土器壺	底径4.75		積み上げ	外面ナデ、内面剥離のため不明	良好	石英わずか	黄褐色-淡黄褐色	
118	32	北SD1第1里土層	弥生土器壺	底径(7.0)		積み上げ	内面・底部ナデ、外面ヨコナデ	良好	角四石少ない	明褐色	
119	32	北SD1第1里土層	弥生土器壺	底径3.2		積み上げ	内面右ナメ方向のハケ、外面剥落の爲調整不明	良好	角四石少ない	灰褐色-淡褐色	
120	32	北SD1第1里土層	瓦器質鉢	底径3.9		積み上げ	内外面ナデ	良好	角四石少ない	暗灰色-黒色	外面全体黒斑あり
124	33	北SD1第2里土層	弥生土器壺			積み上げ	内面ヘラズリによるヨコナデ、外面ナデ、ヨコナデ	良好	角四石、長石多い	黄褐色	外面上部丹塗あり
125	33	北SD1第2里土層	弥生土器壺			積み上げ	口縁部ヨコナデ、内面ヨコハケ、外面指痕、ナデ	良好	角四石多い、長石少ない	暗褐色	
126	33	北SD1第2里土層	弥生土器壺			積み上げ	ヨコナデ、凹線文	良好	角四石、長石多い、金雲母含む	暗褐色	瀬戸内系
127	33	北SD1第2里土層	弥生土器壺			積み上げ	内面指痕、ナデ、外面ヨコナデ	良好	角四石多い、長石少ない	淡灰黄褐色	
128	33	北SD1第2里土層	弥生土器壺			積み上げ	内面ヨコナデ、一部剥離、外面ナメハケ、ナメハケ後ヨコナデ	良好	角四石多い、長石少ない	淡褐色	突帯下僅かにベンガラ付着
129	33	北SD1第2里土層	弥生土器鉢	(13.2)		積み上げ	口唇部ヨコナデ、内面ヨコハケ、工具ナデ、外面タテナメハケ	良好	角四石、長石少ない	黄褐色-黒灰色	
130	33	北SD1第2里土層	弥生土器壺	(21.6)		積み上げ	内面ナデ、ヨコハケ後ヨコナデ、外面タテハケ後ヨコナデ	良好	角四石多い、長石少ない、金雲母含む	淡茶褐色	
131	33	北SD1第2里土層	弥生土器壺			積み上げ	ナデ、ヨコナデ、外面刻み目突帯	良好	角四石、長石多い	黒灰褐色	下城式
132	33	北SD1第2里土層	弥生土器壺	底径4.2		積み上げ	内面ナデ、工具痕、外面タテハケ、底部ナデ	良好	角四石、長石多い、石英わずか	黄褐色	底部・立ち上がりに黒斑あり
133	33	北SD1第2里土層	弥生土器壺	底径6.0		積み上げ	内面ナメハケ後ヨコナデ、外面ナデ、底部工具痕あり	良好	角四石、長石少ない	淡褐色	外面丹塗あり
134	33	北SD1第2里土層	弥生土器壺	底径5.2		積み上げ	内面ヘラナデ、外面ナデ、工具痕残る、底部ナデ	良好	角四石、長石多い、石英わずか	灰黄色-淡赤色	底部・立ち上がりに黒斑あり
135	33	北SD1第2里土層	弥生土器壺	底径6.4		積み上げ	内外面ナデ、底部ナデ	良好	角四石多い、長石少ない	黄褐色	立ち上がりに黒斑あり
136	33	北SD1第2里土層	縄文土器鉢				内面から突帯をヨコ方向ナデ、外面条痕あり	良好	角四石、長石多い	灰黄褐色-黒灰褐色	
137	33	北SD1第2里土層	縄文土器鉢				内外面条痕、外面突帯あり	良好	角四石、長石多い	白灰黄褐色	
138	33	北SD1第2里土層	縄文土器鉢				内面工具によるヨコナデ、外面タテ方向ナデ、口縁部ヨコ方向ナデ	良好	角四石、長石多い	暗褐色-黒褐色	
139	33	北第2里土層	弥生土器壺	(21.2)		積み上げ	内外面指痕、ヨコナデ、外面には飾線波状文	良好	角四石多い、長石少ない	褐色	
140	33	北第2里土層	弥生土器壺	(16.6)		積み上げ	内外面指痕、ヨコナデ、外面には飾線波状文	良好	角四石、長石多い	黄褐色	ベンガラ付着
141	33	北第2里土層	ミナツアテ器	(3.2)	3.8	手づね	内面から口縁部外面ナデ、脚部外面-底部ナデ後ナデ	良好	角四石少ない、長石多い	灰黄褐色	底部黒斑あり
142	33	北第2里土層	弥生土器壺			積み上げ	内面ヨコハケ後ナデ、外面ナデ、ヨコナデ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石多い	淡茶褐色	外面スス付着
143	33	北第2里土層	弥生土器壺	(27.6)		積み上げ	内面ヘラズリ、ナデ、外面刻み目タテハケ、口縁部ヨコナデ、指痕	良好	角四石、長石少ない	灰黄褐色	口縁部スス付着
144	34	北第2里土層	弥生土器壺	底径5.0		積み上げ	内面ナデ、外面ヘラナデ、底部指痕、ナデ	良好	長石少ない、石英多い	黄褐色	
145	34	北第2里土層	弥生土器壺	底径5.8		積み上げ	内面ナデ、外面ヨコナデ、底部ヨコナデ、指痕、ナデ	良好	角四石、長石多い、石英わずか	淡褐色-褐色	立ち上がりに黒斑あり
146	34	北第2里土層	弥生土器壺	底径6.9-6.4		積み上げ	外面指痕、タテハケ、底部指痕+ナデ。内面の調整不明	良好	角四石、長石多い	暗褐色	内面コケ付着
147	34	北第2里土層	弥生土器壺	底径(11.8)		積み上げ	坏部内面ナデ、脚部内面ヨコナデ、ナデ、外面タテハケ、ヨコナデ	良好	角四石、長石多い	淡褐色	
148	34	北第2里土層	甕			積み上げ	内面ナデ、ヨコナデ後列点文	良好	角四石少ない、長石-石英多い	暗灰黄褐色	
149	34	北第2里土層	縄文土器鉢				内面ヨコ方向ヘラミガキ、外面ナデ、刻み目	良好	角四石、長石多い	灰黄色-黒灰色	縄文時代晩期
150	34	北第2里土層	縄文土器鉢				ナデ、刻み目	良好	角四石少ない、長石多い	灰褐色	縄文時代晩期、黒斑あり
151	34	北流路1	壺			積み上げ	内面平行タタキ、外面不定方向のハケ目後ミガキ	良好	角四石、長石やや少ない	黄灰色-暗灰褐色	内面コケ、外面スス付着
152	34	北流路1-18,27	弥生土器壺			積み上げ	頸部内面指痕ナデ、外面ヨコナデ、指痕突帯、頸部内面工具によるナデ、外面不定方向のハケ目	良好	角四石、長石多い	橙灰色-黒灰褐色	頭部丹塗あり
153	34	北流路1-5,9	壺			積み上げ	内面ナデ、工具痕、外面貼付突帯(段)、ナデ、ナデ後ヘラミガキ	良好	角四石、長石やや多い、金雲母含む	黄灰色-暗褐色	
154	34	北流路1-1	甕	(23.6)		積み上げ	内面ヨコハケ後ヨコナデ、ナメハケ、外面ヨコナデ、タテハケ後ヨコナデ、タテハケ	良好	角四石、長石やや少ない、石英含む	橙白色-暗灰褐色	
155	34	北流路1	甕			積み上げ	頸部内面ヨコハケ、ヨコハケ後ヘラズリ、タテ方向ヘラズリ、外面タテハケ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石やや多い	黄褐色-黒褐色	外面全体スス付着
156	34	北流路1	甕			積み上げ	内面工具によるナデ、外面ヨコナデ後タテ方向のハケ目、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石やや少ない	橙黄色-灰褐色	
157	34	北流路1-29	甕			積み上げ	内面不定方向のハケ目、外面タテハケ後ナデ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石やや多い	黄白色-灰白褐色	
158	34	北流路1-29	甕			積み上げ	内面不定方向のハケ目、外面タテハケ後ナデ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石やや少ない	黄灰色-灰褐色	外面黒斑あり
159	35	北流路1-24	弥生土器壺	(20.8)		積み上げ	内面ヨコハケ、ナメハケ、外面タテハケ、口縁部内面が割部上半部ヨコナデ	良好	角四石、長石やや多い	黄灰色-灰茶色	165と同一體か
160	35	北流路1-22	高坏	(29.2)		積み上げ	ヘラミガキ	良好	角四石少ない、長石多い	黒灰褐色	外面丹塗あり
161	35	北流路1-2	壺			積み上げ	内面不定方向のヘラズリ、外面不定方向のハケ目	良好	角四石、長石多い	淡灰褐色-黒灰褐色	外面スス付着
162	35	北流路1	壺	(9.6)		積み上げ	内面ヨコナデ、ナデ、口縁部内面から外面全体ヘラミガキ	良好	角四石、長石やや少ない	黄灰色-灰褐色	
163	35	北流路2-3	甕	底径6.2		積み上げ	内面ヘラズリ後ナデ、脚部外面から底部ナデ	良好	角四石、長石やや多い	淡黄色-灰白色	
164	35	北流路1-11	弥生土器壺	底径6.0-6.2		積み上げ	頸部内面ナデ、外面刻み目タテハケ、底部外面指痕ナデ、ヨコナデ	良好	角四石、長石多い	黄褐色	内面コケ付着
165	35	北流路1-24	弥生土器壺	底径(5.2)		積み上げ	内面不定方向のハケ目、外面工具によるタテ方向タテハケ、工具痕ヨコナデ、底部ナデ	良好	角四石、長石やや多い	黄灰色-黒灰色	底部に黒斑あり、脚部外面スス付着、159と同一體か
168	35	北流路2	壺			積み上げ	内面不定方向のハケ目、外面不定方向のハケ目後ヘラミガキ	良好	角四石、長石やや少ない	黄灰色-黒灰褐色	外面は黒変している
169	35	北南側深溝溝	弥生土器壺			積み上げ	内面ヨコナデ、ヨコハケ、外面ヨコナデ後飾線波状文、ヨコナデ、タテハケ後ナデ、指痕後ヨコナデ	良好	角四石、長石やや少ない	黒灰褐色	
170	35	北南側深溝溝	弥生土器壺			積み上げ	内面ヨコナデ、ヨコハケ、外面ヘラ指痕8字文、ヨコナデ、タテハケ	良好	角四石、長石やや多い	橙灰褐色	
171	35	北南側深溝溝	壺			積み上げ、突帯貼付	内面ヨコハケ、外面タテハケ、ヨコナデ、貼付突帯	良好	角四石、長石多い、石英含む	灰褐色-黒灰色	
172	36	北第1里土層	甕			積み上げ	頸部内外面ヨコナデ、脚部内面ナデ、外面工具によるナデ	良好	角四石、長石やや少ない	白褐色-黒灰色	外面スス付着
173	36	北南側深溝溝	弥生土器壺			積み上げ	口縁部内面工具によるヨコナデ、外面ヨコナデ、頸部内面ヨコハケ、外面タテハケ	良好	角四石、長石やや多い	灰褐色-黒灰色	外面スス付着
174	36	北南側深溝溝	弥生土器壺			積み上げ	内面工具によるナデ、外面不定方向のハケ目後ナデナデナデによるナデ、底部工具によるナデ	良好	角四石、長石やや少ない	黄灰色-灰褐色	外面スス付着
175	36	北南側深溝溝	甕			積み上げ	内面ハケによるナデ、外面ヨコナデ、ハケによるナデ	良好	角四石、長石多い	黄褐色-黒灰色	内面コケ、外面スス付着
176	36	北第1里土層	高坏	(26.0)		積み上げ	坏部内面ヘラミガキ、ナデ、ナデ、ヨコナデ、外面ナデ、ヨコナデ、脚部内面ナデ、外面ナデ、ヘラミガキあり	良好	角四石、長石多い、金雲母含む	黄灰褐色-暗黄灰褐色	坏部外面黒変あり
177	36	北南側深溝溝	壺	(16.8)		積み上げ	内面ナデ、外面ヘラミガキ、口縁部ヨコナデ、穿孔あり	良好	角四石、長石やや少ない	褐色	内外面丹塗あり
178	36	北SK2-1	土師器壺	(11.2)		積み上げ、内外面接合痕残る	内面指痕、ナデ、外面タテハケ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石多い	黄褐色-灰褐色	
182	37	南側深溝溝	弥生土器壺	底径5.5-5.8		積み上げ、頭部・脚部内面に指痕	内面ヨコハケ、不定方向ヘラズリ、ナデ、ヨコナデ、外面ナデ、ヨコナデ、ナメハケ後ヨコナデ、タテハケ後ナメハケ、底部ナデ	良好	角四石、長石多い	暗褐色	外面黒斑あり
183	37	北SK3-1	弥生土器壺	底径5.5		積み上げ	頸部内面工具によるナデ、ヘラミガキ、外面タテハケ、工具痕、ヨコナデ、底部ナデ	良好	角四石、長石やや多い	淡灰褐色-黒灰褐色	二次被熱受け内外面スス付着
184	37	北SK3-4	甕	(25.5)		積み上げ	口縁部ヨコナデ、内面ナデ、外面タテハケ、タテハケ後ヨコナデ	良好	角四石、長石やや少ない	白灰褐色-暗灰褐色	
185	37	北SK4	高坏			積み上げ	内面ヨコナデ、外面ヨコナデ、貼付突帯、刻み目	良好	角四石、長石多い、石英含む	黄褐色-灰褐色	内外面丹塗あり
186	37	北SK4-1	弥生土器壺	(16.8)		積み上げ	口縁部ヨコナデ、内面ナデ、外面タテハケ後ナデ、タテハケ	良好	角四石、長石やや多い、金雲母含む	白灰褐色-黄灰褐色	
187	37	SK2-6,8	弥生土器壺	(16.2)		積み上げ	内外面ヨコナデ、内面ヨコハケ、ナメハケ、指痕、ナデ、外面ナメハケ後ヘラミガキ、タテハケ後ヘラミガキ	良好	角四石多い、長石少ない	黄褐色	
188	37	SK5-1	壺			積み上げ、突帯貼付	内外面ナデ、タテハケ、内面指痕、ヨコハケ、外面ナメハケ、貼付突帯	良好	角四石、長石やや多い、金雲母含む	白灰褐色-黄灰褐色	
189	37	SK5-1の下	甕	底径4.3		積み上げ	内面指痕、ナデ、外面ナデ、ヨコナデ、底部ナデ	良好	角四石、長石多い	暗黄褐色-黒褐色	器面の一部黒変
190	37	北SK6-7	弥生土器壺	(16.6)		積み上げ	頸部内面から頭部外面ヨコナデ、頸部内面ヘラズリ後ヨコナデ、外面ナメハケ後ヨコナデ	良好	角四石多い、長石、石英少ない	淡灰褐色-灰褐色	

遺物番号	図版番号	出土地点	器種	法量		器形・成形など	調整、文様など	焼成	胎土	色調	備考
				口径	器高						
191	37	北SK10	弥生土器壺	14.6		ロクロ調整	ヨコナデ	良好	角四石多い、石英わずか	浅黄褐色	
192	37	北SK11	弥生土器壺	15.2		ロクロ調整	ヨコナデ、凹線文	良好	角四石少ない	灰白色	
193	37	北SK11-1	弥生土器壺	底径4.4		積み上げ	内面ヘラケナデ、ナメハケ、ヘラナデ、外面ヨコナデ後ヘラミカキ、底径ヘラミカキ	良好	角四石少ない、石英わずか	浅黄褐色-黒褐色	底部黒斑あり
194	38	北SK7	弥生土器壺			積み上げ	隆起線文貼付	良好	角四石わずか、砂粒少ない	灰黄色-黄褐色	
195	38	北SK7-5	弥生土器台形鉢	17.5-18.0		積み上げ	内面ナデ、外面ヨコ・タテハケ痕	良好	角四石、長石多い	暗褐色	口縁部から胴部外面にかけて丹塗り、内外又行着
196	38	北SK7-3	弥生土器壺	底径1.0-4.2		積み上げ	内面ナデ、外面ヨコハケ、ヨコハケ、指ナデ、外面タテハケ、ヨコナデ、底径ヨコハケ	良好	角四石、長石多い、石英わずか	黒褐色	弥生時代中期、内面コケ付着
197	38	北SK7-1.4	弥生土器壺	底径6.0-6.4		積み上げ	内面ヨコハケ、ナメハケ、ヘラナデ、外面タテハケ、底部ナデ	良好	角四石、長石少ない、石英多い	淡黄色-茶褐色	底部・胴部に黒斑あり
198	38	北SK7	弥生土器壺	底径5.8		積み上げ	内面ナデ、外面工具ナデ、底部ヨコナデ	良好	角四石少ない、長石わずか	淡黄褐色-黒褐色	胴部に黒斑あり
199	38	北SK7-10	弥生土器壺			積み上げ	内面ナデ、外面工具ナデ、底部ヨコナデ	良好	角四石わずか、砂粒少ない	淡黄褐色-黒色	内面コケ付着
200	38	北第1黒土層	裝飾器台			積み上げ	内面指圧痕、ナデ、外面ヨコナデ、沈線文	良好	長石、石英多い	黄褐色	200~209 同一個体
201	38	北第1黒土層SD1	裝飾器台			積み上げ	内面ヨコハケ、外面タテハケ後沈線文	良好	角四石多い、長石少ない	黄褐色	200~209 同一個体
202	38	北第1黒土層SD1	裝飾器台			積み上げ	内面タテハケ後ナデ、外面タテハケ後沈線文	良好	角四石多い、長石少ない	黄褐色	200~209 同一個体
203	38	北SK2	裝飾器台			積み上げ	内面タテハケ、外面タテハケ後沈線文	良好	角四石、長石多い、金雲母含む	黄褐色	200~209 同一個体
204	38	北第2黒土層	裝飾器台			積み上げ	内面ヘラ描状のナデ、外面タテハケ後沈線文	良好	角四石、長石少ない、石英わずか	黄褐色	200~209 同一個体
205	38	北第1黒土層	裝飾器台			積み上げ	内面タテハケ、外面タテハケ後沈線文	良好	角四石多い、長石少ない	黄褐色	200~209 同一個体
206	38	北第1黒土層	裝飾器台			積み上げ	内面ヨコハケ、外面タテハケ後沈線文	良好	角四石、長石多い	黄褐色	200~209 同一個体
207	38	北黒土粘土層	裝飾器台			積み上げ	内面ヘラ描状のナデ、外面タテハケ後沈線文	良好	角四石、長石多い	黄褐色	200~209 同一個体
208	38	北SK6	裝飾器台			積み上げ	内面タテハケ状のナデ、外面タテハケ後沈線文	良好	角四石多い、長石少ない、石英わずか	黄褐色	200~209 同一個体
209	38	北第1黒土層SD1	裝飾器台			積み上げ	内面ナメ・ヨコハケ、外面タテハケ後沈線文	良好	角四石少ない、長石多い	黄褐色	200~209 同一個体
210	38	北表採	弥生土器壺	(17.2)		積み上げ	内面ヨコハケ後ヨコナデ、外面タテハケ後ヨコナデ、凹形浮文あり	良好	角四石少ない、長石多い	黄褐色	
211	38	北南側排水溝	弥生時代瓦	底径5.3-6.0		積み上げ	内面ケズリ後ナデ、外面指圧痕、ナデ、ヨコナデ	良好	角四石、長石多い	淡褐色	底部・立ち上がりには黒斑あり
212	38	北南側排水溝	弥生時代瓦	底径(7.0)		積み上げ	内面ナデ、外面・底部ナデ、ヨコナデ	良好	角四石、長石少ない	淡赤褐色	
213	38	北表採、南側排水溝、淡和溝	弥生時代瓦	底径3.3-3.7	7.3	積み上げ	内面ケズリ後ナデ、外面タテハケ後ヨコナデ、底部ナデ	良好	角四石少ない、長石多い	淡黄褐色-淡橙色	

瓦

遺物番号	図版番号	出土地点	法量		成形および調節		焼成	胎土	色調	備考
			全長	最大幅	凹面	凸面				
002	27	北表採	残存長10.2	残存幅9.9		布目痕				平瓦? 古代
031	28	北第1黒土層	残存長6.5	残存幅7.0	布目痕	格子目タタキ				平瓦? 古代
032	28	北黒色粘土層-15	残存長9.6	残存幅6.2	布目痕	格子目タタキ	良好	角四石、長石ごく少量	灰色	平瓦? 古代
033	28	北黒色粘土層-9	残存長7.1	残存幅10.2	布目痕	格子目タタキ	良好	角四石、長石ごく少量	灰色~黒色	平瓦? 古代
034	28	北黒色粘土層	残存長7.0	残存幅5.0	布目痕	格子目タタキ				平瓦? 古代
035	28	北第1黒土層	残存長7.5	残存幅6.5	布目痕	格子目タタキ				平瓦? 古代
097	31	北SD1-26	残存長10.1	5.4	ナデ後ハケ	布目痕				

石製品

遺物番号	図版番号	出土地点	種別	材質	法量		備考
					長さ	幅	
005	27		石鏃		3.2	1.3	
077	30	北第1黒土層	砥石	凝灰岩	8.9	3.5	
078	30	北黒色粘土層西側	砥石		3.7	2.7	磨り面は4面
079	30	北黒色粘土層西-8	石皿	角四石安山岩	17.1	残存幅10.1	
081	30	北黒色粘土層(排水用溝)	石鏃		4.1	2.3	
082	30	北第1黒土層	磨製石鏃		3.1	1.6	
091	31	北第1黒土層	石斧		3.5	3.1	
121	32	北SD1第1黒土層	磨石	石英	8.8	3.95	
122	32	北SD1第1黒土層	砥石		7.0	5.0	
123	32	北SD1第1黒土層	研石		残存長4.1	残存幅1.5	
166	35	北流路1-29	浮	凝灰岩	6.9	4.2	
167	35	北流路1	石鏃		7.2	4.9	
179	36	北SK2	剥片	サヌカイト	5.9	3.2	
180	36	北SK2-5	白石	角四石安山岩	残存長11.4	9.7	
181	36	北SK2-4	石鏃		13.3	12.5	

金属製品・土製品

遺物番号	図版番号	出土地点	種別	材質	法量		備考
					長さ	幅	
006	27	北第1黒土層	煙管	青銅		0.4-0.9	煙首、吸口部
080	30	北第1黒土層	円盤形土製品		1.8	1.8	片面には竹管文
115	32	北SD1第1黒土層	土鍾	手づくね	4.9	1.8	

第11表 遺物観察表(5) 宮ノ前c地区

土器・陶磁器

遺物 番号	図版 番号	出土地点	器種	法量		器形、成形など	調整、文様など	焼成	胎土	色調	備考
				口径	器高						
001	44		弥生土器甕	(31.4)		口縁端部跳ね上げ	内面ナデ、外面タテハケ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石多い、長石少ない	淡褐色	
002	44	溝1北	弥生土器甕	(29.0)		口縁端部跳ね上げ	内面ナデ、外面タテハケ方向のハケ状工具痕あり、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石少ない	淡褐色～灰褐色	一部スス附着
003	44	北東壁	弥生土器甕	(21.8)		口縁端部跳ね上げ、胴部張る	内面ヘラケズリ、外面細いハケ状工具ナデ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石多い	暗黄褐色	内外にスス・コゲ附着
004	44		弥生土器甕	(21.2)		くの字に折れる口縁部、外面に指圧痕残り	内面ヨコハケ、外面タテハケ、ナデハケ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石少ない	暗褐色	内外にスス・コゲ附着
005	44	IV層	弥生土器甕	(19.0)		内面ヨコハケ、外面タテハケ、ナデハケ、口縁部ヨコナデ	内面工具状ナデ、ヨコハケ、外面タテハケ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石多い	暗褐色	外面全体にコゲ附着
006	44	北東壁1	弥生土器甕	(15.6)		頸部が縮まり、大きく開く口縁部	内面工具状ナデ、外面タテハケ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石少ない	暗褐色	外面にスス附着
007	44	北 流路1	弥生土器甕	(13.6)	14.7	くの字に折れる口縁部	内面不定方向ナデ、外面タテハケ後タテハケ、口縁部ヨコナデ、底面ナデ	良好	角四石、長石多い	淡褐色～黒色	口縁部から頸部にスス附着
008	45		弥生土器甕	(27.5)		頸部、胴部中心、胴部下位の3箇所に突帯を廻らせる。口縁部は跳ね上げナデ	ナデ、ヨコミガキ、内面ナメハケ、外面ナメミガキ、胴付突帯・口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石、石英多い	橙褐色～淡褐色	
009	45	遺物集中区2・北東2重土層	弥生土器甕	(20.6)		口縁部は跳ね上げナデ、外面に連続「ハ」字文、上面に凹形浮文を付す	ナデ、口縁部ヨコナデ、凹形浮文、刻み文様あり	良好	角四石少ない	黒色～にぶい黄褐色	
010	45		弥生土器甕	(20.6)		口縁部は跳ね上げナデ、外面に連続「ハ」字文、上面に凹形浮文を付す	内面ハケ状工具ナデ、ナデ、外面タテハケ、三角突帯ヨコナデ、口縁部ヨコナデ、タテハケ、凹ミガキ、外面不定方向のハケ後ヘラミガキ、底面ナデ	良好	角四石、長石、石英少ない	灰白色～灰褐色	
011	46		弥生土器小壺	(7.9)		直立気味に開く口縁部	内面ナデ、ヨコナデ、外面ヨコナメミガキ、口縁部ヨコミガキ	良好	角四石、長石少ない	暗褐色	口縁部内面から胴部丹塗り
012	46		弥生土器鉢	(14.6)	10.9	直線的に開く胴部	内面ヘラケズリ後ヨコナデ、ヘラミガキ、外面タテハケヨコハケ後ヘラミガキ、底面ナデ	良好	角四石、長石多い	暗黄～黒灰褐色	外面スス附着
013	46	西IV層水路	弥生土器鉢	(12.6)	12.6	やや湾曲しながら開く胴部	内面工具状ナデ、外面浅いタテハケ後ヨコナデ、ヘラミガキ、口縁部ヨコナデ、底面ナデ	良好	角四石少ない、長石多い	暗黄褐色	外面スス附着
014	46		弥生土器鉢	(16.8)		鋤先状の口縁部	内面ヨコ方向ミガキ、外面不定方向ミガキ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石、石英少ない	淡褐色～暗褐色	口縁部内面から胴部ほぼ全面スス附着
015	46		弥生土器鉢			鋤先状の口縁部で、胴部は緩やかに開く	内面ヨコ方向ミガキ、外面不定方向ミガキ、口縁部ヨコナデ、胴部内面後	良好	角四石、長石、石英少ない	淡褐色～暗褐色	
015	46		弥生土器	(22.7)		指圧痕残り	ヨコ方向ヘラミガキ、口縁部ヨコナデ指圧痕、ナデ	良好	角四石、長石多い	暗褐色	
015	46		弥生土器	底径14.0		横み上げ、内面しほり痕あり	坏部内面丁寧ナデ、外面ナデ、胴部内面ヨコナデ、外面ヨコナデヘラミガキ	良好	角四石少ない、長石多い	黄褐色～淡赤	破棄後に割れる
016	46		弥生土器鉢	(19.8)		内湾しながら開く口縁部	内面ナデ、ナデ後ヘラミガキ、胴部内面指圧ナデ、坏・胴外面ヨコ方向ヘラミガキ	良好	角四石、長石少ない	淡褐色	口縁部～外面全体丹塗り
017	46		弥生土器鉢	底径(10.2)		強く踏ん張りながら開く胴部	坏部内面ナデ、胴部内面指圧ナデ、ヨコナデ、外面丁寧ナデ	良好	角四石多い、長石、石英少ない	淡褐色	胴部内面・一部スス附着
018	46		弥生土器鉢	底径5.5		上げ底状の底部	内面ナデ、工具痕跡、外面タテハケ、ヨコナデ、工具痕跡、底部ナデ	良好	角四石、長石、石英多い	橙灰色～灰色	外面スス附着
019	46		弥生土器	底径9.4		底部内面指圧痕残り	内面丁寧ナデ、底面指圧ナデ、外面タテ方向ヘラミガキ、底面ナデ後ミガキ	良好	角四石、長石多い	淡灰褐色	内面に黒斑あり
020	46		土師器			横み上げ 外面に指圧痕残り	内面ヨコハケ後ヨコナデ、指圧ナデ、外面ナデ、ヨコハケ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石多い	淡褐色	
021	46		土師器	14.6	5.2	底部(回転)ヘラ切り?	内面ヨコナデ、ナデ、外面口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石少ない	淡黄褐色～暗褐色	外面スス附着
022	47	1区III層	弥生土器甕	(17.0)		口縁部外面指圧痕残り	内面ヘラケズリ後ナデ、胴部ヨコナデ	良好	角四石、長石多い	茶褐色	
023	47	1区IV層	弥生土器甕	(11.0)		直立気味の口縁部、内面に接合痕、指圧痕残り	内面ナデ後ヘラミガキ、外面ナデ後ヘラミガキ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石、石英多い	灰褐色～黒灰褐色	
024	47	1区IV層	弥生土器甕	(20.8)	29.3	上げ底状の底部でくの字に折れる口縁部を持つ	ナデ、内面一部タテ方向の飛いミガキ、外面タテハケ、底面ヨコナデ	良好	角四石、長石少ない、石英緑むすぶ	淡褐色～暗褐色	内外面スス附着
025	47	1区IV層	弥生土器甕	(16.0)		胴部は強く張る	胴部内面ナデ、外面不定方向ヘラミガキ、口縁部内面ヨコヘラミガキ、外面ヨコナデ	良好	角四石少ない	暗褐色	口縁部内面から外面丹塗り
026	47	1区IV層	弥生土器小壺	(8.3)		胴部は強く張る、頸部穿孔4ヶ所	内面ナデ、ナデ後ヘラミガキ、内面ナデ、内面ケズリ、不定方向ミガキ、外面ヨコナデ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石少ない	にぶい褐色～黒褐色	口縁部内面から胴部丹塗り
027	47	1区IV層	弥生土器鉢			緩やかに開く胴部	胴部内面ヨコナデ、外面ミガキ	良好	角四石、長石多い	黄灰色～灰褐色	坏部内面、胴部外面丹塗り
028	47	1区IV層	弥生土器鉢	底径5.9		高台状の底部をなす	内面ヘラケズリ、外面ナデ後ヘラミガキ、底面ヨコナデ、ナデ	良好	角四石、長石やや少ない	淡褐色	外面・底部丹塗り
029	47	北 流路2	弥生土器鉢	(9.6)	13.8	砲弾型の鉢	内面ヘラケズリ後ナデ、外面・底面ナデ	良好	角四石、長石少ない	明黄褐色	胴部下半部スス附着
031	47	1区VI層	弥生土器甕	(12.6)		直立気味に開く口縁部	内面ヨコハケ後ナデ、タテ方向ヘラケズリ後ナデ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石、石英多い	淡褐色	
032	47	1区VI層	弥生土器甕	(16.6)		外反しながら開く口縁部、頸部に1条の突帯あり	内面ヨコナデ、ヨコハケ、外面タテハケ、ナメハケ後ヨコナデ	良好	角四石、長石、石英多い	淡褐色	内外にスス附着
033	48	1区VI層	弥生土器甕	(12.4)		直立する口縁部に、突帯が廻る	ナデ、口縁部・突帯ヨコナデ	良好	角四石わずかと、長石少ない	にぶい黄褐色	
034	48	1区VI層	弥生土器甕	(29.0)		緩やかに反しながら開く口縁部	ナデ、内面ハケ状工具で、外面ナメハケ、外面調整、内面ケズリ、外面口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石、石英少ない	淡褐色～暗褐色	内外面広範囲スス附着
035	48	1区VI層	弥生土器甕	(21.0)		くの字に折れる口縁部、内外面指圧痕	ナデ、内面ハケ、外面ヨコナデ、タテハケ、口縁部浅いヨコハケ	良好	角四石、長石多い	茶褐色	内外面スス附着、二次被熱受ける
036	48	1区VI層	弥生土器甕	底径5.4		上げ底状の底部	内面ナメ方向ヘラケズリ、外面タテ方向ヘラ調整、底面ナデ	良好	角四石、長石、石英多い	淡褐色	
037	48	1区VI層	弥生土器鉢	(20.0)		鋤先状の口縁部	ヨコ方向ヘラミガキ、外面ナメ・ヨコヘラミガキ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石多い	明橙褐色	
038	48	1区VI層	弥生土器鉢	底径7.7		平底で、底部指圧痕あり	内面ナデ、ヘラケズリ後ナデ、外面タテヘラケズリ、底面ヨコ方向ヘラケズリ	良好	角四石、長石、石英多い	明橙褐色	内面コゲ、外面スス附着
039	48	1区VI層	弥生土器鉢	底部(5.8)		平底	内面ヘラケズリ、外面タテハケ、底面ヨコナデ	良好	角四石、長石多い	灰褐色～暗灰色	内面コゲ、外面スス附着
040	49	1区VI層	弥生土器甕	底径4.2		底部内面削り出し痕跡あり	ナデ、外面タテ方向ハケ	良好	角四石、長石やや多い	淡褐色	
042	49	2区黒土層	弥生土器甕	(29.0)		外傾する口縁部	内面ヨコ・タテ方向ヘラケズリ、外面・口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石、石英多い	灰褐色	外面スス附着、二次被熱受ける
043	49	2区IV層	縄文系壺?			肩部に小さな段を有する	丁寧ナデ、外面に縞刻文様	良好	角四石、長石多い	黒灰褐色	東日本縄文晩期土器か
044	49	2区IV層	弥生土器甕	底径(7.7)		平底の底部	外面タテ方向ヘラミガキ、底面ヘラミガキ。内面割離	良好	長石、石英多い	淡赤黄褐色	
045	49	2区	弥生土器甕	底径4.5		平底の底部、底部内面指圧痕残り	内面ナデ、外面タテハケ、ヘラミガキ、ヘラケズリ	良好	角四石、長石、石英やや多い	黄灰色～灰茶褐色	外面スス附着
046	49	2区VI層	弥生土器甕	底径7.0		平底の底部	ナデ	良好	角四石、長石多い	灰褐色	外面に黒斑あり
047	49	2区VI層	弥生土器甕			胴部中に最大径を有する	内面タテ方向ナデ、ヘラミガキ、ヘラ痕あり、外面ナメ・ヨコ方向のヘラミガキ	良好	角四石、長石少ない	暗褐色	外面は黒斑あり
048	49	3区IV層	弥生土器甕	(22.8)		頸部突帯附付	内面ナデ、外面タテハケ、口縁部・突帯にかけてヨコナデ	良好	角四石、長石少ない	明褐色	下城式
049	49	3区IV層	弥生土器甕			2条の刻目突帯を廻らせる	内面ナデ後ナメハケ、外面三角突帯ヨコナデ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石、石英少ない	淡褐色～暗褐色	下城式
050	49	3区IV層	弥生土器甕			2条の刻目突帯を廻らせる	内面不定方向ミガキ、外面ヨコ・ナメハケ、三角突帯ヨコナデ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、石英多い、長石少ない	淡褐色～暗褐色	下城式
052	49	3区IV層	弥生土器甕	(33.3)		口縁端部跳ね上げ	内面ナデ、外面タテハケ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石多い	淡褐色～暗褐色	割れた後ついたスス附着
053	50	3区IV層	弥生土器甕	(29.6)		口縁端部跳ね上げ	内面ナデ、外面タテハケ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石少ない	淡黄褐色	スス附着
054	50	3区IV層	弥生土器甕			口縁端部跳ね上げ、頸部に1条の突帯あり	内面ナデ、外面三角突帯ヨコナデ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石多い	にぶい橙褐色～暗褐色	スス附着
055	50	3区IV層	弥生土器甕	(25.0)		口縁端部跳ね上げ	内面ナデ、外面タテハケ後ナデ、ナデ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石多い	淡黄褐色	
056	50	3区IV層	弥生土器甕	(24.1)		口縁端部跳ね上げ	ナデ、タテハケ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石少ない	淡灰褐色	
057	50	3区IV層	弥生土器甕	(20.0)		くの字に折れる口縁部	内面ヘラケズリ、ナデ、外面ハケ、ナデ、口縁部ハケ、ヨコナデ	良好	角四石、長石多い	暗茶褐色	外面スス附着、二次被熱受ける
058	50	3区IV層	弥生土器甕	(18.0)		やや口縁端部をつまみ上げる	内面ヘラケズリ、外面タテハケ後ナデ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石やや多い	黄灰褐色	スス附着
059	50	3区IV層	弥生土器甕	(18.0)		肩の張る胴部	内面ヨコ方向ヘラケズリ、外面タテハケ後ヨコナデ、タテハケ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石やや多い	橙灰色～黒褐色	内面コゲ、外面スス附着
060	50	3区IV層	弥生土器甕	14.4	34.5	胴部が縮まり、外反しながら開く口縁部、底部がやや突出状	内面ヨコ・ナメ・タテハケ、ナデ、外面タテハケ後ナデ、ヨコナデ、底面ナデ	良好	角四石、長石、石英多い	淡灰褐色	黒斑あり
061	51	3区IV層	弥生土器甕	(20.0)		やや口縁端部をつまみ上げる	内面ナデ、ヘラケズリ、外面浅いタテハケ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石、石英多い	淡褐色	一部黒斑あり
062	50	3区IV層	弥生土器甕			なで肩で胴部中に強く張る	内面ナデ、外面丁寧ナデ、ヘラ描き文	良好	角四石、長石やや少ない	白灰褐色	
063	50	3区IV層	弥生土器甕	(14.0)		胴部内面に接合痕、指圧痕残り	内面ケズリ、ナデ、外面ヘラケズリ、ハケ目、口縁部ヨコナデ、ケズリ	良好	角四石、長石多い	橙褐色～黒褐色	口縁部内面に黒斑あり
064	50	3区IV層	弥生土器甕	(19.8)		鋤先状の口縁部	ヨコナデ、頸部にキザミ文様入った突帯あり	良好	角四石、長石多い	褐色	弥生時代中期
065	50	3区IV層	弥生土器甕	(24.0)		鋤先状の口縁部	内面ナデ、外面タテハケ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石、石英少ない	暗褐色	
066	50	3区IV層	弥生土器甕	(24.8)		鋤先状の口縁部	内面ナデ、外面タテハケ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石少ない	淡褐色～暗褐色	スス附着
067	50	3区IV層	弥生土器甕	18.5		胴部最大径を上に持つ胴部、口縁部は上方にやや膨脹	ナデ、タテハケ、胴部内面不定方向ハケ、胴部外面ハケ状工具で仕上げ、三角突帯、凹み突帯ヨコナデ	良好	角四石、長石多い、石英少ない	淡褐色～暗褐色	内外面スス附着
068	52	3区IV層	弥生土器甕	(30.0)		大きく直線的に開く口縁部	内面ヨコ方向ヘラミガキ、外面ナデ後暗文風テヘラミガキ、ヨコナデ	良好	角四石、長石少ない	淡灰褐色	黒斑あり
069	52	3区IV層	弥生土器小壺	(13.0)		外傾して大きく伸びる口縁部、内面しほり痕あり	内面ヘラケズリ、ナデ、外面タテハケ、口縁部・突帯をヨコナデ	良好	角四石少ない、長石多い	黒灰褐色	
070	52	3区IV層	弥生土器小壺	(20.0)		口縁部指圧痕残り	ナデ、内面タテ方向ヘラケズリ、口縁部ヨコナデ、ヨコハケ	良好	角四石、長石多い	暗灰褐色	
071	52	3区IV層	弥生土器小壺	(11.8)		胴部球形	内面ナデ、外面ヨコ・ナメハケ、不定方向ミガキ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石多い、長石少ない	淡黄褐色～暗褐色	外面スス附着
072	52	3区IV層	弥生土器小壺	(11.1)	9.2	肩の張る胴部で、底部がやや突出状の平底	内面ヨコ方向ミガキ、不定方向のケズリ、外面・底面ナデ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石多い	淡黄褐色～暗褐色	胴部内面から胴部・底部にかけて染まり、内外面スス附着
073	52	3区IV層	弥生土器甕	(14.8)	10.9	内湾しながら開く口縁部	内面ナデ、ヘラナデ、外面ナデ後ミガキ、底面ナデ	良好	角四石、長石多い	暗褐色	外面丹塗り
074	52	3区IV層	弥生土器甕	底径7.9		強く踏ん張る底部、底部内面と外面部に差を有する	内面ヨコ方向ヘラケズリ後タテヘラミガキ、外面タテ方向ナデ、ヨコナデ、底面ナデ	良好	角四石、長石やや少ない	茶褐色	外面スス附着
075	52	3区IV層	弥生土器甕	5.2		高台状の底部	内面ヘラケズリ後ヘラミガキ、外面不定方向のハケ後ヘラミガキ、ヨコナデ、底面ナデ	良好	角四石、長石やや少ない	暗灰褐色～黒灰色	内面一部・外面全面丹塗り、外面黒斑あり
076	52	3区IV層	弥生土器甕	底径10.5		平底で、底部内面指圧痕残り	内面ナデ後タテハケ、外面タテハケ後ヘラミガキ、底面ケズリ後ヘラミガキ	良好	角四石、長石、石英やや多い	橙灰褐色	
077	52	3区IV層	弥生土器甕	底径6.0		強く踏ん張る平底	内面ナデ底部内面指圧痕残り、外面タテハケ、底面ヨコナデ	良好	角四石、長石少ない	暗褐色	
078	52	3区IV層	弥生土器甕	底径6.7		強く踏ん張る平底	内面指圧ナデ、外面指圧ナデ、取付工具による不定方向の調整、底部ナデ	良好	角四石、長石多い	暗褐色	スス附着
079	52	3区IV層	弥生土器甕	底径6.4		底部内面に指圧痕残り	内面タテ方向板ナデ、外面タテ方向ヘラミガキ、底面ナデ、指圧ナデ	良好	角四石、長石多い	灰褐色	外面に黒斑あり
080	52	3区IV層	弥生土器鉢	底径17.7		高台状の底部	内面タテハケ、ナデ、外面ナデ、指圧ナデ	良好	角四石多い、長石少ない	灰褐色	胴部外面丹塗り
081	53	3区IV層	弥生土器甕	つまみ上げ(11.0)		蓋のつまみ 外面に接合痕残り	内面ヘラケズリ後ナデ、外面タテハケ、つまみ工具痕、ナデ	良好	角四石、長石やや多い	灰褐色	外面スス附着
082	53	3区VI層	弥生土器甕	(15.6)		緩やかに開く口縁部	内面ハケ状工具による不定方向の高調整、外面タテハケ、口縁部ヨコナデ、ヨコハケ	良好	角四石、長石少ない	にぶい褐色、暗褐色	全面スス附着

遺物番号	図版番号	出土地点	器種	法量		器形、成形など	調整、文様など	焼成	胎土	色調	備考
				口径	器高						
083	53	3区VI層	弥生土器蓋	(20.8)		上下に拡張する口縁部	内面ヨコハケ、外面ナメハケ、口縁部ヨコナデ、丸型ノコナデ、裏面文様多数あり	良好	角四石、長石多い	淡黄褐色～灰色	
084	53	水路	弥生土器蓋	(16.0)		動先状の口縁部	ヨコナデ、側面外面一部にタテ方向のハケ工具痕あり	良好	角四石、長石少ない	灰白色～灰褐色	スス付着
085	53	水路	弥生土器 小形蓋	(15.3)	16.5	頸部に穿孔2つあり	内面ナデ後ミガキ、外面ナメハケ、ミガキ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石少ない、長石わずか	にぶい橙色	外面は全面・内面の一部丹塗り
086	53	水路	弥生土器蓋	14.3		積み上げ 内面・口縁部指痕残る	タテハケ、ヨコナデ、内面ヨコハケ、外面ナメハケ	良好	角四石、長石多い	暗茶褐色	
087	53	水路	土師器	13.7	4.3	ロクロ調整 底部回転ヘラ切り	回転ナデ	良好	角四石、長石や少ない	橙灰色～灰褐色	灯明風か
088	53	水路	弥生土器	底径10.9		裾や大きに開く脚部	環部内面ナデ、脚部内面ナデ、内面ナデ、外面ナデ、外面ナメハケ	良好	角四石多い、長石少ない、石英わずか	橙褐色・にぶい黄褐色	スス付着
089	54	水路	弥生土器蓋	(27.4)		口縁部跳ね上げ	内面ナデ、外面ハケ状工具によるナデ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石多い	淡橙褐色～暗褐色	外面スス付着
090	54	水路	弥生土器蓋	(22.2)		口縁部は無頭のまま内外に突出する	内面ヨコナデ、外面ナメハケ、外面ナメハケ	良好	角四石、長石少ない	淡褐色～灰褐色	弥生時代中期
091	54	水路	弥生土器 小形蓋	(11.0)		直立する口縁部	ヨコナデ	良好	角四石少ない、長石わずか	暗赤褐色	内外面スス、口縁部内面から外面丹塗り
092	54	水路	弥生土器鉢	(5.8)		内湾しながら開く口縁部	内面不定方向ケズリ、外面ナデ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石多い、長石少ない	淡黄褐色～暗褐色	外面丹塗り
093	54	水路	弥生土器蓋			M字の突帯付く	内面ナデ、外面突帯をヨコナデ、脚部タテハケ	良好	角四石、長石多い、石英含む	淡明褐色	外面に黒斑あり
094	54	水路	弥生土器 小形蓋	7.5		やや外反しながら大きに開く口縁部、内面には の字の折れ痕あり	内面ヨコナデ、外面ヨコナデ、タテ方向ヘラミガキ	良好	角四石、長石多い	赤茶	外面丹塗り、スス付着
095	54	水路	弥生土器蓋	底径10.3		坏・脚部内面接合痕残る	坏部内面ヘラミガキ、脚部内面ナデ、外面ハケ後ナデ、ヨコナデ	良好	角四石、長石や少ない	橙灰色～暗褐色	底部から立ち上がり部に黒斑あり
096	54	水路	弥生土器蓋			平底の底部	内面工具状ナデ、外面ナデ後タテ・ヨコナデ	良好	角四石多い、長石少ない	暗黄褐色	底部から立ち上がり部に黒斑あり
097	54	水路	弥生土器蓋	底径7.6		やや突出気味の底部	内面工具状ナデ、外面ナデ後タテ・ヨコナデ	良好	角四石、長石多い	淡赤褐色	底部に黒斑あり
098	54	水路	土師器	11.4	3.5	ロクロ調整 底部回転ヘラ切り	回転ナデ後内面ヘラミガキ、外面はナデ、底部回転ヘラ切り後ナデ	良好	角四石、長石や少ない	赤褐色～黒灰褐色	内面スス付着?
099	54	水路	白磁碗	(11.8)		口縁部で小さく折れる	施釉	良好			
100	54	水路	緑釉陶器	(16.4)		口縁部は直線的に伸びる	施釉	良好			
102	55	水路	弥生土器蓋	(28.5)		2条の刻目突帯を廻らせる	内面ヨコ・ナメハケ、外面タテ・ナメハケ、口縁部から突帯までヨコナデ	良好	角四石、長石少ない、金雲母わずか	にぶい橙色～暗褐色	下城式 内面スス付着
103	55	水路	弥生土器蓋			口縁部跳ね上げ	内面ナデ後ヘラミガキ、不定方向ヘケ、外面不定方向ヘケ、ヘラミガキ、突帯とその周辺ヨコナデ	良好	角四石、長石、石英や多い	灰褐色～黒灰褐色	小野宮30と同一体
103	55	水路	弥生土器蓋			口縁部跳ね上げ	内面ナデ、外面タテハケ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石多い、長石少ない	淡橙褐色	外面スス付着
103	55	水路	弥生土器蓋	(33.8)		口縁部跳ね上げ	内面ナデ、ハケ、外面タテ・ナメハケ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石多い、長石少ない、金雲母わずか	淡褐色～黒褐色	口縁部～外面スス付着
104	55	水路	弥生土器蓋	(29.2)		口縁部跳ね上げ	内面ナメハケ、外面ナメハケ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石や少ない	淡褐色～暗褐色	内外使用時にスス付着
105	55	水路	弥生土器蓋	(28.3)		口縁部跳ね上げ	内面ナメハケ、外面ナメハケ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石や少ない	暗赤褐色	内外に少泥コゲ付着
106	55	水路	弥生土器蓋	27.2		口縁部跳ね上げ	内面ナデ、外面タテハケ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石少ない	淡橙褐色～暗褐色	内外面スス付着
107	55	水路	弥生土器蓋	(28.4)		口縁部跳ね上げ	内面ナデ、外面タテハケ、口縁部ヨコナデ、ナメハケ	良好	角四石、長石や少ない	明橙褐色～灰褐色	一部に暗文風のヘラミガキ残る
108	56	溝上面黒土層	弥生土器高杯	(24.2)		屈曲部から上は強く外反しながら開く	内面ナデ、タテケズリ、外面ヨコナデ、タテハケ	良好	角四石、長石多い	黄灰色～黄褐色	
109	56	溝上面黒土層 上層集中	弥生土器高杯			脚部内面にしばり痕残る	内面ナデ、タテケズリ、外面ヨコナデ、タテハケ	良好	角四石、長石や少ない、石英わずか	淡橙褐色～灰褐色	外面スス付着
110	56	溝上面黒土層	弥生土器	(18.0)		緩やかに開く脚部	ナデ、ヨコ・ナメハケ、外面ヨコナデ	良好	角四石、長石多い	暗灰褐色	口縁部コゲ付着
111	56	溝上面黒土層	弥生土器高杯	(26.6)		口縁部で小さく内湾する	ヨコナデ	良好	角四石、長石や少ない	にぶい黄褐色～暗褐色	内外面スス付着
112	56	溝上面黒土層	土師器鉢	(20.0)	10.7	積み上げ	ヨコナデ、底部ナデ	良好	角四石、長石や少ない	灰黄褐色	
113	56	溝上面黒土層	土師器鉢	(14.6)		ロクロ調整	回転ナデ	良好	角四石、長石や少ない	黒色	内外共スス、コゲ付着
114	56	溝上面黒土層	土師器鉢	10.9	3.1	ロクロ調整 底部回転ヘラ切り	回転ナデ、指ナデ	良好	角四石、長石多い	淡褐色	底部に墨雲あり
115	56	溝上面黒土層	土師器鉢	底径(8.2)		底部回転ヘラ切り	回転ナデ、ナデ	良好	角四石、長石や少ない	橙灰白色	
116	56	黒土層	土師器	11.0	3.0	ロクロ調整 底部回転ヘラ切り	回転ナデ、底部板状圧痕あり	良好	角四石、長石や少ない	灰褐色	
117	56	黒土層	土師器碗	底径(9.2)		高台貼り付け	内面・高台内ナデ、高台部をヨコナデ	良好	角四石、長石や少ない	淡褐色	
118	56	黒土層	土師器碗	底径(9.6)		高台貼り付け	内面ナデ、高台部をヨコナデ	良好	角四石、長石少ない	黒褐色	古代
119	56	黒土層	土師器鉢	底径(8.2)		底部回転ヘラ切り	ナデ	良好	角四石、長石や少ない	明茶褐色	口縁部の特徴達め下城式ではない
124	57	黒土層	弥生土器蓋	(42.4)		口縁部は刻目を有し、外に突出、下に2条の 刻目突帯を廻らせる	内面ナデ、外面タテハケ、口縁部突帯にかけてヨコナデ	良好	角四石、長石、石英多い	橙褐色～灰褐色	
125	57	黒土層	弥生土器蓋	(20.0)		口縁部は上方に拡張	外面ナメハケ、口縁部ヨコナデ、縦方向の指描き文様あり	良好	角四石、長石少ない	灰褐色	
126	57	黒土層	弥生土器蓋	(15.8)		口縁部は上方に拡張	ハケ状工具で内面はヨコ方向、外面はタテ方向の調整、口縁部ヨコナデ、面をナメハケ	良好	角四石、長石多い	淡橙褐色～灰色	
127	57	黒土層	弥生土器蓋	(25.0)		口縁部は上方に拡張	外面ナメハケ、口縁部ヨコナデ、円形文様、刻み文様あり	良好	角四石、長石や少ない	淡褐色	
128	57	黒土層	弥生土器蓋	底径11.6	60.4	外面に機文を有し、下に折れる口縁部	内面ナデ、外面ヨコナデ	良好	角四石、長石、石英少ない	橙褐色～灰褐色	外面スス付着
129	57	黒土層	弥生土器蓋			体部中に最大径を有する、底部は平底	内面ナメハケ、ハケ状工具ナデ、外面ナメハケ、ヨコナデ、ヨコナデ、ナメハケ、脚部ヨコナデ、タテハケ、底部指ナデ、ナデ	良好	角四石、長石、石英少ない	黒褐色	下城式 突帯刻みに横2本線
130	58	SD-1	弥生土器蓋			1条の刻目突帯を廻らせる	内面工具状ナデ、外面タテハケ、口縁部から突帯までヨコナデ	良好	角四石、長石や少ない	暗褐色	外面コゲ付着
131	58	SD-1	弥生土器蓋	(24.8)		口縁部跳ね上げ	内面ナデ、外面タテハケ、ヨコナデ、口縁部ヨコナデ、ナデ	良好	角四石、長石多い	淡褐色	
132	58	SD-1	弥生土器蓋			口縁部跳ね上げ	内面ヨコナデ、外面タテハケ後ヨコナデ	良好	角四石、長石多い、石英少ない	淡黄灰褐色	口唇部内面に黒斑あり
133	58	SD-1	弥生土器	(18.3)		外傾する頸状口縁部	内面ヨコハケ、外面タテハケ、ヨコナデ	良好	角四石、長石多い	灰褐色	
134	58	SD-1	弥生土器	底径9.6		緩やかに開く脚部、内面には折れ痕あり	内面ヨコハケ、外面タテハケ、ヨコナデ	良好	角四石、長石、石英多い	橙赤褐色	脚部外面大半が剥離
135	58	SD-1	弥生土器高杯			内湾しながら開く脚部	環部内面ナメハケ、脚部内面ナデ、内面ミガキ	良好	角四石多い、長石少ない	灰褐色	
136	58	SD-2	縄文土器			内湾しながら開く脚部	内面ナデ後研削、外面から口縁部内面ナデ	良好	角四石、長石や少ない	黄褐色	
137	58	SD-3 V層	弥生土器蓋			1条の刻目突帯を廻らせる	内面工具状ナデ、指ナデ、外面タテハケ、口縁部から突帯までヨコナデ	良好	角四石、長石、石英少ない	暗褐色	下城式 外面コゲ付着
138	58	SD-3	弥生土器蓋			1条の刻目突帯を廻らせる	内面工具状ナデ、外面タテハケ、口縁部から突帯までヨコナデ	良好	角四石、長石や少ない	暗褐色	下城式? 外面にスス付着
139	58	SD-3	弥生土器蓋			口縁部跳ね上げ	内面ナデ、外面タテハケ、ヨコナデ、口縁部ヨコナデ、ナデ	良好	角四石、長石や少ない	灰茶褐色	
140	58	SD-3	弥生土器蓋	(20.6)		口縁部跳ね上げ	内面ナデ、外面タテハケ、口縁部ヨコナデ、一部ヘラ痕残る	良好	長石多い	暗褐色	外面コゲ付着
141	58	SD-3	弥生土器蓋	(36.2)		口縁部跳ね上げ	内面ナデ、口縁部ヨコナデ、ヨコナデ	良好	角四石、長石少ない	暗褐色	
142	58	SD-3	弥生土器	(28.5)		動先状の口縁部	内面ヨコナデ、ナデ、口縁部ヨコナデ、ヨコハケ後ヘラミガキ	良好	角四石、長石多い	灰褐色	北部九州系
143	58	SD-3	弥生土器蓋	底径8.8		やや上げ気味の底部	内面ナデ後ヘラミガキ、ヘラミガキ後ヨコナデ、外面タテハケ、ヨコナデ、底部工具でナデ後タテ	良好	角四石、長石や少ない	黄灰褐色～黒褐色	内外面スス付着
144	58	SD-3	弥生土器蓋	底径5.0		平底、外面に指痕残る	内面コゲ付着で不明 外面タテハケ、ヨコハケ、底面ナデ	良好	角四石、長石、石英多い	淡橙褐色	内面コゲ付着
145	58	SD-3	弥生土器蓋	底径6.4		平底の底部	ヘラミガキ、外面タテハケ、底部ナデ部ヘラミガキ	良好	角四石、長石少ない	淡褐色	一部黒斑あり
146	59	北東壁	弥生土器蓋	(30.0)		口縁部跳ね上げ	内面ナデ、外面ナデ後タテハケ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石わずか、長石少ない	浅黄褐色	脚部内面スス付着
147	59	北東壁	弥生土器蓋	(23.9)		口縁部跳ね上げ	内面ナデ、外面ナデ後タテハケ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石少ない	黒色	
148	59	北東壁	弥生土器蓋	(27.6)		頸部に1条の突帯を有する	内面ナデ、外面ナデ後ナメハケ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石多い	黒色～灰黄褐色	口縁部外面スス付着
149	59	北東壁	弥生土器蓋	(15.8)		大きく外反して開く口縁部	内面ナデ、外面ナデ後ナメハケ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石多い	黒色	脚部外面スス付着
150	59	北東壁	弥生土器蓋	(15.3)		くの字に折れ開く口縁部	内面ナデ、外面ナデ後ナメハケ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石少ない	黒色	内面コゲ、外面スス付着
151	59	北東壁	弥生土器蓋	(16.0)	18.4	緩やかに開く口縁部で、内外面に指痕、 接合痕残る。底部は上げ底。	内面ナデ、外面ナメハケ、内面ヨコナデ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石多い	黄灰色	
152	59	北東壁	弥生土器蓋	(17.0)		大きく開く口縁部	内面ナデ、外面太細のタテハケ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石少ない	暗褐色	内外にスス付着
153	59	北東壁	弥生土器 小形蓋	(18.1)		頸部に穿孔2つあり	内面ナデ後ナメハケ、外面ナデ後タテハケ、ナデ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石多い、長石少ない	暗赤褐色	口縁部スス付着
154	59	北東壁	土師器			肩部内面に接合痕、指痕残る	内面ナデ、外面ヘラミガキ後タテハケ、ヘラミガキ後ヨコナデ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石や少ない	黄灰色～黒褐色	内外面スス付着
155	60	北東壁	弥生土器 長頸蓋	(7.2)		水平に折れ開く口縁部	内面ナメハケ、外面ナメハケ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石や少ない	にぶい黄褐色～赤褐色	内外面とところどころスス付着
156	60	北東壁	弥生土器鉢	(23.1)		水平に折れ開く口縁部	内面ナメハケ、外面ナメハケ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石や少ない	淡黄褐色	口縁部スス付着
157	60	北東壁	弥生土器	底径(12.9)		緩やかに開く脚部	内面ナメハケ、外面ナメハケ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石多い	灰褐色～黒褐色	内外面スス付着
158	60	北東壁	弥生土器高杯	(32.0)		動先状の口縁部	内面ナメハケ、外面ナメハケ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石多い	橙褐色～暗灰褐色	内外面スス付着
159	60	北東壁	弥生土器蓋	底径(5.0)		平底、外面に接合痕残る	内面・底部ナデ、外面タテハケ後ナデ、ヨコナデ	良好	角四石、長石多い	暗橙褐色	内外にコゲ付着
160	60	北東壁	弥生土器蓋	底径5.4		上げ底状の底部	内面ナメハケ、外面ナメハケ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石多い	暗橙褐色	内外にコゲ付着
161	60	北東壁	弥生土器蓋	20.8	26.7	上げ底状の底部	内面ナメハケ、外面ナメハケ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石多い	橙褐色	内外にコゲ付着
162	60	西壁	弥生土器蓋	(40.4)		口縁部跳ね上げ、頸部に1条の突帯を 廻らせる	内面ナメハケ、外面ナメハケ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石多い	橙褐色	
163	60	西壁	弥生土器蓋	(18.0)		緩く折れ開く口縁部	内面ナメハケ、外面ナメハケ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石、石英多い	灰褐色	
164	60	西壁	弥生土器鉢	7.0	9.35	随型製の体部、底部・口縁部指痕残る	内面ヘラミガキ、ナデ、外面タテ方向ヘラミガキ、口縁部ナデ	良好	角四石、長石、石英多い	茶褐色	内面鉄分付着
165	61	集中3	弥生土器蓋	22.0		くの字に折れ開く口縁部	内面ヘラミガキ、ナデ、外面タテ方向ヘラミガキ、口縁部ナデ	良好	角四石、長石多い	暗褐色	外面全体にコゲ付着
166	61	中央ベルト1層	弥生土器	(21.0)		内面に指痕残る	内面ナメハケ、外面ヨコハケ、口縁部ヨコハケ、ヨコナデ	良好	角四石、長石多い	黄灰色	
167	61	中央ベルト1層	弥生土器			屈曲部に2条の突帯を廻らせる。円盤状	環部内面ナデ、脚部内面ナメハケ、ハケ状工具で不定方向の調整、 ナメハケ、三角突帯付ナデ	良好	角四石、長石少ない	淡褐色・にぶい黄褐色	外面丹塗り
168	61	中央ベルト3	弥生土器			湾曲しながら開く口縁部	内面ナメハケ、外面ナメハケ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石多い	灰白色～灰褐色	全面丹塗り
170	61	1トレンチ	縄文土器			くの字に折れ開く口縁部	内面ナメハケ、外面ナメハケ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石や少ない	灰褐色	
171	61	2トレンチ	弥生土器蓋			くの字に折れ開く口縁部	内面ナメハケ、外面ナメハケ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石や少ない	橙褐色～暗褐色	外面スス付着

遺物 番号	図版 番号	出土地点	器種	法量		器形、成形など	調整、文様など	焼成	胎土	色調	備考
				口径	器高						
172	61	2 トレンチ	陶器	(5.5)	3.3	ロクロ調整 底部回転ヘラ切り	見込から割部に透明釉、腰部から底部露胎、ナデ・ヨコナデ	良好	角四石少ない	淡黄褐色	19世紀以降 四西系陶器
173	61	2 トレンチ	弥生土器蓋	(25.8)		口縁部は上方にやや拡張される	内面ヨコナデマハケ、外面ナデ、両タテハケ拭工具痕跡、口縁部ヨコナデ、勾玉状浮文多数・刷毛文様	良好	角四石、長石、石英少ない	淡橙褐色～暗褐色	内面スス付着
174	61	3 トレンチ	弥生土器蓋	(19.8)		口縁部は大きく上方に拡張される	内面丁寧ナデ 外面タテハケ後ナデ 口縁部ヨコナデ、施文	良好	角四石、長石多い	浅黄褐色	
175	61	3 トレンチ	弥生土器蓋			大きく伸びる口縁部を持つ	内面ナデ、外面ナデ後タテハケ、ヨコナデ	良好	角四石少ない、長石わずか	にぶい黄褐色	
176	61	3 トレンチ	土師器	11.3	3.4	ロクロ調整 底部回転系ヘラ切り	回転ナデ、底部内面ナデ	良好	角四石、長石、金雲母や少ない	黄褐色	内面コケ、外面スス付着
177	61	8 トレンチ	弥生土器蓋	18.7		口縁部・外面指圧痕残る	内面ナデ、タテ方向のヘラズリ、外面タテハケ、口縁部ヨコナデ、タテハケ	良好	角四石、長石少ない	灰褐色	外面スス付着、二次被熱受ける
178	62	1 区Ⅵ層	弥生土器蓋			ほぼ直線の体部	内面ヨコハケ、外面タテハケ後輪描による直線文と波状文	良好	角四石多い、長石少ない	淡褐色	
179	62	1 区Ⅵ層	弥生土器蓋			ほぼ直線の体部	内面ヨコハケ、外面タテハケ後輪描による直線文と波状文	良好	角四石多い、長石少ない	淡黄褐色	
180	62	1 区Ⅵ層	弥生土器蓋			ほぼ直線の体部	内面ナデ、外面は輪描直線文	良好	角四石多い、長石少ない	暗褐色	
181	62	1 区Ⅵ層	弥生土器蓋			ほぼ直線の体部	内面ヨコハケ、外面タテハケ後ヨコナデ	良好	角四石、長石少ない	黄褐色	
182	62	1 区Ⅵ層	弥生土器蓋			厚みのある体部	内面太いヨコナデ、外面タテハケ後線刻文様(木の葉状)施す	良好	角四石、長石多い	暗橙褐色	穿孔あり
183	62	1 区Ⅵ層	弥生土器蓋			ややそりが認められる	内面ナデ、外面は輪描直線文	良好	角四石多い、長石少ない、石英わずか	黄褐色	
184	63	3、4 区Ⅳ、Ⅵ層	弥生土器蓋			1 条の刻目突帯を廻らせる	内面ナデ後両タテハケ拭工具痕、外面三角突帯ヨコナデ、タテハケ口縁部ヨコナデ	良好	角四石多い、長石少ない、石英わずか	黄褐色・暗褐色	下城式
185	63	3、4 区Ⅳ、Ⅵ層	弥生土器蓋			やや湾曲しながら開く坏部	坏部内面ヨコハケ方向ヘラズリ、外面ヨコナデ、ナデヘラミガキ、脚部外面タテミガキ	良好	角四石、長石多い	黒茶褐色	坏部外面下半部に帯状の黒漆付着
186	63	4 区ⅡⅠⅡⅢⅣ	弥生土器	(32.0)		口縁部は跳ね上げ	内面ナデ、外面タテハケ、口縁部ヨコナデ、タテ方向のハケ拭工具痕あり	良好	角四石、長石多い	淡橙褐色～暗褐色	内面スス付着
188	63	4 区黒土層	ミナチュエ土器	4.0	1.9	全面に指圧痕残る、手づくね		良好	角四石、長石多い	灰褐色	ほぼ完形
190	64	8 トレンチ	弥生土器蓋	(12.2)		内面広範囲に指圧痕、外面頸部に接合痕残る	口縁部ヨコナデ、脚部外面タテハケ	良好	角四石、長石多い	黒灰褐色	内面スス付着
191	64	8 トレンチ	弥生土器蓋	(22.6)		外反しながら開く口縁部	内面ナデ、外面ハケ目、口縁部ヨコハケ、ヨコナデ	良好	角四石、長石や多い	灰褐色～黒灰色	
192	64	遺物集中区 2	弥生土器蓋			2 条の刻目突帯を廻らせる	内面ナデ、ヨコハケ、口縁部から突帯までヨコナデ	良好	角四石、長石少ない	暗褐色	下城式 外面コケ付着
193	64	遺物集中区 2	弥生土器蓋	(31.2)		内湾して開く口縁部	タテハケ、ヨコナデ、内面ナデ	良好	角四石、長石多い	暗橙褐色	外面スス付着
194	64	集中区	弥生土器蓋			裾広がりに伸びる脚部	坏部内面ヨコハケ、脚部内面ナデ、外面タテハケ	良好	角四石、長石多い	淡褐色	
195	64	遺物集中区 2	弥生土器	底径9.7		内面指圧痕残る	内面ハケ後ナデ、外面タテハケ、裾部ヨコナデ	良好	角四石、長石少ない	淡黄褐色	
196	64	集中区	弥生土器蓋	底径4.5		上げ底状の底部	内面ケズリ後ミガキ、外面タテハケ後ヘラミガキ、ヨコナデ	良好	角四石、長石多い	暗褐色	
197	64	遺物集中区	土師器	(11.4)	3.25	ロクロ調整 底部回転系ヘラ切り	回転ナデ、底部内面ナデ	良好	角四石、長石や多い	橙色～灰褐色	
198	64	集中 3	土師器	(14.3)		ロクロ調整、底部回転ヘラ切り	回転ナデ、ナデ	良好	角四石少ない、長石多い	暗黄褐色	
199	64	表採	弥生土器蓋			脚部内面にしほり痕、接合痕残る	坏部内面ミガキ、脚部内面ヨコナデ、ヨコハケ、外面タテハケ	良好	角四石、長石、石英多い	黄褐色～黒褐色	
200	64	表採	土師器	10.6	3.5	ロクロ調整 底部回転ヘラ切り	回転ナデ、底部板状圧痕あり	良好	角四石、長石、金雲母や多い	黄灰色	内面コケ、外面スス付着
204	65	表採	彌生土器蓋			胴部に 3 条の突帯を廻らせる	内外面ともハケ調整	良好	角四石、長石多い	黄灰色	
205	65	表採	燗台	底径5.8		ロクロ調整、底部糸切り、穴は貫通する。	ナデ、ヨコナデ	良好	角四石、長石多い	灰白色	中世
206	65	表採	弥生土器蓋	(8.6)	2.0	外面下半部指圧痕残る	内面ナデ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石少ない	灰褐色	
207	65	表採	弥生土器蓋	(12.0)		外面下半部指圧痕残る	内面ナデ、口縁部ヨコナデ	良好	砂粒少ない	明橙褐色	
208	65	表採	土師器小皿	(9.0)	0.9	底部中央が盛り上がる		良好	砂粒少ない	灰色	
209	65	表採	黒色土師碗	(14.9)	5.7	ロクロ調整、ハの字に踏ん張る高台が附く	回転ナデ、ヘラケズリ、高台内ナデ	良好	角四石、長石や少ない	黒色・灰褐色	内黒
210	65	北西部Ⅲ層	弥生土器			裾広がりに伸びる脚部	外面タテハケ、内面剥離	良好	角四石、長石多い	暗褐色	
211	65	北西部Ⅲ層	瓦質土器			宝珠状の柄み	内面ヨコハケ、外面ヨコナデ、ミガキ	良好	角四石、長石多い	暗灰色	
212	65	SK-7 南側深溝溝	弥生土器蓋	(17.0)		頭部が締まる	ナデ後ナメマハケ、外面はタテにもハケ、口縁部ヨコナデ	良好	角四石、長石少ない	棕色	
213	65	北西部Ⅲ層	黒色土師碗	(15.8)	6.1	ロクロ調整、外方に踏ん張る高台が附く	内外面ヘラミガキ、底部回転ナデ、ナデ	良好	角四石、長石や少ない	黄褐色～黒色	内黒ⅡⅢ層
214	65	北西部Ⅲ層	黒色土師碗	15.3	6.3	ロクロ調整、外方に踏ん張る高台が附く	回転ナデ一部回転ヘラケズリ後ヘラミガキ、高台内ナデ	良好	角四石、長石や少ない	黄褐色～黒色	内黒
215	65	北西部Ⅲ層	土師器碗	13.0	5.5	ロクロ調整、高台は低い。	回転ナデ、内面ナデ、高台内ケズリ	良好	角四石、長石、石英、雲母や多い	淡橙灰褐色	
216	65	北西部Ⅲ層	土師器杯	10.9	2.7	ロクロ調整 底部回転ヘラ切り	回転ナデ、底部板状圧痕あり	良好	角四石、長石や多い	黒褐色	内面コケ付着、外面スス付着、二次被熱受ける
217	65	北西部Ⅲ層	土師器小皿	8.5	1.1	ロクロ調整 底部回転糸切り	回転ナデ	良好	角四石、長石や少ない	黄灰色	13世紀 完整に接合
218	65	北西部Ⅲ層	土師器小皿	8.7	1.1	ロクロ調整 底部回転糸切り	回転ナデ	良好	角四石、長石や少ない	橙灰白色	13世紀
219	65	北西部Ⅲ層	青磁碗	底径5.9		碗部はあまり外に張り出さない。	全面施釉、見込内・高台置付に胎土目付着	良好			

瓦

遺物 番号	図版 番号	出土地点	法量		成形および調節		焼成	胎土	色調	備考
			全長	最大幅	凹面	凸面				
220	65	北西部Ⅲ層			布目痕、楔形痕明瞭	格子目タタキ	良好	角四石、長石、砂粒含む	灰色	古代
122	56	黒土層			タテ方向ヘラケズリ	格子目タタキ	良好	砂粒やや少ない	暗灰色	古代
120	56	黒土層			布目痕、側面近くヘラケズリ	円形押型、側面近くヘラ調整	良好	砂粒やや少ない	暗灰色	古代
121	56	黒土層			菱形格子目	ナデ	良好	砂粒少ない	黄褐色	

土製品

遺物 番号	図版 番号	出土地点	種別	材質	法量		備考
					長さ	幅	
187	63	Ⅳ・Ⅴ層	紡錘車	土師質	3.9	3.8	完形、焼成前穿孔
030	47	黒土層	土錘	素焼き	2.35	3.0	
123	56	黒色土上層	土錘	素焼き	3.7	1.5	

木製品

遺物 番号	図版 番号	出土地点	種別	材質	法量		備考
					長さ	幅	
221	66	Ⅳ層	木製品	杉?			一本の木を彫り込む。用途不明。全体に赤漆塗布
222	67	M9	木製品		51.2	柄最大幅5.0、本体残存幅11.6	
223	68	中央ベルト	杭		残存長14.9	5.3	
224	68	溝	木器		10.7	3.1	丹塗り
225	68		木製品		残存長8.0	残存幅7.7	深さ0.5mm程度の線刻平行して2本
226	68	水路(北)	木製品		残存長11.2		3片から成る。用途不明。全体に赤漆塗布
227	68	水路	木製品の柄?		残存長17.0	2.5-3.45	2 個体の破片
228	68		木製品		9.9	6.4	加工痕 9 面確認、221 と同一個体か
229	69		木製品		残存長9.65	6.8	樹皮を剥きながら加工。未製品。221 と同一個体か
230	69		木製品		残存長46.3	17.0	
231	70		曲物		16.5	15.8	
232	70	上層(黒色土)	曲物		最大長16.0	残存幅6.2	底板。墨書 「未」「人」「一」

石製品

遺物番号	図版番号	出土地点	種別	材質	法量		備考
					長さ	幅	
189	63	溝 3	石包丁		残存長8.3	残存幅4.2	
169	61	中央ベルト 1層	磨製石楯		残存長4.9	2.0	
101	54	水路	台石	凝灰岩	37.8	21.1	
041	49	Ⅵ層	磨石		残存長11.0	残存幅5.4	

銭貨

遺物番号	図版番号	出土地点	銭種	初鑄年	法量			重量(g)	備考
					径	孔	厚さ		
201	64	表採	天壽通寶	1017年	2.4			3.1	
202	64	トレンチ	寛永通寶	江戸時代	2.4			2.9	
203	64	表採	不明		2.0			3.5	

第12表 遺物観察表(6) 宮ノ前d地区

土器

遺物番号	図版番号	出土地点	器種	法量		器形、成形など	調整、文様など	焼成	胎土	色調	備考
				口径	器高						
001	74	S001東	弥生土器甕	(18.8)		くの字に折れ開く口縁部	内面ヘラケズリ、外面ナデ、口縁部ヨコナデ	良好	角閃石、長石やや多い	橙褐色～黒灰褐色	内外面二次被熱受け一部剥離
002	74	S001東	弥生土器甕	(21.0)		くの字に折れ開く口縁部	胴部内面ナメハケ、外面ナデ、口縁部から頸部ヨコナデ	良好	角閃石、長石やや少ない	黄灰褐色	外面全体スス付着
003	74	S001A	弥生土器甕	(18.0)		くの字に折れ開く口縁部	胴部内面ナデ、外面頸部から胴部タテハケ、口縁部ヨコナデ後ヨコハケ	良好	角閃石、長石やや少ない	暗灰褐色～黒灰褐色	内外面スス付着?
004	74	S001A	弥生土器甕	(20.7)		くの字に折れ開く口縁部	胴部ナデ、口縁部ヨコナデ	良好	角閃石、長石やや少ない	淡橙褐色～黒灰褐色	
005	74	S001東	弥生土器甕	(12.2)		くの字に折れ開く口縁部	ナデ、口縁部ヨコナデ	良好	角閃石、長石やや少ない	黄灰褐色	
006	74	S001A	弥生土器甕			胴部が張る	内面ヨコナデ、ハケ目、ハケ後ヘラミガキ、外面ヨコナデ後ヘラミガキ	良好	角閃石、長石やや少ない	黄灰褐色	頸部内面から胴部外面丹塗り
007	74	S001東	弥生土器甕			くの字に折れ開く口縁部	内面ナデ、外面タテ方向ナデ、口縁部ヨコナデ、ヨコハケ後ナデ	良好	角閃石、長石やや多い	淡橙褐色～橙色	
008	74		弥生土器壺	(16.0)		口縁部外上面に円形浮文	内面工具でヨコナデ、外面ヨコハケ後ヨコナデ、タテハケ、工具取残る口縁部ヨコナデ、浮文	良好	角閃石、長石やや多い	黄褐色～暗灰褐色	
009	74	S001上層	弥生土器壺	(15.4)		蹄先状口縁の外面に連続山形文	内面ヨコハケ後ナデ、外面タテハケ、口縁部ヨコナデ、連続山形ヘラ描き文	良好	角閃石、長石多い	黄褐色	内外面スス付着
010	74	S001東	弥生土器壺			外面に脚描き波状文	内面ヨコハケ、ヨコナデ、外面ヨコハケ、脚描き波状文	良好	角閃石、長石やや少ない	黄灰白色	
011	74	S001A 中層	弥生土器壺			二重口縁の外面に「ハ」字状文	ナデ、口縁部ヨコナデ、連続ヘラ描き八字文	良好	角閃石、長石、石英やや多い	黄褐色～灰褐色	
012	74	S001東	弥生土器甕	底径5.5		平底の底部	内面ナデ、外面タテハケ、底部ヨコナデ、ナデ後一部ミガキ	良好	角閃石、長石やや多い	灰褐色～黒灰色	内面コケ、外面スス付着
013	74	S001東	弥生土器甕	底径4.6		やや上げ底状の底部	内面ナデ、外面タテハケ、底部ヨコナデ、ナデ	良好	角閃石、長石やや多い	淡橙褐色～黒灰褐色	外面スス付着、二次被熱受ける
014	74	S001東	弥生土器甕	底径4.8		若干上げ底気味の平底	外面タテハケ後ヘラミガキ、底部ヨコナデ、ナデ	良好	角閃石、長石やや少ない	黒灰色	内面コケ付着で調整不明
015	74	S001東	弥生土器鉢?	底径6.4		厚みのあるやや上げ底状の脚台	坏部内面ヘラミガキ、脚部外面ハケ後丁寧ナデ、底部ナデ	良好	角閃石、長石、石英多い	黄褐色～淡橙褐色	底部はいびつな形
016	74	S001東	弥生土器脚	底径9.2		脚部内外面指圧痕残る	坏部内面ナデ、脚部内面工具によるナデ、外面ヨコナデ	良好	角閃石、長石、石英多い	黄褐色～淡橙褐色	外面丹塗り
017	74	S001A	弥生土器脚	底径(16.5)		内面指圧痕残る	ヨコナデ、内面ナデ、外面タテハケ。穿孔あり	良好	角閃石、長石、石英やや少ない	黄灰白色	
018	74	S001 中央トレンチ	弥生土器高坏			屈曲部に刻み突帯貼付	内面ヘラミガキ、外面ヨコナデ、ナデ	良好	角閃石、長石、石英やや少ない	黄灰白色	
024	76	S002-2	土師器	(9.4)		非クロ調整 外面指圧痕残る	回転ナデ	良好	角閃石、長石やや少ない	黄褐色	
025	76	S002	土師器			非クロ調整 外面指圧痕残る	回転ナデ	良好	角閃石、長石やや少ない	橙灰褐色	

石製品・その他

遺物番号	図版番号	出土地点	種別	材質	法量		備考
					長さ	幅	
019	74	S001 中層 東	ガラス製品			0.35	
020	75	S001東	礫石?	角閃石安山岩	残存長12.0	9.3	
021	75	S001東	砥石	緑色片岩	残存長17.9	残存幅11.3	
022	75	S001A	石錘	安山岩	残存長6.7	残存幅5.6	
023	75	S001-B	鏝	木製品	残存長20.5	残存幅12.8	方形になる駒穴あり

写真図版



遺跡空中写真（東から）



遺跡空中写真（西から）

図版 2 (東横前 a 地区)



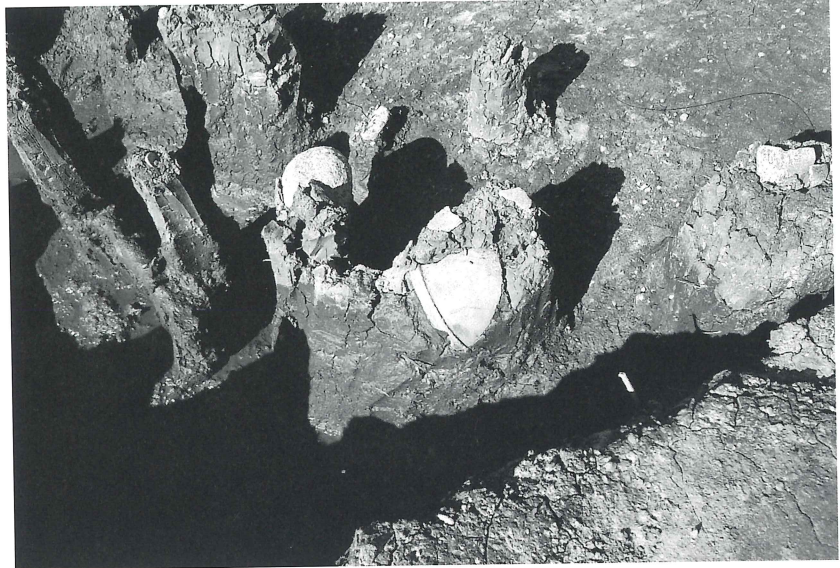
遺構検出状況 (東から)



SD-1



SD-1



SD-1 遺物出土状況



SD-2



SK-1

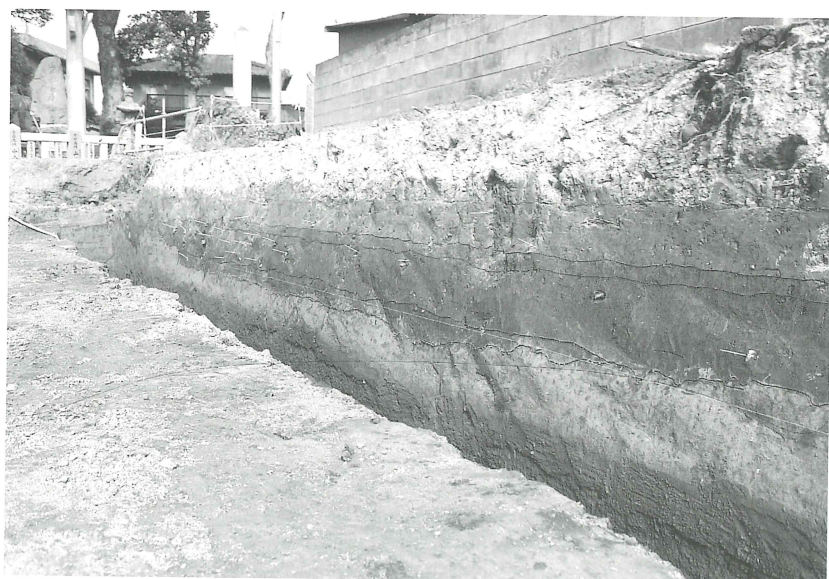
図版 4 (東横前 a 地区)



SK-2



調査区西壁

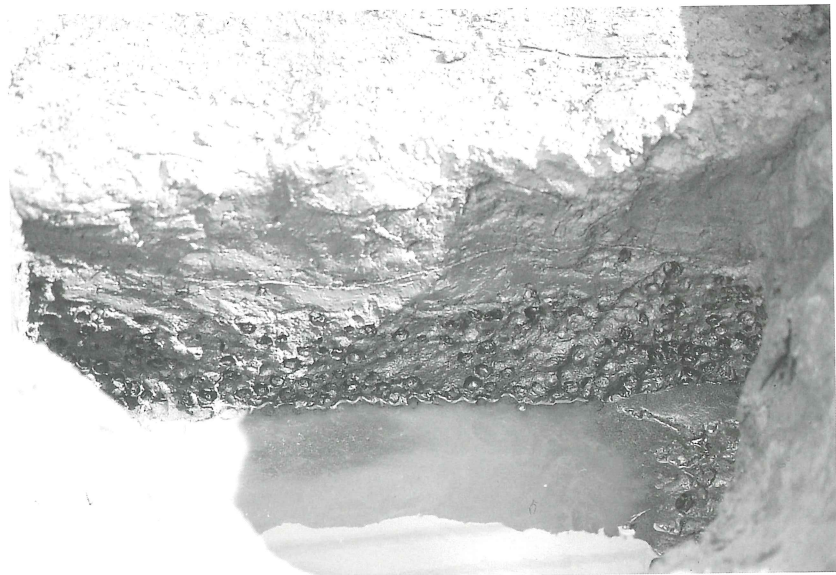


調査区東壁

図版5 (東横前 b 地区)



完掘状況



ドングリピット堆積状況



ドングリピット完掘状況

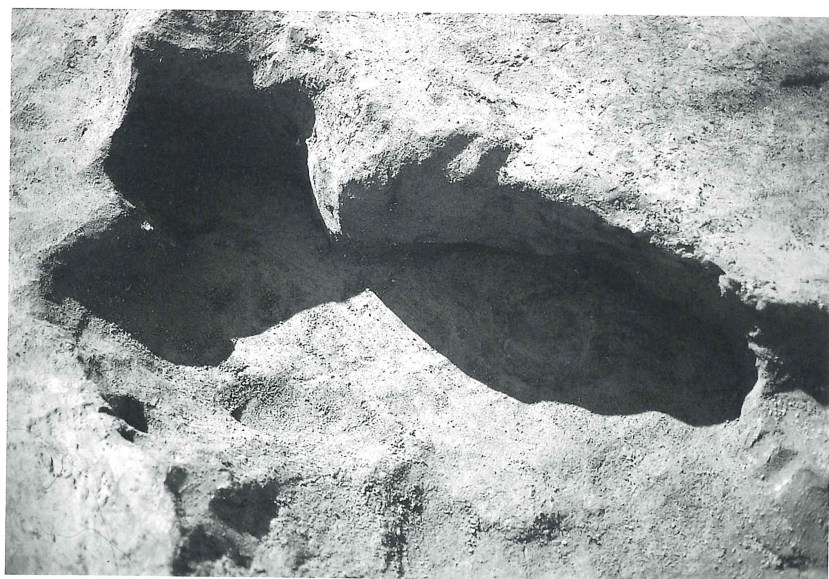
図版 6 (宮ノ前 a 地区)



完掘状況

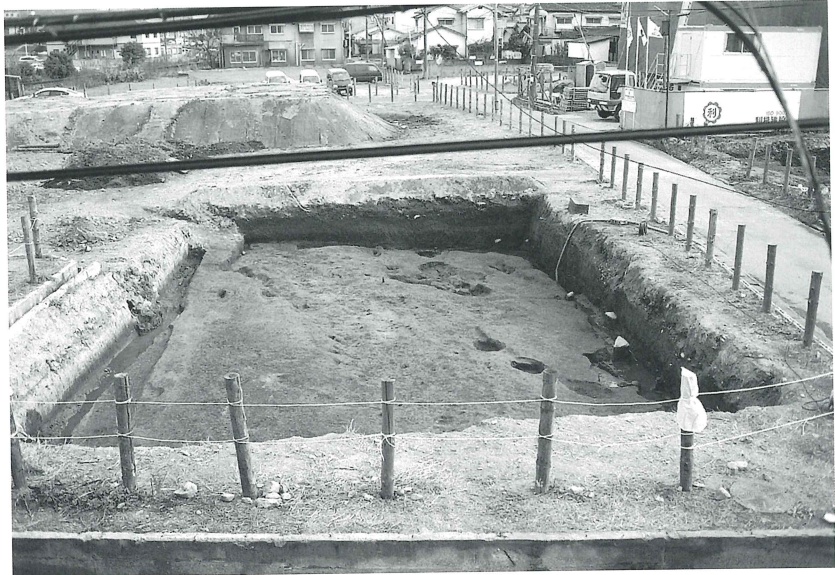


検出状況



SK-1

図版7 (宮ノ前b地区)



完掘状況



完掘状況



南壁状況

図版 8 (宮ノ前 b 地区)



SK-1



SK-2



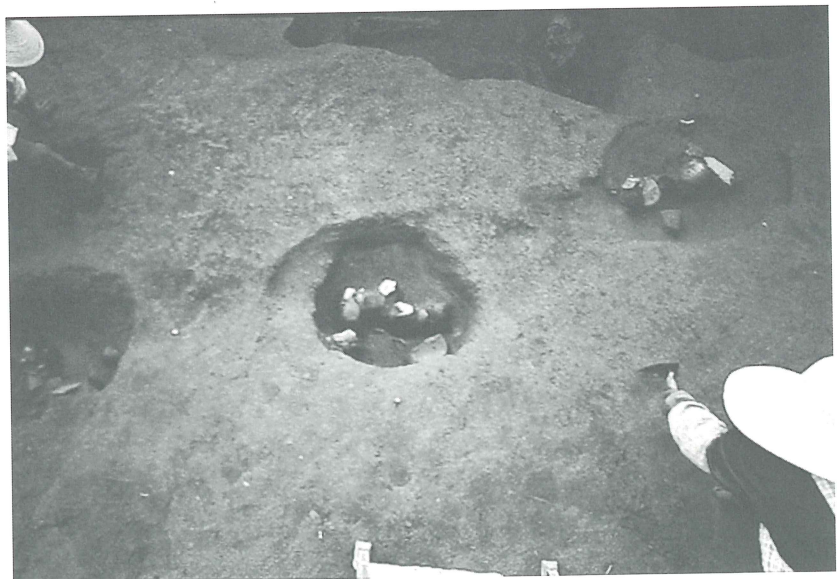
SK-3



SK-3



SK-5



SK-4

図版10 (宮ノ前 c 地区)



作業風景



中央ベルト土層



北壁土層



SD-1 (北西から)



SD-1 (北から)



SD-2

図版12 (宮ノ前 c 地区)



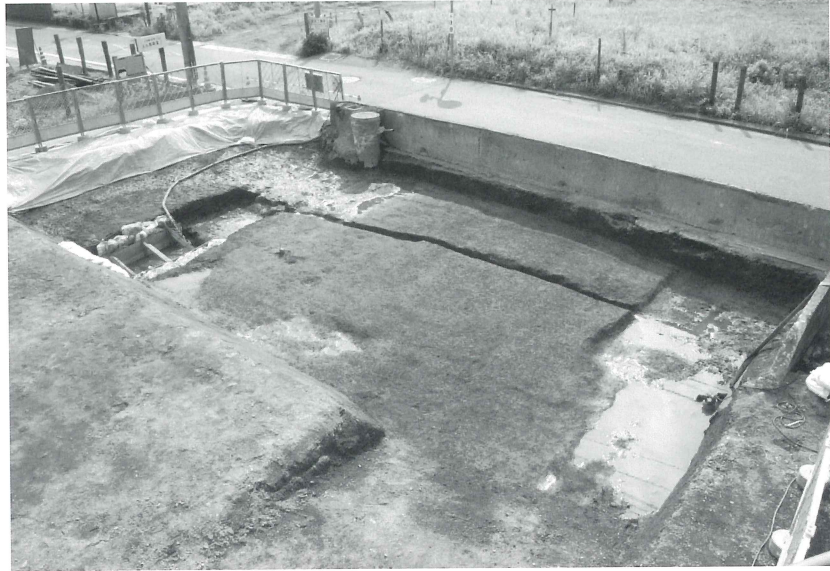
ドングリピット検出状況



遺物出土状況



遺物出土状況



完掘状況



作業風景



S-001

図版14 (宮ノ前d地区)



S-001 遺物出土状況



S-001 完掘状況

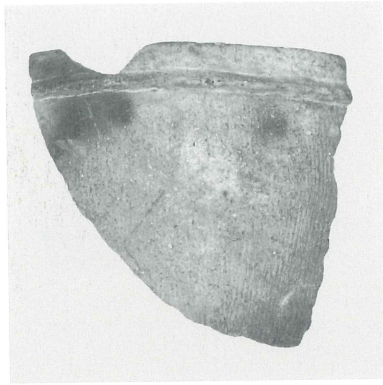


S-001 土層断面

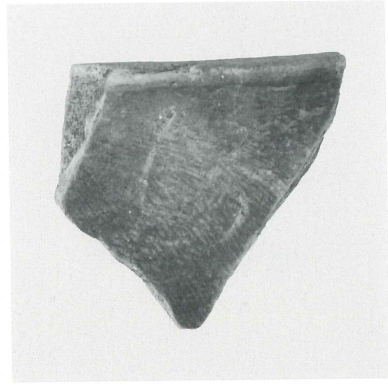
図版15 (東横前 a 地区)



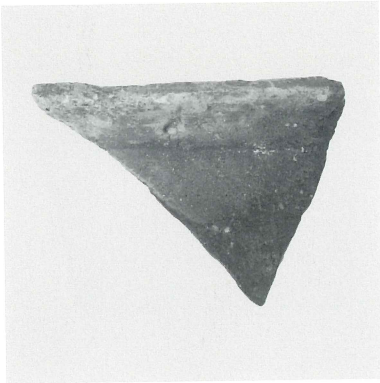
2



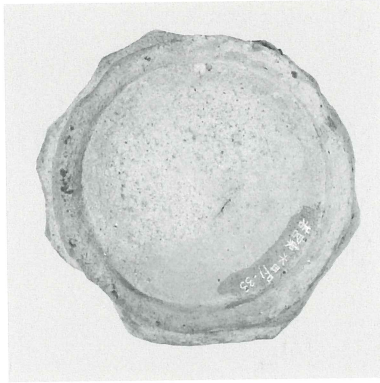
3



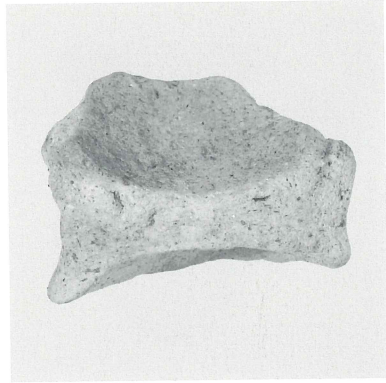
10



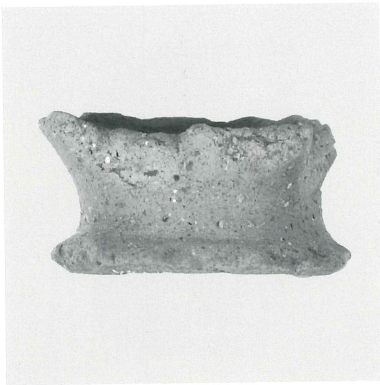
11



15



16



17



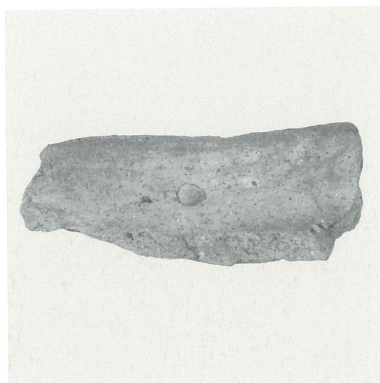
18



20



22



23



24

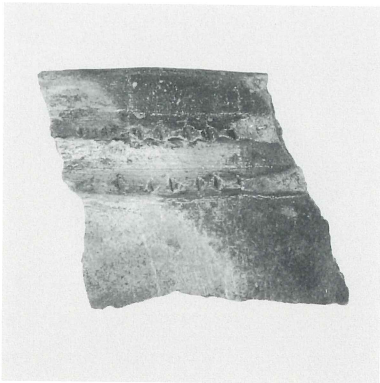
图版16 (東横前 b 地区)



1



2



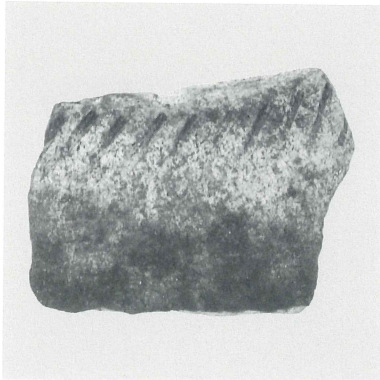
3



7



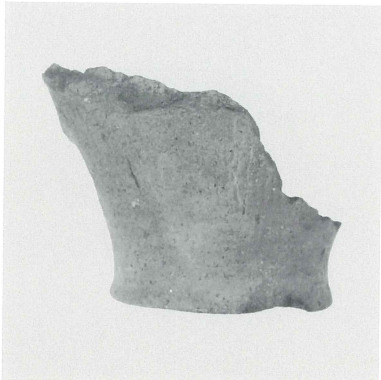
9



23



30



31

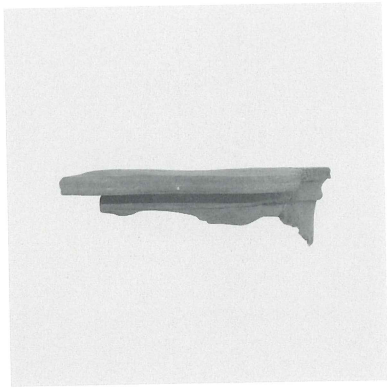


36

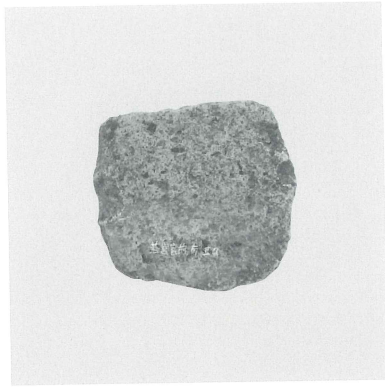


36

图版17 (宫ノ前 a 地区)



3



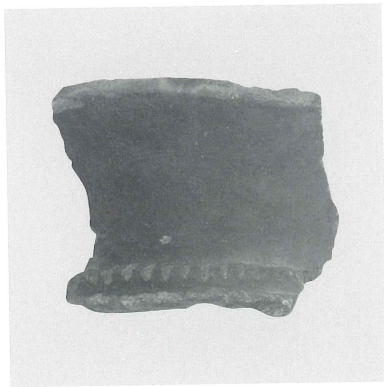
7



8



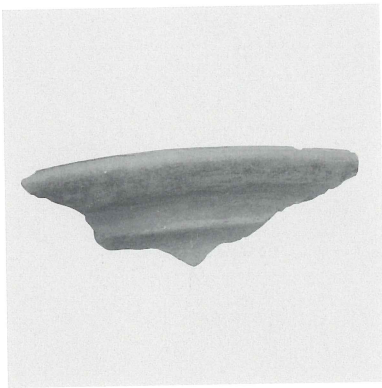
14



15



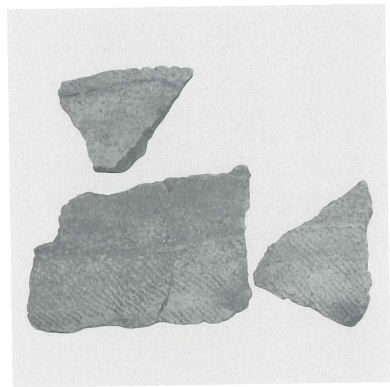
17



17



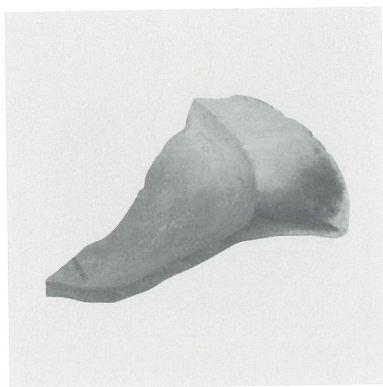
21



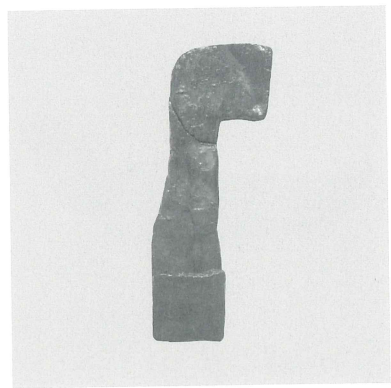
24



25

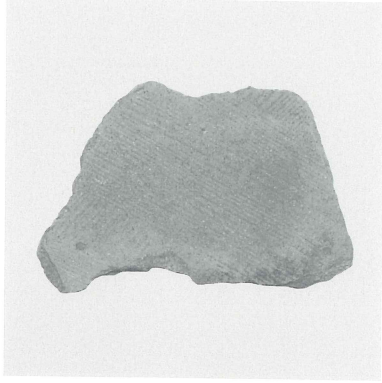


30

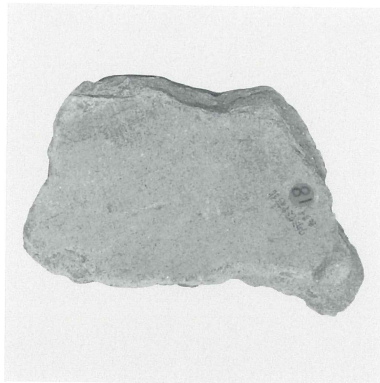


32

図版18 (宮ノ前 b 地区)



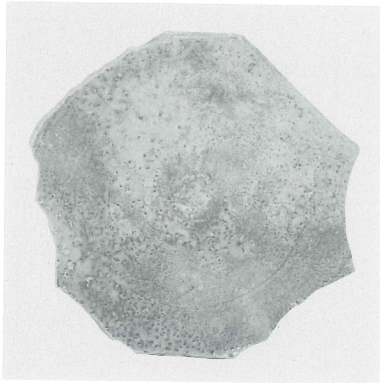
2



2



8



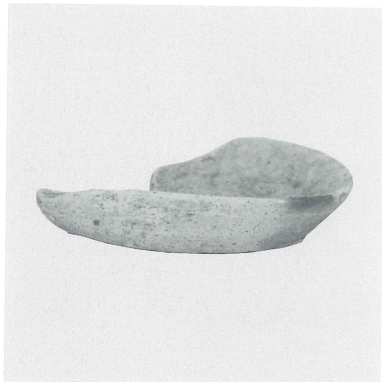
3



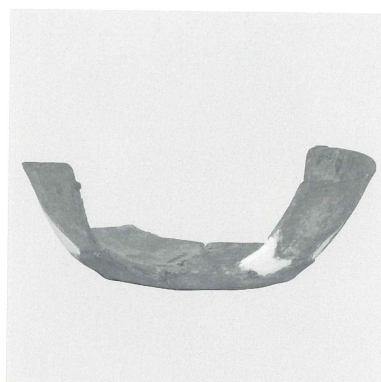
3



9



10



13



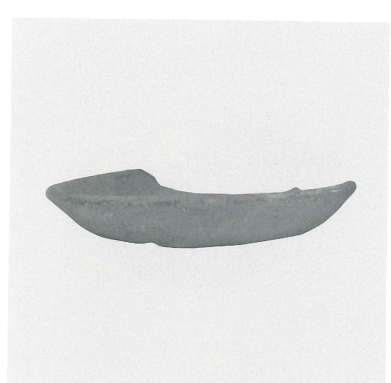
14



15



17

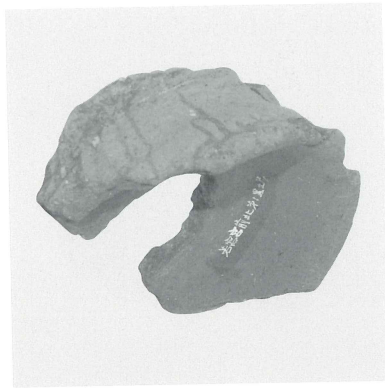


20

図版19 (宮ノ前 b 地区)



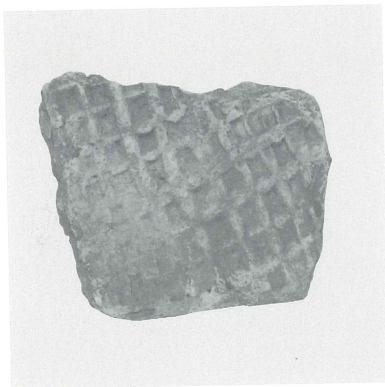
21



30



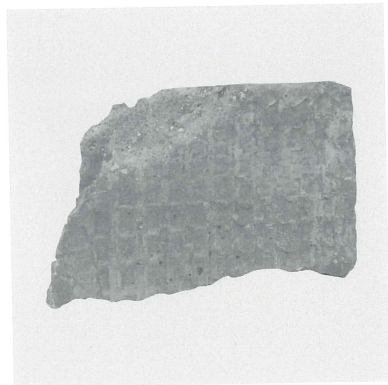
31



31



32



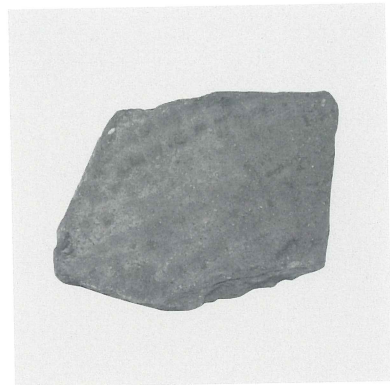
32



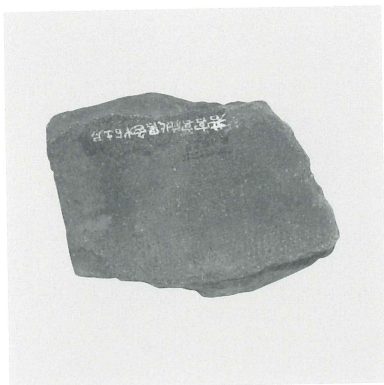
33



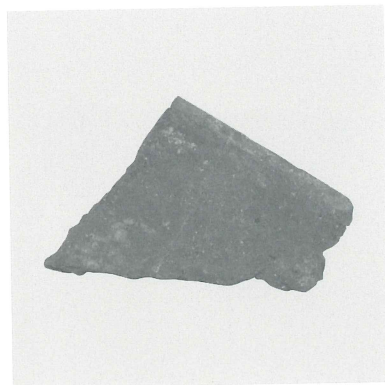
33



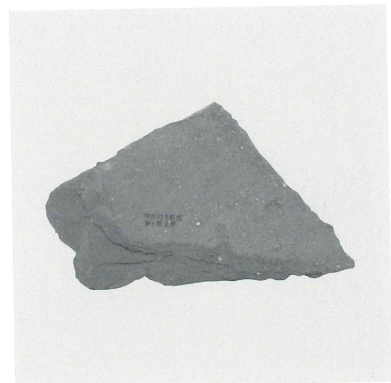
34



34

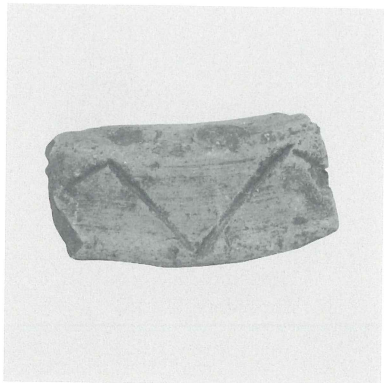


35 表

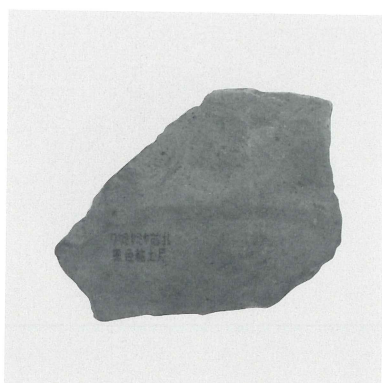


35 裏

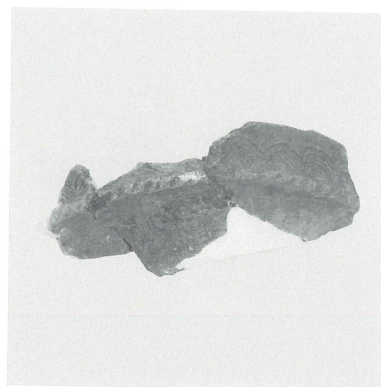
図版20 (宮ノ前 b 地区)



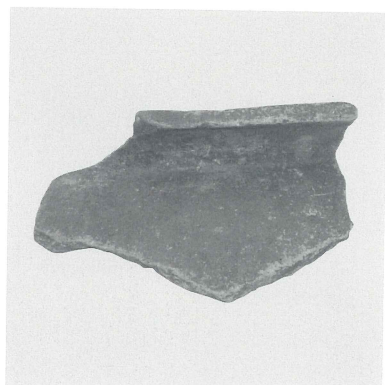
42



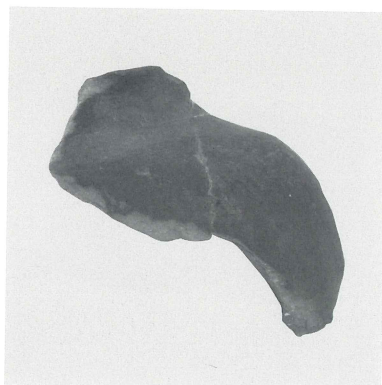
46



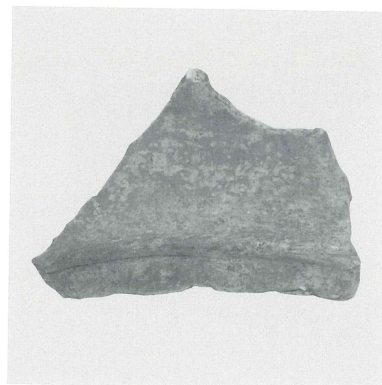
48



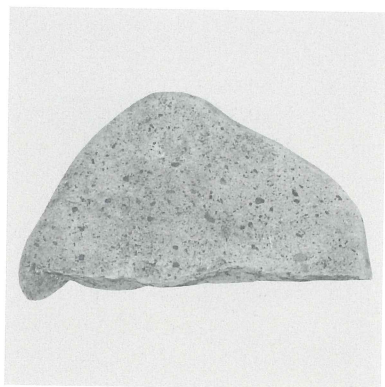
55



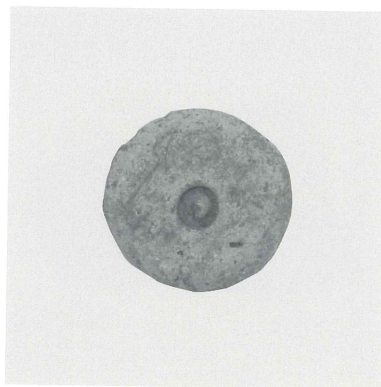
57



68



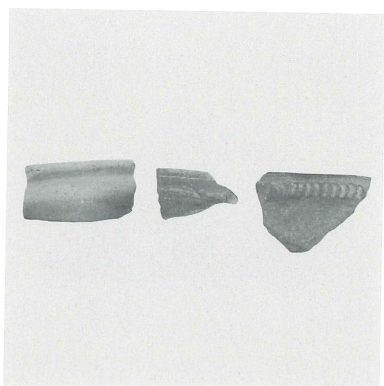
79



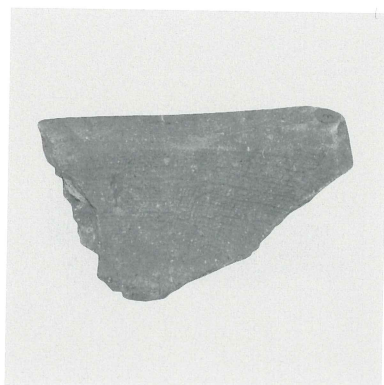
80 (浮文)



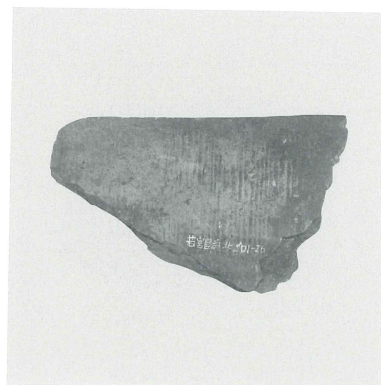
93



86,85,90



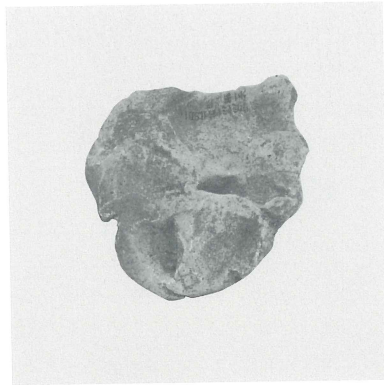
97



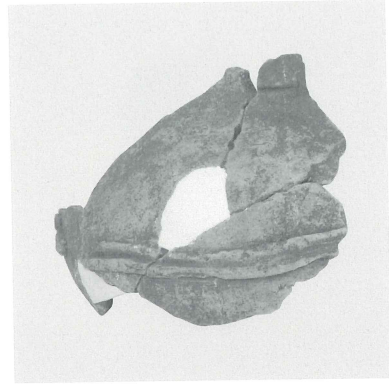
97



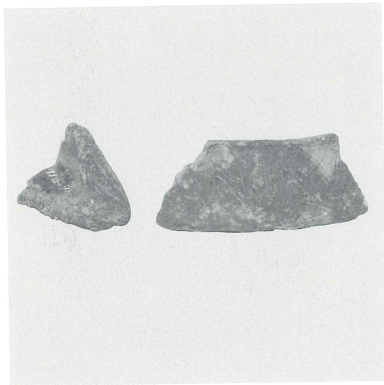
104



114



124



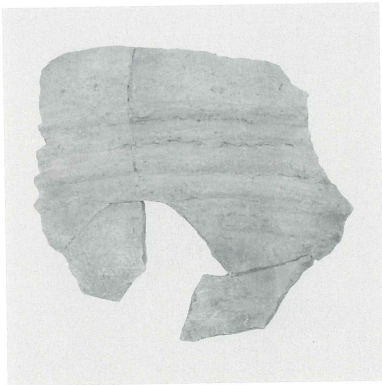
139



140



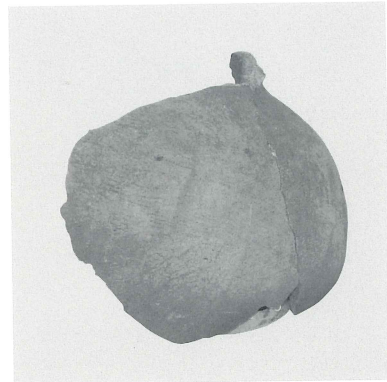
154



153



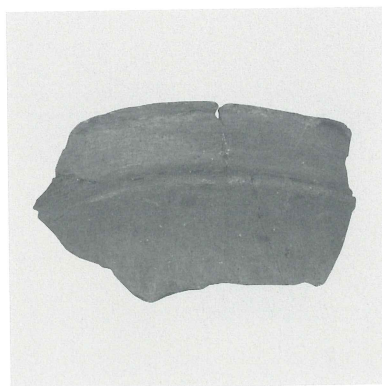
155



152



159



160



160

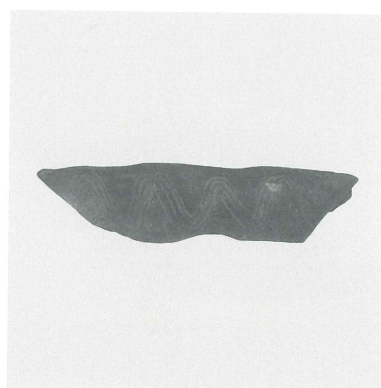
图版22 (宮ノ前 b 地区)



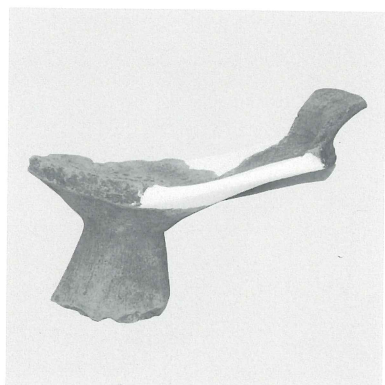
167



169



169



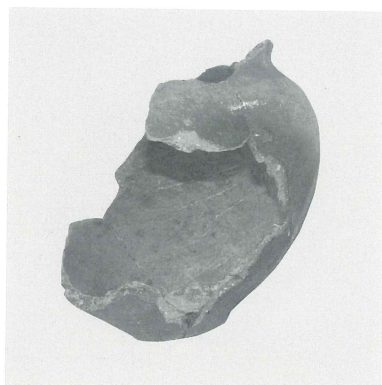
176



177



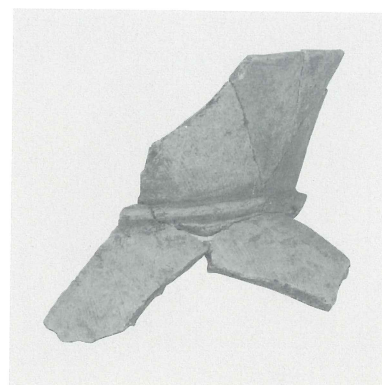
181



182



183



187



190



192 器台外面



192 器台側面



195 台付鉢



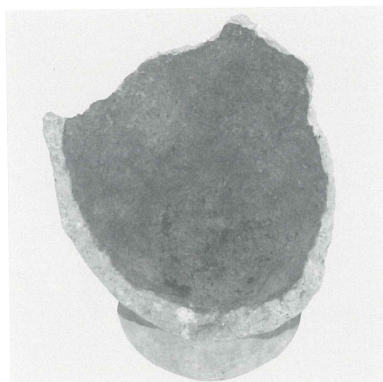
196



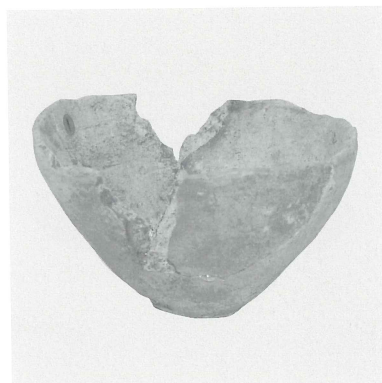
197



199 側面



199 内面



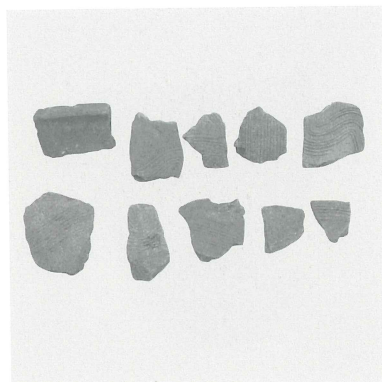
213



210 内面



210 外面

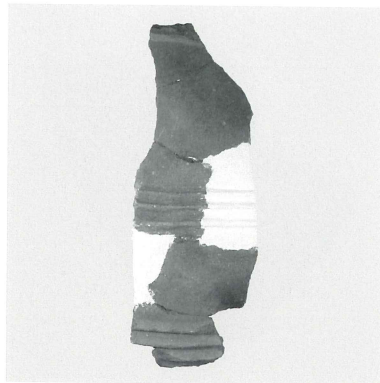


200~209

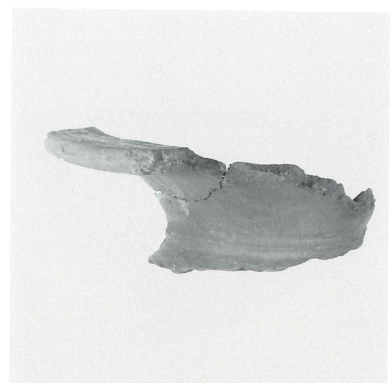
図版24 (宮ノ前c地区)



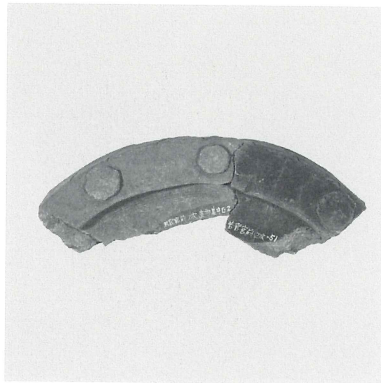
7



8



8



9



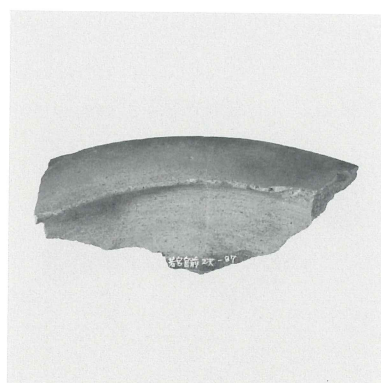
10



12



13



14



15



16



18



21

図版25 (宮ノ前c地区)



22



23



24



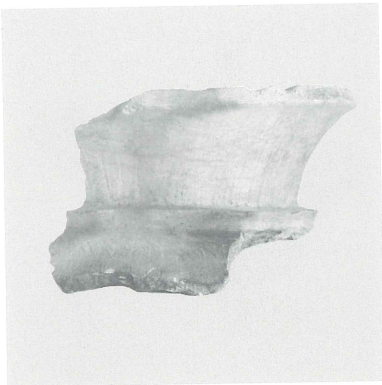
26



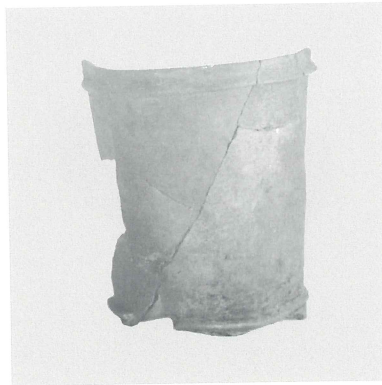
28



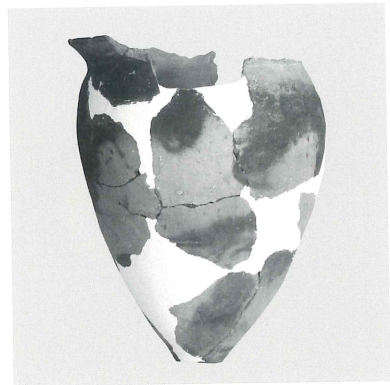
30



32



33



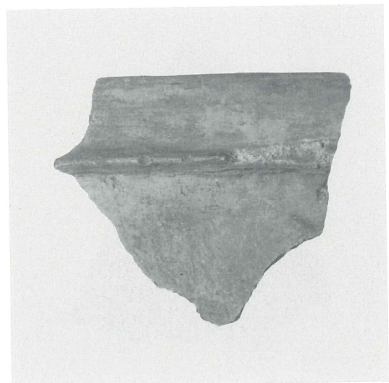
34



39

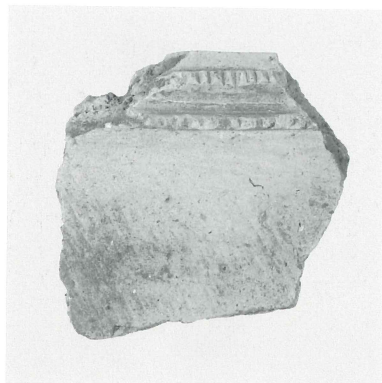


43

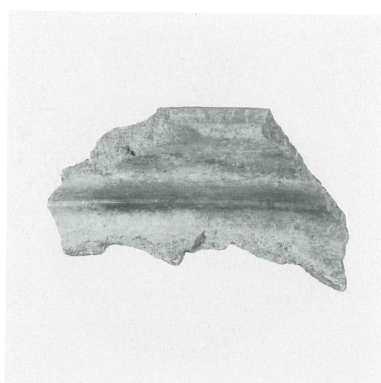


48

図版26 (宮ノ前c地区)



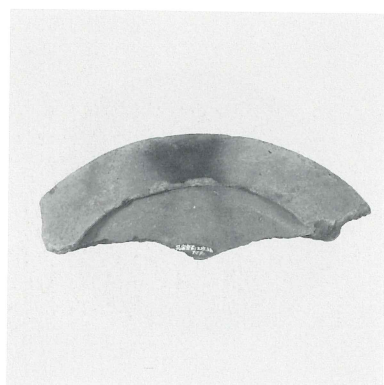
50



54



60



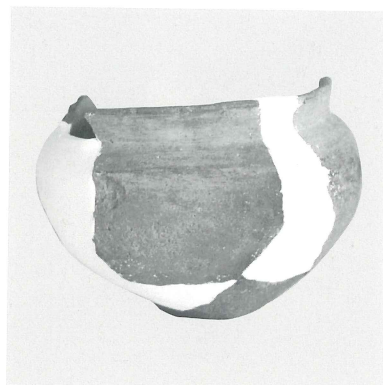
65



67



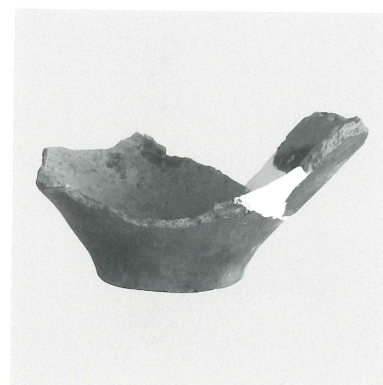
69



72



75



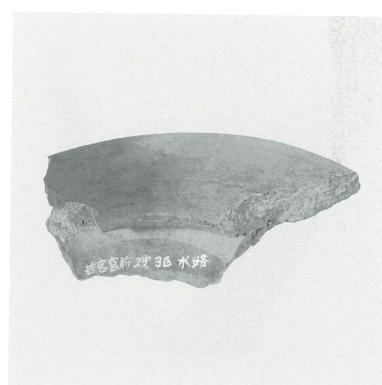
76



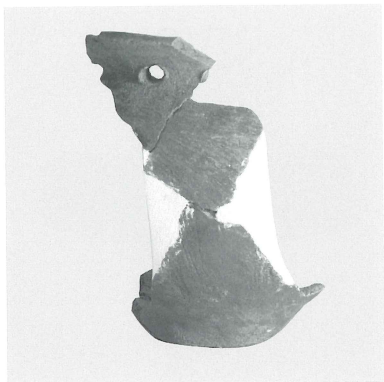
80



83



84



85



86



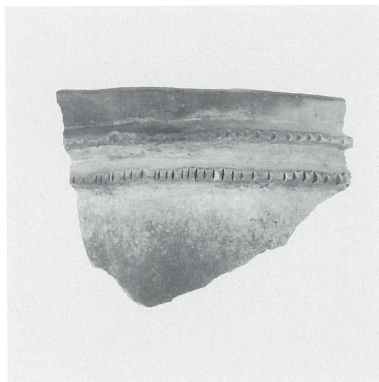
87



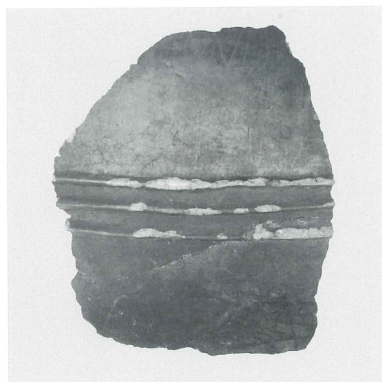
94



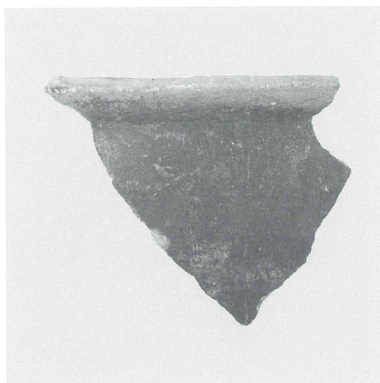
95



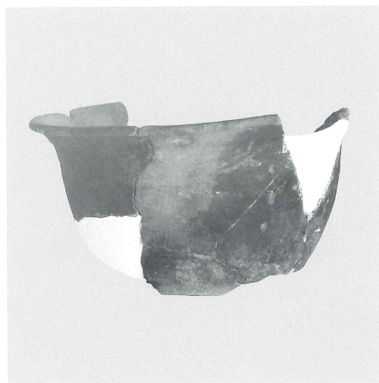
102



103



107



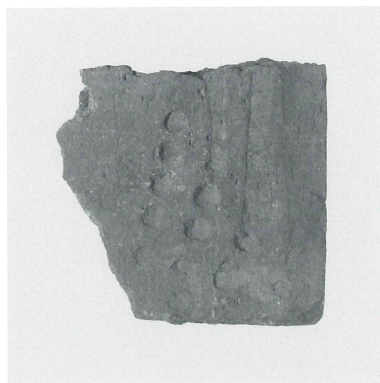
112



114



116

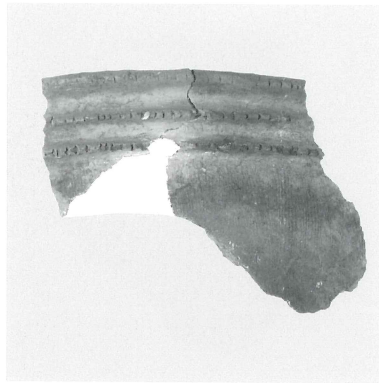


120

図版28 (宮ノ前c地区)



121



124



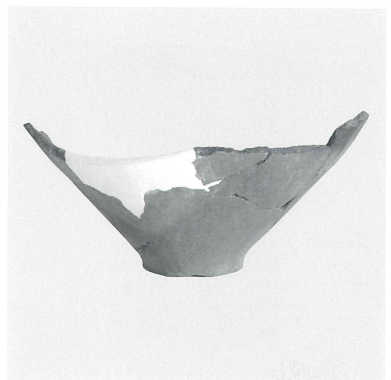
125



126



127



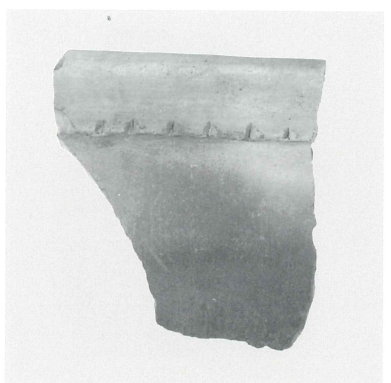
129



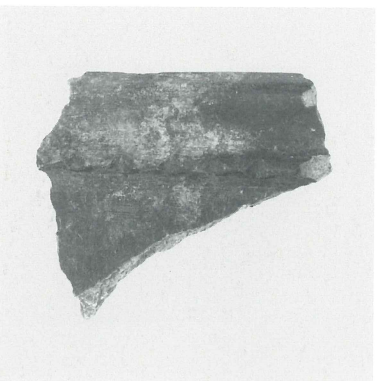
134



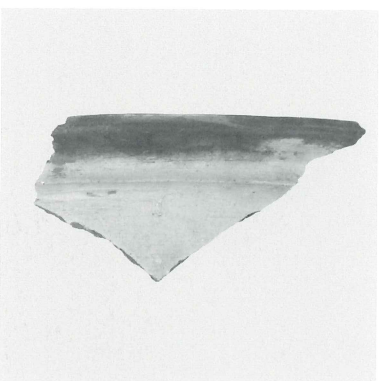
136



137



138



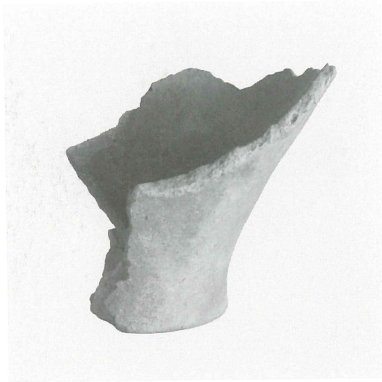
141



143



154



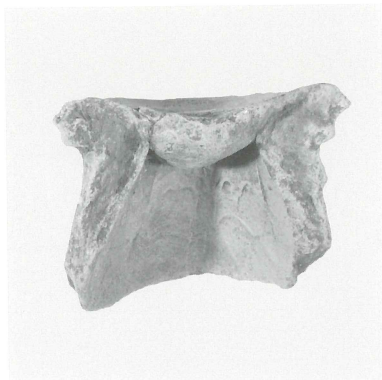
160



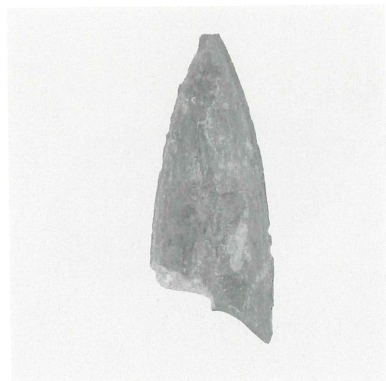
161



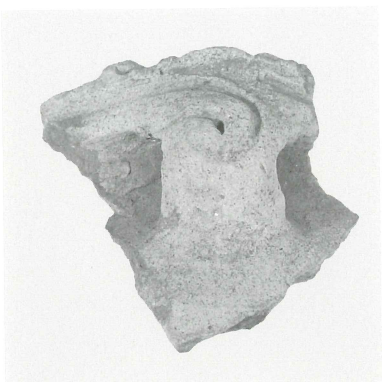
164



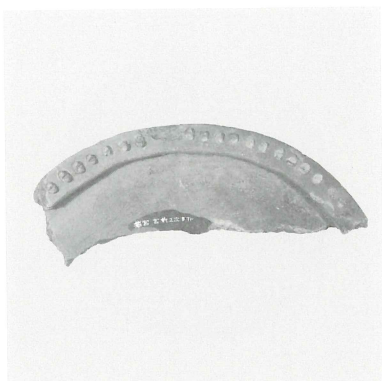
167



169



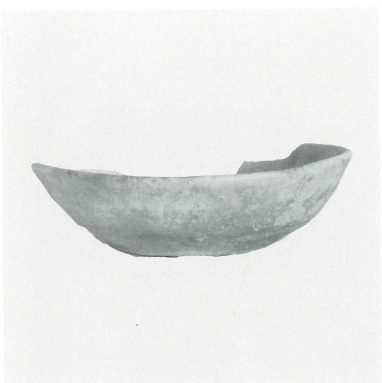
170



173



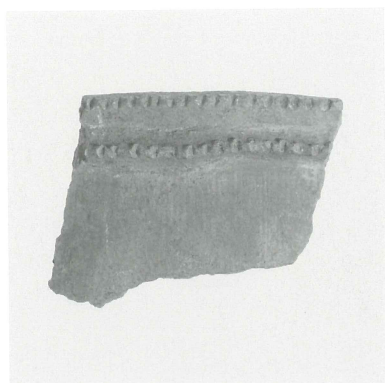
174



176

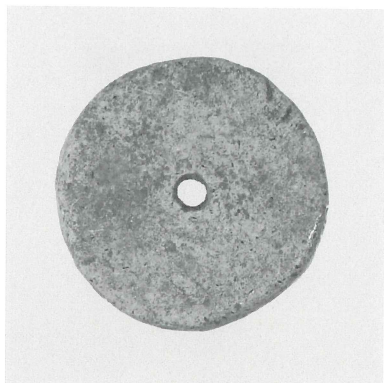


177

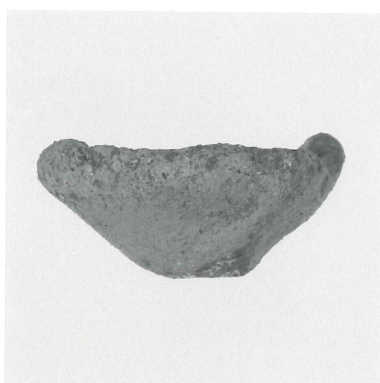


184

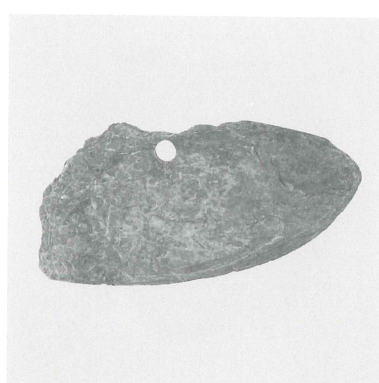
図版30 (宮ノ前c地区)



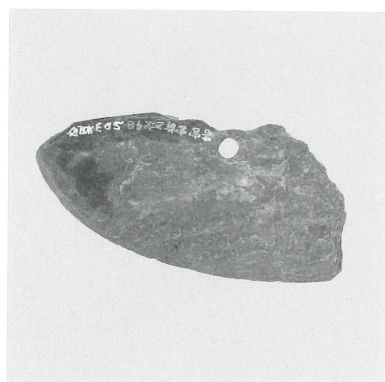
187



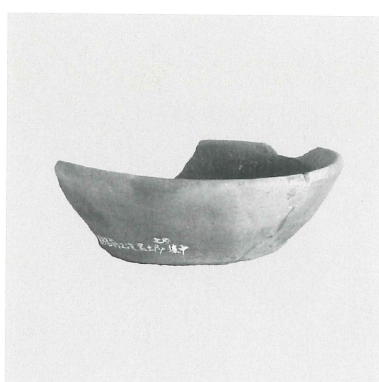
188



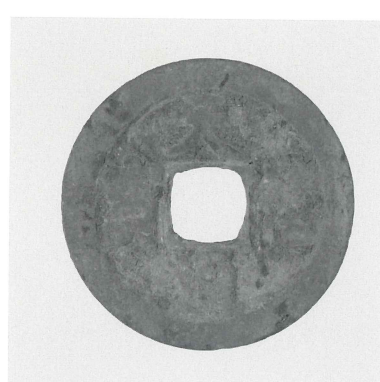
189



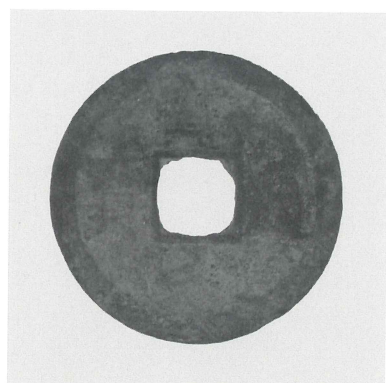
189



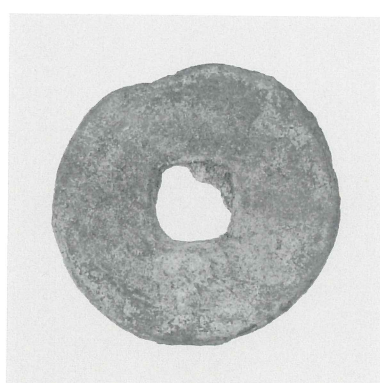
200



201



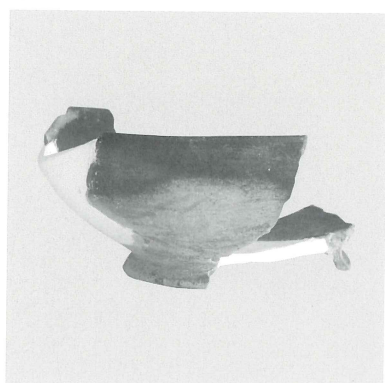
202



203



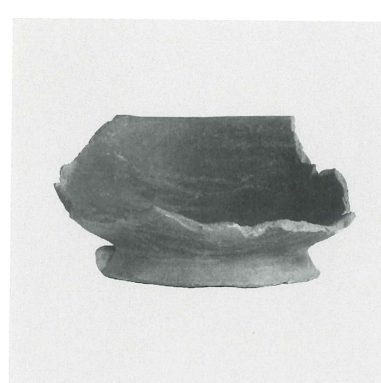
205



209



211



213



221 (A面)



221 (B面)

図版32 (宮ノ前 c 地区)



214



215



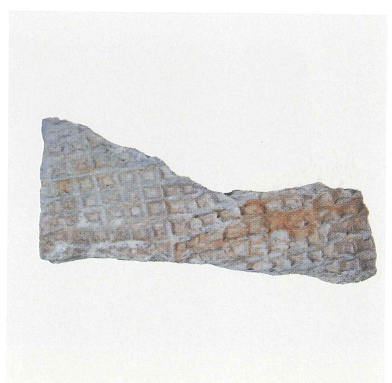
216



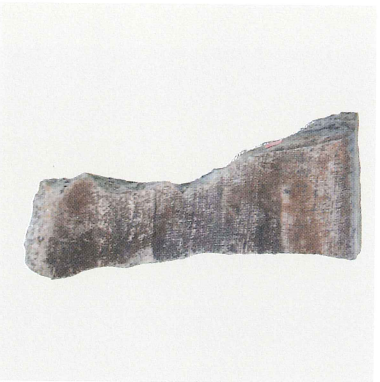
217



218



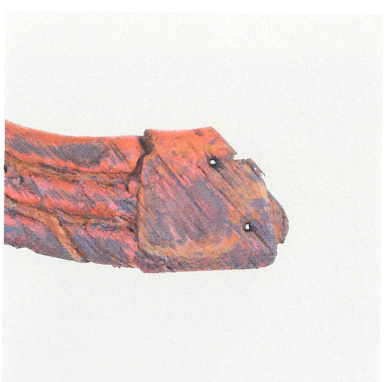
220



220



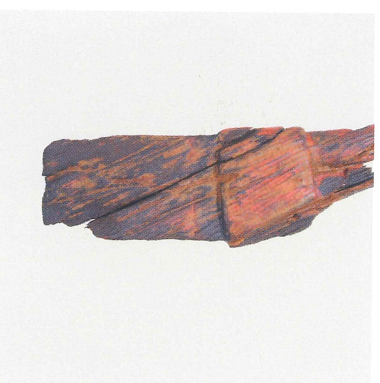
221 (部分)



221 (部分)



221 (部分)



221 (部分)



222

图版33 (宫ノ前c地区)



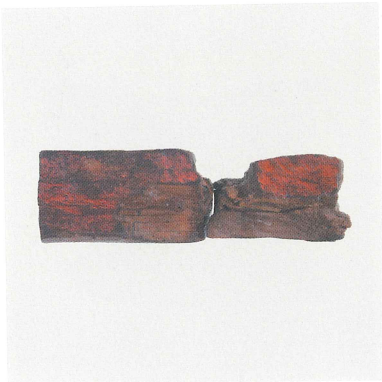
223(1)



223(2)



225(1)



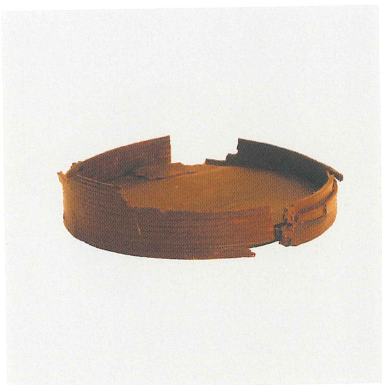
225(2)



224



230



231



232

図版34 (宮ノ前 d 地区)



5



8



10



11



14



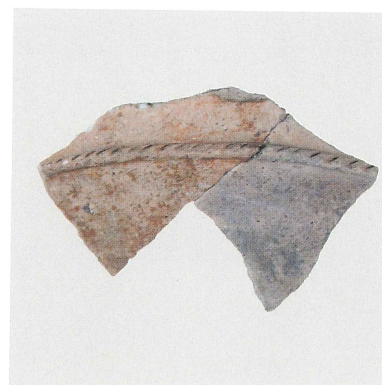
15



16



17



18



19



24



25

報告書抄録

ふりがな	わかみやはちまんぐういせき ひがしよこまえ a、b ちく みやのまえ a～d ちく
書名	若宮八幡宮遺跡 東横前 a、b 地区 宮ノ前 a～d 地区
副書名	庄の原佐野線建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	4
シリーズ名	大分県教育庁埋蔵文化財センター調査報告書
シリーズ番号	第25集
編著者名	高橋徹 小柳和宏 綿貫俊一
編集機関	大分県教育庁埋蔵文化財センター
所在地	〒870-1113 大分市大字中判田1977番地 TEL 097-597-5675
発行年月日	2008年3月25日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
		市町村	遺跡番号					
わかみやはちまんぐういせき ひがしよこまえ a ちく 若宮八幡宮遺跡 東横前 a 地区	おおいたしうえのまち13 大分市上野町 1 3	44201	322053	33° 13' 36"	131° 36' 52"	031001-031113	1,000	道路建設
わかみやはちまんぐういせき ひがしよこまえ b ちく 若宮八幡宮遺跡 東横前 b 地区	おおいたしうえのまち13 大分市上野町 1 3	44201	322053	33° 13' 36"	131° 36' 52"	041014-041102		道路建設
わかみやはちまんぐういせき みやのまえ a ちく 若宮八幡宮遺跡 宮ノ前 a 地区	おおいたしろくほうみなみまち 2 大分市六坊南町 2	44201	322053	33° 13' 34"	131° 36' 55"	31114-040121	200	道路建設
わかみやはちまんぐういせき みやのまえ b ちく 若宮八幡宮遺跡 宮ノ前 b 地区	おおいたしろくほうみなみまち 2 大分市六坊南町 2	44201	322053	33° 13' 34"	131° 36' 55"	031114-040121	165	道路建設
わかみやはちまんぐういせき みやのまえ c ちく 若宮八幡宮遺跡 宮ノ前 c 地区	おおいたしろくほうみなみまち 2 大分市六坊南町 2	44201	322053	33° 13' 34"	131° 36' 55"	040622-041102		道路建設
わかみやはちまんぐういせき みやのまえ d ちく 若宮八幡宮遺跡 宮ノ前 d 地区	おおいたしろくほうみなみまち 2 大分市六坊南町 2	44201	322053	33° 13' 34"	131° 36' 55"	060726-060816	80	道路建設

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
若宮八幡宮遺跡 東横前 a 地区	生産	弥生・古代	溝、土坑	弥生土器、土師器	
若宮八幡宮遺跡 東横前 b 地区	旧河道	弥生	土坑 (ドングリピット)	弥生土器	
若宮八幡宮遺跡 宮ノ前 a 地区	旧河道	縄文・弥生	土坑	縄文土器、弥生土器、木器	
若宮八幡宮遺跡 宮ノ前 b 地区	旧河道	弥生・古代	土坑 (ドングリピット)	弥生土器、土師器、瓦、石器	
若宮八幡宮遺跡 宮ノ前 c 地区	旧河道	弥生・古代	土坑	弥生土器、土師器、木器	赤彩木製品
若宮八幡宮遺跡 宮ノ前 d 地区	旧河道	弥生	土坑 (ドングリピット)	弥生土器	

要 約

大分川の旧河道部の低地に位置する。その内、東横前 a 地区はやや微高地に立地し、人工的な溝（水路）が検出されているが、他の地区では自然の旧河道が検出され、ドングリを水さらした土坑が複数みついている。遺物は、弥生中期後半から後期前半代の土器や古代、中世の土師器等が出土しているが、中心となるのは弥生時代である。祭祀に係わると考えられる赤彩の木製品が出土するなど、直接ではないものの、水辺の祭祀の痕跡を認めることができる。

庄の原佐野線建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書（4）

若宮八幡宮遺跡

東横前 a、b 地区

宮ノ前 a～d 地区

平成20年 3 月25日

編集・発行 大分県教育庁埋蔵文化財センター
〒870-1113 大分市大字中判田字ビワノ門1977番地
TEL 097-597-5675
